

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	がん検診事業費 外5事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	【3つのけんしん(健康診査・がん検診・歯科健診)の充実、受診率の向上】 「松江市総合計画」に掲げる将来像「歳を重ねるほど松江は楽しい」をめざし、みんなで支えあって健康寿命をのばす。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		国保特定健診受診率(%)	46.8	46.8	53.5	56	60
		肺がん検診受診率(40～69歳)(%)	3.8	3.8	8	8	8
	目標（何を達成するのか） 健康診査やがん検診、歯科健診をすすんで受け、自分の健康管理に努める市民を増やす。	かかりつけ歯科医を持つ市民(%)	52.3	52.3	60.6	60.6	60.6

事業概要	市民が健康管理を行うための手段である各種けんしんを引き続き実施する。 各種けんしん受診体制の充実を図るとともに、受診啓発を行い、受診者数の増加を図る。 (数値目標の項目) ・がん検診受診率は、がん種別死亡原因1位である肺がんの検診受診率を掲げる。 (数値目標の目標年度) ・国保特定健診受診率: 令和11年度 出典:第3期松江市国保データヘルス計画 ・肺がん検診受診率(40～69歳): 令和16年度(出典:第3次健康まつえ21基本計画) ・かかりつけ歯科医を持つ市民(かかりつけ歯科医で定期的(年1回以上)に歯科検診を受けている人の割合(20歳以上): 令和16年度(出典:第3次健康まつえ21基本計画) ※かかりつけ歯科医を持つ市民の割合は、松江市健康調査実施予定が令和10年度であるため当面の間数値に変動はない
------	---

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	①受診しやすい体制整備…効率的な会場設定、休日集団健診の実施 ②受診勧奨、啓発…受診券の送付、「けんしんのお知らせ」全戸配布、ホームページ、市報、ケーブルテレビ、ラジオ、健康メール、関係機関との連携による周知啓発や受診率向上に向けた協力依頼、特定健診未受診者への訪問等による受診勧奨や再勧奨通知を実施 (国民健康保険事業特別会計) ・国保特定健診実績見込: 167,664千円	①受診しやすい体制整備 効率的な会場設定、休日集団健診の実施 ②受診勧奨、啓発 受診券の送付、「けんしんのお知らせ」全戸配布、ホームページ、市報、ケーブルテレビ、ラジオ、健康メール、関係機関との連携による周知啓発や受診率向上に向けた協力依頼、特定健診未受診者への訪問等による受診勧奨や再勧奨通知を実施 (国民健康保険事業特別会計) ・国保特定健診予算: 160,022千円	①受診しやすい体制整備 効率的な会場設定、休日集団健診の実施 ②受診勧奨、啓発 受診券の送付、「けんしんのお知らせ」全戸配布、ホームページ、市報、ケーブルテレビ、ラジオ、健康メール、関係機関との連携による周知啓発や受診率向上に向けた協力依頼、特定健診未受診者への訪問等による受診勧奨や再勧奨通知を実施
	達成度		
	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		387,959	392,992	415,584	409,182	16,190
財源内訳	国・県支出金	7,922	8,535	8,535	10,094	1,559
	地方債					0
	その他	134,009	144,173	146,056	146,905	2,732
	一般財源	246,028	240,284	260,993	252,183	11,899
歳入合計		387,959	392,992	415,584	409,182	16,190

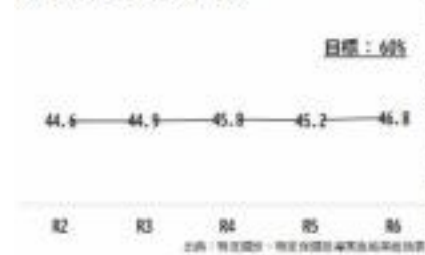
課題	・特定健診受診率は徐々に回復傾向にあるものの、コロナ前の水準には届いていない ・がん検診受診率について、令和3年度以降横ばいの状況が続いていたが、令和6年度は全てのがん検診で前年度を上回る受診率となった ・死亡原因1位の肺がん検診受診率が最も低い状況 ・かかりつけ歯科医を持つ市民の割合は徐々に上昇しているが、目標には届いていない	方向性	・受診率向上に向けた取組みを継続し、市民が受診しやすい体制整備を進める ・地域・関係機関と連携し、あらゆる機会を活用してけんしんを受ける必要性を啓発する ・けんしんを受けるメリットが伝わるような効果的な周知啓発を実施する ・医療機関等の実施機関へ、受診率向上に向けた協力依頼を行う
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	3つのけんしん(健康診査・がん検診・歯科健診)の充実、受診率の向上

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	医療機関説明会等にて、受診率向上に向けた協力依頼	9月	がん征圧月間(ポスター掲示等)
	5月下旬	各種受診券発送、「けんしんのお知らせ」全戸配布	12月～2月	各種健(検)診検討会議
	6月～3月	各種けんしん実施、啓発		
	6月～10月	特定健診未受診者への再勧奨(通知・電話・訪問等)		

本事業に関する主要データ

特定健診受診率(%)

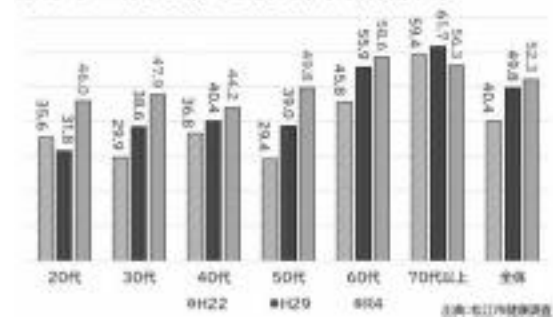


各がん検診受診率(国・県・市比較)(%)

種別	対象年齢	R3			R4			R5			R6
		国	県	市	国	県	市	国	県	市	市
胃がん	50～69歳	6.5	4.8	8.2	6.9	5.1	8.2	6.8	5.3	8.2	8.5
大腸がん	40～69歳	7.0	7.1	6.4	6.9	7.9	6.5	6.8	7.4	5.9	6.2
肺がん	40～69歳	6.0	3.6	3.7	6.0	3.5	3.5	5.9	3.3	3.4	3.8
子宮がん	20～69歳	15.4	16.2	19.3	15.8	16.3	19.7	15.8	15.8	19.3	20.6
乳がん	40～69歳	15.4	17.9	16.2	16.2	18.8	17.7	16.0	18.6	17.2	17.6

※厚生労働省発表の地域別値・標準化率等による。右端の市受診率は、市受診の概算に基づき算出。
※胃がん・子宮頸がん・乳がん検診受診率：(当該年度検診受診者数÷前年度検診受診者数×2年連続受診者数)÷当該年度対象者数×100
※大腸がん・肺がん検診受診率：(受診者数÷対象者数)×100
※国が参照する対象年齢検診のみ掲載
(出典：令和6年度松江市保健衛生統計書)

かかりつけ歯科医を持つ人の割合(%)



各がん検診受診者数

	R2	R3	R4	R5	R6
胃がん	4,202	4,050	4,542	4,518	5,146
大腸がん	12,135	11,960	12,143	11,650	12,011
肺がん	7,050	8,153	7,930	7,831	8,204
子宮がん	6,459	6,822	6,737	6,547	6,769
乳がん	3,545	4,828	4,424	4,643	4,614
前立腺がん	5,023	4,942	5,223	5,012	5,232
合計	38,414	40,755	40,999	40,201	41,976

※73歳以上含む
(出典：令和6年度松江市保健衛生統計書)

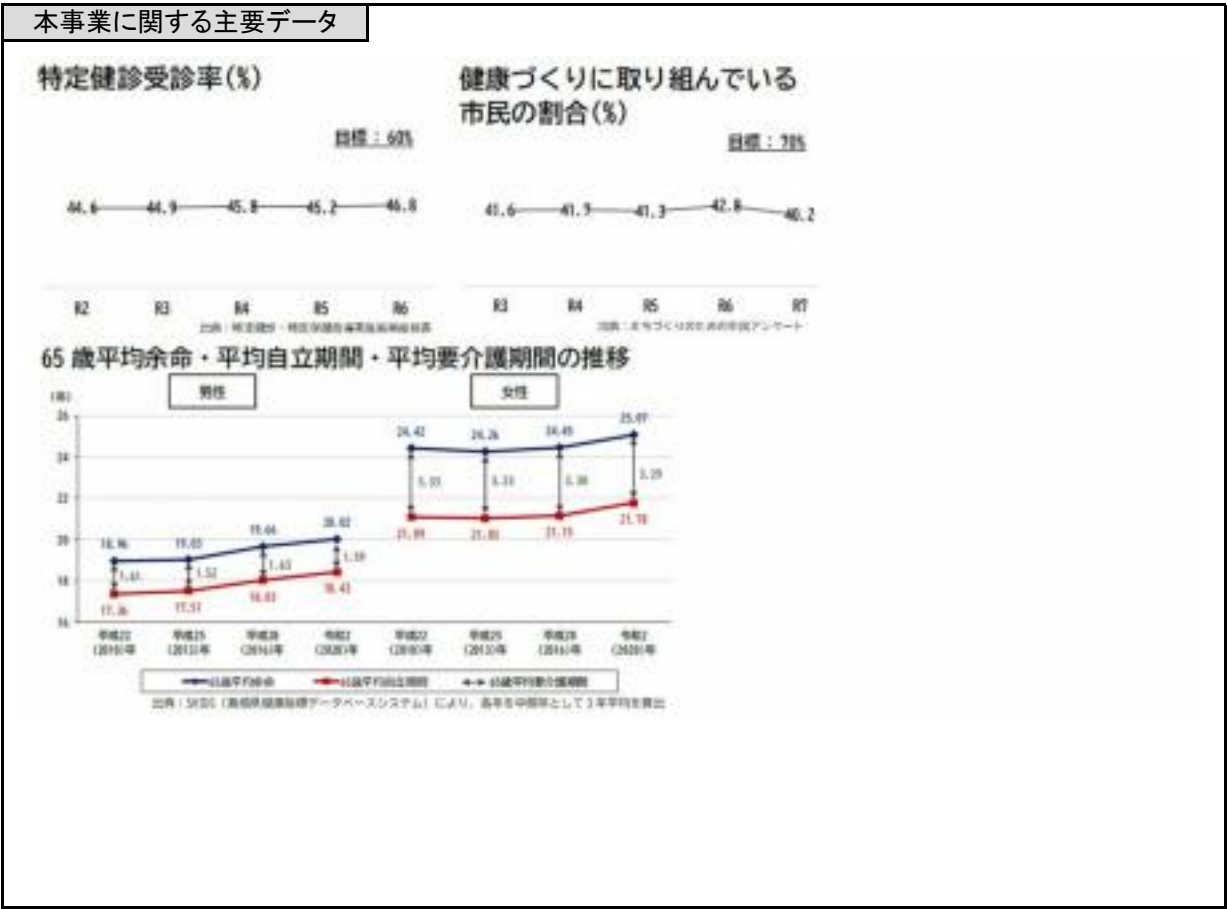
R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償	6,684	委託料	372,590
職員手当等	2,592		
共済費	1,646		
報償費	447		
旅費	186		
需用費	10,730		
役務費	14,307		
事業費計			409,182

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
健康福祉部健康推進課		健康まつえ21計画推進事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	「松江市総合計画」に掲げる将来像「歳を重ねるほど松江は楽しい」をめざし、みんなで支え合って健康寿命をのばす。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		国保特定健診受診率(%)	46.8	46.8	53.5	56	60
	目標（何を達成するのか）	健康づくりに取り組んでいる市民の割合(%)	42.8	40.2	70	70	70
	市民・関係機関・行政等が連携して「健康まつえ21基本計画」を推進することで、健康づくりに対する市民一人ひとりの行動の変容を促し、同計画に掲げる各種数値目標を達成する。						
事業概要		「健康まつえ21基本計画」を推進するため、「健康まつえ21基本計画推進委員会」を開催し、評価・検証を行うもの。 【健康まつえ21基本計画】 本市の総合的な健康づくりの指針となる基本計画。健康増進法に基づく「市町村健康増進計画」と食育基本法に基づく「市町村食育推進計画」を一体的に策定。 令和6年3月、「第3次健康まつえ21基本計画」（令和6年度～令和17年度）を策定。基本理念「みんなで支え合い 健康寿命をのばそう」及び目標「健康寿命の延伸」の達成に向けて、3つの基本方針と10項目の取組みの方向性を掲げる。 【健康まつえ21基本計画推進委員会】 「健康まつえ21基本計画」の策定及び推進を目的として設置。現委員は12名（任期：令和7年7月1日～令和9年6月30日）					
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	①各種取組みの推進 ②推進委員の改選 ③推進委員会の開催（年1回） ・事業計画に対する意見、事業の進捗管理	①各種取組みの推進 ②推進委員会の開催（年1回） ・事業計画に対する意見、事業の進捗管理		①各種取組みの推進 ②推進委員の改選 ③推進委員会の開催（年1回） ・事業計画に対する意見、事業の進捗管理			
	達成度						
	計画目標に向かって概ね順調						
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		376	430	430	429	-1	
財源内訳	国・県支出金	0	167	0	223	56	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	376	263	430	206	-57	
	歳入合計	376	430	430	429	-1	
課題	・「健康まつえ21基本計画」をより多くの市民の皆様認知していただく必要がある ・全世代の健康づくりの推進のためには、関係機関との一層の連携が必要である		・推進委員会を開催し、事業の進捗管理を行う ・関係機関と連携し、「健康まつえ21基本計画」の周知啓発を図る ・目標の達成に向けて、関係機関と連携して取組みを推進する				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	全世代の健康づくり(食習慣づくり、運動習慣づくり、休養・心の健康づくり、たばこ対策等)の推進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各種取組みの推進		
	12月～1月頃	推進委員会の開催		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	80		
需用費	5		
役務費	9		
使用料及び賃借料	335		
事業費計			429

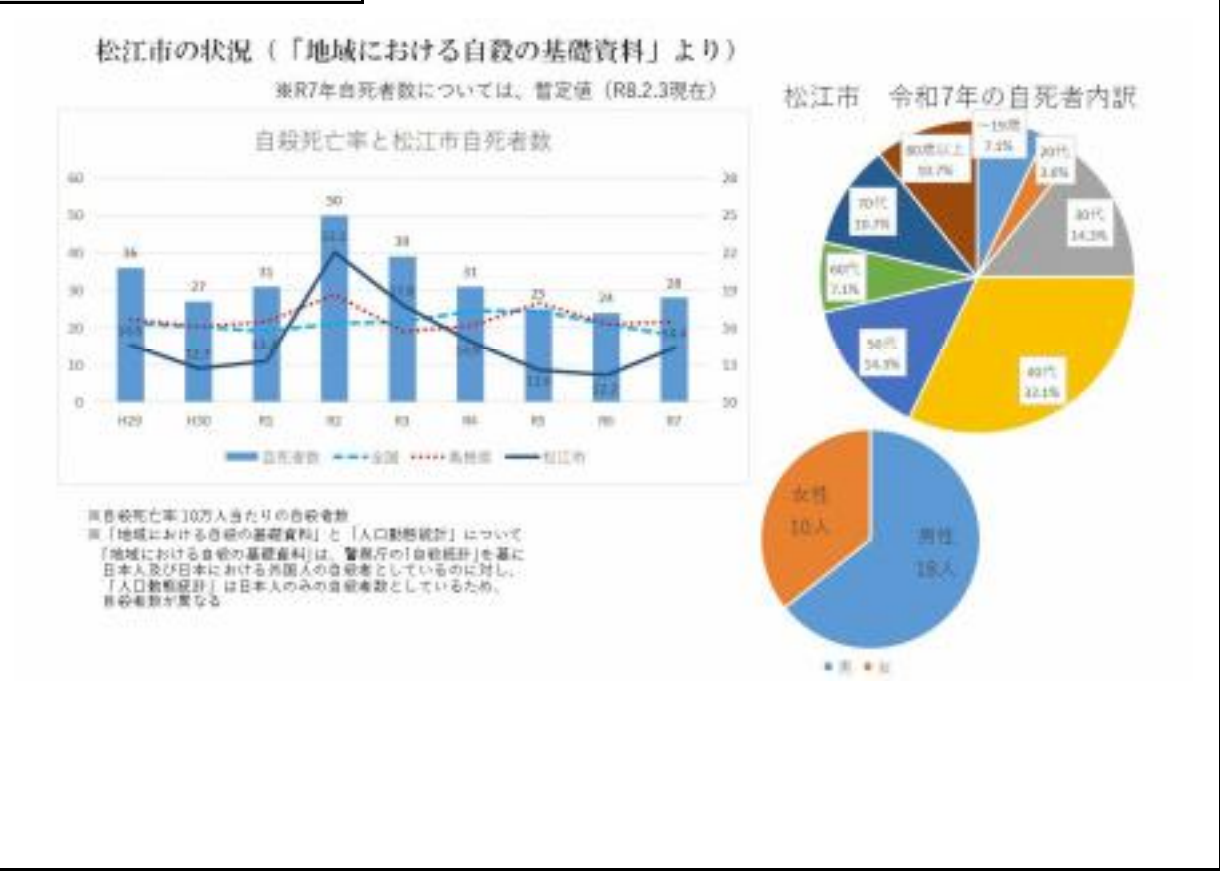
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
健康福祉部健康推進課		自死対策事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	松江市の自死者数の減少	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		自殺死亡率(人) (人口10万人当たりの自殺者数)	12.2	14.4			11
	目標（何を達成するのか）	ゲートキーパー研修受講者数(人)	3,185	4,787	4,867	5,200	5,200
	「誰も自死に追い込まれることのない松江の実現を目指す」を基本理念とし、関係団体等が連携した取り組みを行うことで自死を未然に防ぐ。						
事業概要	(数値目標の目標年) 自殺死亡率:2027(R9)年(暦年) ※数値は人口動態統計(厚生労働省)を基に算出 ゲートキーパー研修受講者数:2027(R9)年度						
	・国の「自殺総合対策大綱」と「第2次松江市自死対策推進計画」に基づき、地域における自死対策を推進する。 ・自死の実態を把握し、啓発活動を行うとともに、ゲートキーパー研修会などを開催する。 ・庁内関係課及び地域ネットワークが共通理解のもと事業を進める必要があり、自死対策事業庁内連絡会及び自死対策事業検討会を開催して進捗確認及び評価を行う。 ・自死予防週間(9月)や自死対策強化月間(3月)を中心に、相談窓口の周知や啓発活動を強化していく。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・自死対策検討会開催 ・自死対策ワーキングの実施 ・第2次松江市自死対策推進計画実施 ・自死の実態把握と情報提供 ・ゲートキーパー研修会の開催 ・映像を使った周知、啓発(YouTube広告、デジタルサイネージ、市SNS等) ・紙媒体を使った周知(市報等) ・公用車での啓発(マグネットシール) ・窓口サインスタンドを用いての啓発 ・自殺予防学会総会シンポジウム出席 ・自死遺族の会と情報共有、支援	・自死対策検討会開催 ・自死対策ワーキングの実施 ・第2次松江市自死対策推進計画の実施 ・自死の実態把握と情報提供 ・ゲートキーパー研修会の開催 ・映像を使った周知、啓発(YOUTUBE広告、デジタルサイネージ、市公式SNS等) ・紙媒体を使った周知(市報等) ・市公用車を用いての啓発(マグネットシール) ・窓口サインスタンドを用いての啓発		・自死対策検討会開催 ・自死対策ワーキングの実施 ・第2次松江市自死対策推進計画の実施 ・自死の実態把握と情報提供 ・ゲートキーパー研修会の開催 ・映像を使った周知、啓発(YOUTUBE広告、デジタルサイネージ、市公式SNS等) ・紙媒体を使った周知(市報等) ・市公用車を用いての啓発(マグネットシール) ・窓口サインスタンドを用いての啓発			
	達成度						
	計画目標に向かって概ね順調						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	1,837	1,771	1,771	1,764	-7	
	国・県支出金	954	940	940	933	-7	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	883	831	831	831	0	
歳入合計		1,837	1,771	1,771	1,764	-7	
課題	・共に支え合える組織・地域づくりを行うことが必要である ・働き盛り世代の自死者が多いため対策が必要である ・コロナ禍による影響を踏まえた対策の検討		方向性	・関係する団体等が連携し、必要な相談・支援につなぐことができる体制をつくる ・インターネットやデジタルサイネージなど様々な媒体を用いて啓発活動を行うことで、働き盛り世代、若年層への更なる周知を図る ・相談先、各種支援策の周知を図る			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	全世代の健康づくり(食習慣づくり、運動習慣づくり、休養・心の健康づくり、たばこ対策等)の推進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月	自死予防週間	随時	相談先、支援策の周知
	3月	自死対策強化月間	随時	ゲートキーパー研修の実施
	2月	自死対策庁内連絡会議	随時	関係機関との連携
	3月	自死対策事業検討会		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	115		
旅費	9		
需用費	718		
役務費	279		
委託料	638		
負担金補助及び交付金	5		
事業費計			1,764

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
健康福祉部保健衛生課		休日救急診療事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	休日における初期救急医療の提供体制の確保を支援することにより、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を実現する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			数値目標設定になじまない					
	目標（何を達成するのか）							
	休日でも安心して受診できる環境を整備するとともに、急性期病院の負担を軽減する。							
事業概要	松江市医師会が実施する休日診療に対する補助 【休日診療の概要】 休日（日曜日・祝日・年末年始）に、休日救急診療室（松江記念病院内）において、軽症の救急患者の診療を行うもの（小学生以下の診療を除く） ○診療時間 9:00～12:00、13:00～17:00 ○補助対象経費 医師、看護師、薬剤師の人件費や感染症対策など休日救急診療室の運営にかかる経費 ○補助率 補助対象経費の合計額と、要綱に定める補助基準額のいずれか低い方の額から補助対象事業に係る収入を控除した額							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○松江市医師会が実施する「休日初期救急医療提供体制確保事業」に対し補助 ○医療機関の適正受診に関する広報の実施 ○休日救急診療室運営会議の開催		○松江市医師会が実施する「休日初期救急医療提供体制確保事業」に対し補助 ○医療機関の適正受診に関する広報の実施 ○休日救急診療室運営会議の開催		○松江市医師会が実施する「休日初期救急医療提供体制確保事業」に対し補助 ○医療機関の適正受診に関する広報の実施 ○休日救急診療室運営会議の開催			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		11,903	12,542	12,542	12,631	89	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		11,903	12,542	12,542	12,631	89	
歳入合計		11,903	12,542	12,542	12,631	89		
課題	○休日救急診療室の運営により初期救急患者の受入先を確保することで、急性期病院の負担を軽減すること。 ○年末年始期間中の診療体制の充実を図ること。 ○かかりつけ医の利用促進や休日救急診療室の認知度を向上させること。				○運営会議を開催することで、休日救急診療室の外来患者の状況や急性期病院の救急患者受入状況などを検証し、初期救急医療体制の安定的かつ継続的な運営を図る。 ○病院ごとの役割分担・適正受診についての広報を継続し、より一層市民に理解を深めてもらう。			
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	全世代の健康づくり(食習慣づくり、運動習慣づくり、休養・心の健康づくり、たばこ対策等)の推進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	日祝、年末年始	休日診療を実施		
	2月	休日救急診療室運営会議を開催		

本事業に関する主要データ



【年度別診療日数及び患者数】

	H25 (11月～)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (～10月末)
診療日数(日)	21	70	79	79	79	72	72	70	79	69	71	70	58
総患者数(人)	756	1,596	1,338	1,426	1,424	1,396	1,235	476	645	1,442	1,761	1,492	854
1日平均患者数(人)	36.0	24.2	19.1	20.4	20.3	18.1	17.2	6.8	9.2	20.9	24.8	21.3	14.7

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	101		
負担金補助及び交付金	12,530		
事業費計			12,631

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
健康福祉部保健衛生課		条件不利地域訪問診療支援事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	在宅医療の確保と在宅療養生活の継続		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			訪問診療件数（補助対象件数）			2,176	2,176	2,176
	目標（何を達成するのか）							
	訪問診療を行う病院・診療所の支援・確保							
事業概要	条件不利地域への訪問診療に取り組む病院・診療所を対象として、訪問診療を行うことで生じる逸失利益（移動時間を要し、訪問患者数が減少したことによる診療報酬の減収分）の一部を補助する。 【条件不利地域】 訪問診療を行う病院・診療所から自動車を利用しておおむね片道30分以上を要する地域、かつ島根県医師確保計画で設定されている「医師少数スポット」の該当地域 【医師少数スポット】 本庄、秋鹿、大野、忌部、鹿島、島根、美保関、八雲、八束（市内9地域） 【補助額】 訪問診療1回あたり4,000円（市1/4、県3/4）							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	達成度		松江市医師会への案内や市ホームページへの掲載により、補助金制度の開設について周知する。 条件不利地域への訪問診療に取り組む病院・診療所を支援する。 （想定件数：2,176件）		松江市医師会への案内や市ホームページへの掲載により、補助金制度の活用について周知する。 条件不利地域への訪問診療に取り組む病院・診療所を支援する。 （前年度件数の維持）			
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		0	0	0	8,704	8,704		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	6,528	6,528		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	2,176	2,176		
歳入合計		0	0	0	8,704	8,704		
課題	医師、患者の高齢化が進む中で、特に医療機関が少ない地域における医療確保のため、訪問診療の推進を図ること。		補助金制度の周知を図り、継続して医療機関を支援することで、訪問診療件数を維持する。					
		方向性						

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	全世代の健康づくり(食習慣づくり、運動習慣づくり、休養・心の健康づくり、たばこ対策等)の推進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	年間	制度の周知、医療機関への支援(補助金の支出)		

本事業に関する主要データ

【支援事業の実施フロー】

```
graph LR; A[県] -- "補助率3/4" --> B[市]; B -- "支援  
4,000円/1回" --> C[病院・診療所]; C -- "訪問診療  
(おおむね  
片道30分以上)" --> D[患者宅  
社会福祉施設等];
```

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	8,704		
事業費計			8,704

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
健康福祉部保健衛生課		一般管理費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	一般の歯科医院が診療していない日曜日、祝日（1月1日を除く）及び年始（1月2日、3日）の歯科の救急患者に対し、応急診療を行える体制を確保する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			数値目標設定になじまない					
	目標（何を達成するのか）							
	休日でも安心して受診できる環境を整備する。							
事業概要	日曜日、祝日（1月1日を除く）及び年始（1月2日、3日）に、休日歯科応急診療所（島根県東部口腔保健センター）において、歯科の救急患者に対し応急の診療を行うもの							
	○診療時間 9:00～12:30 ○診療体制 通常期: 歯科医師1名、歯科衛生士2名 年 始: 歯科医師2名、歯科衛生士3名							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○休日歯科応急診療所 69日開所予定 ○休日歯科応急診療所運営協議会の開催		○休日歯科応急診療所 69日開所予定 ○休日歯科応急診療所運営協議会の開催		○休日歯科応急診療所 68日開所予定 ○休日歯科応急診療所運営協議会の開催			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		5,698	5,693	5,637	6,660	967	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		1,711	2,000	2,000	2,000	0	
	一般財源		3,987	3,693	3,637	4,660	967	
歳入合計		5,698	5,693	5,637	6,660	967		
課題	かかりつけ歯科医をもち、定期的な健診などを推奨すること。		方向性	日頃からかかりつけ歯科医を受診してもらい、歯の健康を大切にもらうよう、ホームページやSNSを利用して周知する。				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	全世代の健康づくり(食習慣づくり、運動習慣づくり、休養・心の健康づくり、たばこ対策等)の推進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	日祝、年始	休日歯科応急診療を実施(1月1日を除く)		
	2月	休日歯科応急診療所運営協議会を開催		

本事業に関する主要データ



【年度別患者数及び患者数】

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 [一～六]	R7 [一～五]
総患者数(人)	65	68	68	66	69	70	73	60	65	66	70	63	37
総患者数(人)	263	275	288	261	280	274	402	196	201	174	234	190	282
1日平均患者数(人)	3.9	4.0	4.2	3.8	4.1	3.9	5.5	3.3	3.0	2.6	3.2	3.6	4.6

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,912	負担金補助及び交付金	430
共済費	12	償還金、利子及び割引料	1
報償費	1,464		
需用費	309		
役務費	48		
委託料	302		
使用料及び賃借料	1,182		
事業費計			6,660

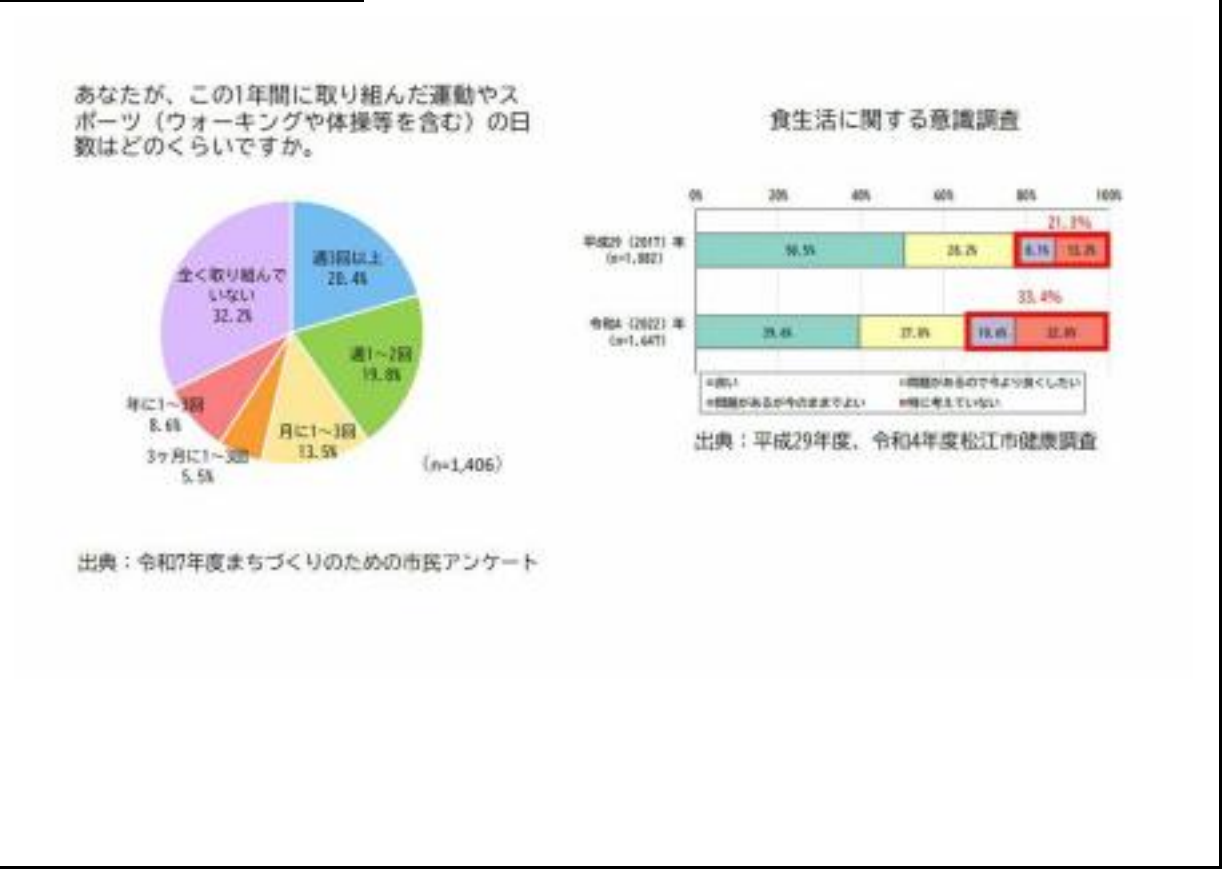
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
健康福祉部健康推進課		自然に健康になれるまち推進事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	多くの市民が日常生活の中で気軽に継続して取り組める健康づくりのための社会環境をつくる。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		健康づくりに取り組んでいる市民（％）	42.8	40.2	70	70	70
	目標（何を達成するのか）						
	生活の中で身体を動かすようにしたり、自分の食生活について関心を持ち、健康づくりに取り組む市民を増やす。						
事業概要	（数値目標の目標年度） 健康づくり（運動・スポーツ）に取り組んでいる市民の割合（％）：2029（R11）年度 ※「まちづくりのための市民アンケート」より ・「まつえっこ体操」の普及を図り、市民の健康づくりに役立てていく ・市民が自然に健康的な食生活を選択できる食環境づくりに取り組む						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・しじみちゃんを活用した「まつえっこ体操」動画の健康福祉フェスティバルでのお披露目、PR広告配信 ・「まつえっこ体操」の保育所等での活動や行事、地域の健康づくりイベント等で活用 ・健康的な食環境づくりを推進するための啓発チラシの作成 ・健康に配慮した弁当を教材にした「学べる弁当セミナー」の実施 ・職人商店街をめぐるウォーキングマップを作成	・「まつえっこ体操」動画の配信・モニター等での放映によるPR ・「まつえっこ体操」の保育所等での活動や行事、地域の健康づくりイベント等で活用 ・健康的な食環境づくりを推進するための啓発チラシの作成 ・健康に配慮した弁当を教材にした「学べる弁当セミナー」の実施 ・職人商店街をめぐるウォーキングマップの周知		・「まつえっこ体操」動画の配信・モニター等での放映によるPR ・「まつえっこ体操」の地域の健康づくりイベント等で活用 ・健康的な食環境づくりの推進			
	達成度	計画目標に向けて進捗はやや遅れている					
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		308	507	507	496	-11	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	220	0	0	0	0	
	一般財源	88	507	507	496	-11	
歳入合計		308	507	507	496	-11	
課題	・健康づくりに取り組んでいる市民の割合は、目標値には届いていない。 ・松江市健康調査（R4年度）の結果から、食生活についての関心度の低下がみられる。		方向性	・運動の効果や必要性に関する啓発を行うとともに、多くの市民が日常生活の中で気軽に運動に親しむことのできる機会や環境づくりを推進する。 ・美味しく、楽しく減塩や野菜摂取を実践するライフスタイルの情報発信や、「健康な食環境づくり」の地域展開を進める。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	自然に健康になれるまち推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月・5月	「まつえっこ体操」啓発方法の検討、ウォーキングマップの配布場所検討。	随時	健康づくりに「まつえっこ体操」を活用
	6月～3月	ウォーキングマップの配布。まつえっこ体操の周知・啓発。		
	2月・3月	健康的な食環境づくりを推進するための啓発チラシの作成		
	随時	食環境に関する啓発・情報発信		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	57		
役務費	29		
委託料	410		
事業費計			496

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
健康福祉部介護保険課		地域介護予防活動支援事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	運動・認知機能の低下や社会参加の機会の減少等によって虚弱になることを防ぎ、要介護状態にならないよう、介護予防活動に取り組む。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		なごやか寄り合い参加者数(人)	6,844	6,935	10,500	10,500	11,000
	目標（何を達成するのか）						
	健康づくりと介護予防の取り組みを推進し、健康寿命の延伸を図る。						
事業概要	高齢者の介護予防・重度化防止の取り組みを推進する。また、高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進を行う。 ○なごやか寄り合い事業 各地区の公民館や集会所で健康講座やレクリエーション等を開催する高齢者の通いの場。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	○立ち上げ、継続支援 ・新規立ち上げ、休止会場への再開支援 ・世話人研修会2回／年（橋北・橋南エリア） ・なごやか見本市1回／年 ・広報誌の作成2回／年 ○普及啓発 ・広報誌の作成発行2回／年 ・なごやか川柳の募集、表彰 ・SNSや市社協HPなどによる周知啓発 ○事業評価 ・各種データ分析による課題抽出・見直しの検討	○立ち上げ、継続支援 ・新規立ち上げ、継続支援 ・研修会の企画実施 ・広報誌の作成発行 ○普及啓発 ・コンテスト企画の実施 ・チラシの配布や市社協HP掲載 ○事業評価 ・各種データ分析による課題抽出・見直しの検討		○立ち上げ、継続支援 ・新規立ち上げ、継続支援 ・研修会の企画実施 ・広報誌の作成発行 ○普及啓発 ・チラシの配布や市社協HP掲載 ○事業評価 ・各種データ分析による課題抽出・見直しの検討			
	達成度						
計画目標に向けて進捗はやや遅れている							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	7,768	8,445	8,445	9,230	785	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	7,768	8,445	8,445	9,230	785	
課題	一般財源	0	0	0	0	0	
	歳入合計	7,768	8,445	8,445	9,230	785	
課題	・今後高齢者の増加に伴い、介護予防の取り組みを推進する必要がある。 ・なごやか寄り合いの参加者は、増加傾向であるがコロナ前の水準には戻っていない。また、世話人の負担や高齢化の問題がある。	方向性		・高齢者に係る関係機関へ事業周知を行い、関係者を通じて案内することで、参加へのきっかけ作りを図る。 ・なごやか寄り合い事業は、事業の周知啓発(SNS、市社協HPでの周知等)を行うとともに、医療機関などへの事業啓発を行う。各会場の継続・再開支援を行う。			

健康福祉部介護保険課

地域介護予防活動支援事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	介護保険事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	なごやか寄り合い(各地域で開催)		
	8月	なごやか寄り合い(世話人研修会)		
	12月	なごやか寄り合い(見本市)		

本事業に関する主要データ

なごやか寄り合い事業

①開催実績

年度	参加者	実施箇所数	開催回数
	実人数		
R1	9,066	372	2,943
R2	4,621	257	1,429
R3	4,666	254	1,734
R4	5,078	302	2,034
R5	6,814	335	2,557
R6	6,844	360	2,784

②参加者の傾向(性別)

性別	R1	R2	R3	R4	R5	R6
女性	69.4%	71.3%	72.1%	70.4%	68.3%	68.5%
男性	30.6%	28.7%	27.9%	29.6%	31.7%	31.5%

R8節別予算額内訳(千円)

節名称	金額	節名称	金額
委託料	9,230		
事業費計			9,230

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部介護保険課	介護予防普及啓発事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	運動・認知機能の低下や社会参加の機会の減少等によって虚弱になることを防ぎ、要介護状態にならないよう、介護予防活動に取り組む。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		からだ元気塾の参加者数(人)	985	1,000	1,150	1,150	1,150
	目標（何を達成するのか）						
	健康づくりと介護予防の取り組みを推進し、健康寿命の延伸を図る。						

事業概要	高齢者の介護予防・重度化防止の取り組みを推進する。また、高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進を行う。 ○からだ元気塾 運動器・認知機能向上のため、市内36会場で週1回開催する運動教室。
------	---

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	【実績】 - 参加者数(見込み)1,000人 - 事業参加者の評価 - 介護予防番組の放送 - 栄養士を全会場へ年1回派遣し、フレイル予防の取組みを強化。 - データ分析による課題抽出・事業検討 【参加勧奨・普及啓発など】 - 節目年齢や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発 - 公民館、病院、薬局、歯科医院等へポスター配布・掲示依頼を実施。	【実施内容】 - 市内36の会場にて、体操の教室を実施する。 - 口腔や栄養の取組みについても、強化を行い、フレイル予防の啓発を行う。 - 介護予防番組の放送 - 各種データ分析による課題抽出・事業検討 【参加勧奨・普及啓発】 - 節目年齢や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発 - ポスターやチラシの配布	- 週に1回体操の教室を実施する。 - 介護予防番組の放送 - 各種データ分析による課題抽出・事業検討 【参加勧奨・普及啓発】 - 節目年齢や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発 - ポスターやチラシの配布
	達成度		
	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		41,304	48,799	48,799	51,772	2,973
財源内訳	国・県支出金	15,489	18,299	18,299	19,415	1,116
	地方債		0	0	0	0
	その他	25,815	30,500	30,500	32,357	1,857
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		41,304	48,799	48,799	51,772	2,973

課題	・今後高齢者の増加に伴い、介護予防の取組みを推進する必要がある。 ・からだ元気塾の参加者は、増加傾向であるが目標値には届いていない。	方向性	・高齢者に係る関係機関へ事業周知を行い、関係者を通じて案内することで、参加へのきっかけ作りを図る。 ・からだ元気塾は、参加者増に向けて周知強化(ポスター掲示や個別通知等)を図り、事業効果や認知度向上につなげる。 ・介護予防の推進に向け、フレイル予防(運動・栄養・口腔)の取り組みを教室に取り入れ推進する。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	介護保険事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	からだ元気塾(各地域で開催)		
	通年	おうち元気塾(年間を通じてマールで放送)		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	60		
旅費	24		
需用費	230		
役務費	510		
委託料	50,948		
事業費計		51,772	

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
健康福祉部介護保険課		介護人材確保対策事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	松江市における介護人材の安定的な確保と定着を図るため、介護職への就業促進、職場環境の改善、離職防止に向けた支援を総合的に実施し、地域の介護サービス提供体制を持続可能なものとして維持・強化することを目的とする。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			介護職の求人に対する充足率(%)	13	14	15	15	15
	目標（何を達成するのか）							
	・介護分野への新規就業者を増加させ、地域の介護サービス提供体制の安定化を図る ・介護職員が継続的に働き続けられる職場環境を整備する ・若年層・未経験者の参入促進と、既存職員のスキル向上を両立させ、介護現場の質を向上さ							
事業概要	介護人材の確保は「松江市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」(令和6～8年度)において4つの基本方針の一つとして位置付けている。人材の確保・育成・定着に向けて、介護業界のイメージアップ、高齢者等の多様な人材の活用、業務効率化や職員の負担軽減等を図るための取組を実施している。 同計画の内容は、介護事業所、人材養成機関、高等学校等で構成する「介護人材確保検討会議」の内容を踏まえたものであり、今後も当該会議で具体的な方策を検討していく。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・介護人材確保検討会議(2回) ・介護の日PRイベント ・介護職PRコンテンツの活用 ・介護の出前授業 ・介護の入門的研修 ・事業所向けセミナーの開催(外国人介護人材受入れセミナー、介護事業所の業務効率化・生産性向上セミナー)		・介護人材確保検討会議 ・介護の日PRイベント ・介護職PRコンテンツの活用 ・介護の出前授業 ・介護の入門的研修 ・事業所向けセミナーの開催		・介護人材確保検討会議 ・介護の日PRイベント ・介護職PRコンテンツの活用 ・介護の出前授業 ・介護の入門的研修 ・事業所向けセミナーの開催			
	達成度							
		計画目標に向けて進捗はやや遅れている						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		2,327	2,892	2,198	2,865	-27	
	国・県支出金		1,491	2,169	1,648	2,148	-21	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		836	723	550	717	-6	
	歳入合計		2,327	2,892	2,198	2,865	-27	
	課題	事業所の人材確保等に関する実情を踏まえて、これまでに実施してきた取組の内容を適宜見直すとともに、新しい取組を検討・実施することでより効果的な取組としていく必要がある。 また、近年、介護職員の採用においてハローワークだけでなく、有料職業紹介事業所を介する割合が高まっており、成果指標である介護職員の充足率を適切に把握することが課題である。		方向性	「第9期介護保険事業計画」及び「介護人材確保検討会議」の内容や、事業所の人材確保等に関する実情を踏まえ、介護業界のイメージアップ、高齢者等の多様な人材の活用等の人材確保に関する取組のほか、業務効率化、職員の負担軽減、職員のスキルアップ等の人材育成・定着に関する取組も実施していく。また、介護職員の充足率を適切に把握するために調査・研究していく。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	介護保険事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	介護人材確保検討会議	10月～	介護の入門的研修
	4月～	介護職PRコンテンツの活用	11月～	介護の日PRイベント
	6月～	介護の出勤授業		
	9月～	事業所向けセミナーの開催		

本事業に関する主要データ

令和7年度				(参考)令和6年度			
	新規求人数	充足数	充足率(%)		新規求人数	充足数	充足率(%)
4月	191	39	20.0	4月	223	31	13.9
5月	288	33	11.0	5月	184	31	16.9
6月	252	20	8.0	6月	261	38	14.6
7月	183	40	22.0	7月	182	25	13.7
8月	275	21	8.0	8月	194	26	13.4
9月	256	37	14.0	9月	252	26	10.3
10月	224	34	15.0	10月	210	36	17.1
11月	247	24	10.0	11月	227	26	11.5
12月	235	36	15.0	12月	229	23	10.0
計	2,151	284	13.7	1月	134	23	17.2
※4月から12月までの数値を集計し、充足率の暫定値を算出。				2月	234	15	6.4
				3月	239	22	9.2
				計	2,569	322	12.8
※充足率：ハローワーク松江における求人に対して雇用された件数の割合							

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	100		
需用費	334		
役務費	30		
委託料	2,166		
使用料及び賃借料	235		
事業費計			2,865

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
環境エネルギー部リサイクル都市推進課		分別啓発事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	市民の環境意識を高め、適正なごみの分別と質の高い資源物の回収を実現する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			数値目標にそぐわない。					
	目標（何を達成するのか）							
	啓発ツールの活用により、子どもから大人まで幅広く環境学習に取り組める体制を構築し、それぞれの年代ごとのニーズに応じた出前講座や環境学習を実施する。							
事業概要	子ども用の分別啓発ツールを用いて、松江市内の小学生を対象に環境学習を行う。また、わかりやすい表記にて「資源とごみの分け方・出し方」ガイドブックを作成し、適切な分別を促す。これらの取組みを通して、市民の環境意識の醸成を図る。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	出前講座 7地域団体 111名 環境学習 2中学校 3名 6大学 7名		出前講座 10地域団体 180名 環境学習 10小学校 220名		出前講座 10地域団体 180名 環境学習 10小学校 220名			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		1,041	1,397	1,397	1,090	-307	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	1,366	1,366	200	-1,166	
一般財源		1,041	31	31	890	859		
歳入合計		1,041	1,397	1,397	1,090	-307		
課題	近年、リチウムイオン電池を内蔵した小型家電製品の普及に伴い、誤分別による火災事故が発生している。本市では、これらを金属資源として回収しているが、分別区分が十分に浸透しておらず、誤分別が生じている。加えて、家庭から発生する金属資源は少ない傾向にある一方で、指定袋の販売枚数は最大サイズの45ℓが最多となっている。このため「袋が満杯になるまで排出を控える」という心理が働き、家庭内での退蔵を招いている。		方向性				引き続き、出前講座や様々な媒体を通じて正しい分別区分の周知を進めるとともに、金属資源20ℓの指定袋を1枚単位で販売することで、市民が家庭内で退蔵することなく、より排出しやすい環境を整える。	

環境エネルギー部リサイクル都市推進課 分別啓発事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	資源ごみ収集事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	年間	出前講座と環境学習の開催		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	1,000		
役務費	90		
事業費計			1,090

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
環境エネルギー部環境エネルギー課		ブルーカーボン活用事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	市内水域において、水域資源の保全・活用の両立による経済循環の促進及び地域への愛着・誇りの醸成に資することを目的とする。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			Jブルーカーボンクレジット認証（t-CO2）	0	0	0.1	0.1	0.1
	目標（何を達成するのか）							
	海草や海藻等の育成などによって二酸化炭素の吸収促進を図り、Jブルーカーボンクレジットの創出・活用を通して、地域振興や環境保全につながる取組を確立する。							
事業概要	市内水域（日本海・宍道湖・中海・大橋川・松江堀川 等）におけるブルーカーボンのポテンシャルを踏まえ以下の事業を実施する。 ・気候変動に対応したワカメ養殖活動 ・藻場（漁場）の再生・造成 ・地域の小学生等を対象とした環境学習 ・観光振興（体験型ツーリズム） ・Jブルークレジットの取得と活用							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	[日本海] ・協議会の事業である、気候変動対策によるワカメ養殖、藻場造成の実証実験の検討 ・定着ワカメ及び養殖ワカメによるCO2吸収固定効果のクレジット化に向けたモニタリングの実施 ・シジミ殻の有効活用による藻場ブロック等の効果モニタリング後の事業検討 [宍道湖] ・回収したヨシやシジミ殻の製品化検討		[日本海] ・協議会の事業である、気候変動対策によるワカメ養殖、藻場造成の実証実験実施 ・定着ワカメ及び養殖ワカメによるCO2吸収固定効果によるJブルークレジット認証の申請 ・Jブルークレジット認証量の増加の取組 ・他地域への横展開（地域ごとの協議会設立など） [宍道湖] ・回収したヨシやシジミ殻の製品化検討		[日本海] ・協議会の事業である、気候変動対策によるワカメ養殖、藻場の造成の実施 ・定着ワカメ及び養殖ワカメによるCO2吸収固定効果によるJブルークレジット認証の申請 ・Jブルークレジット認証量の増加の取組 ・他地域への横展開（地域ごとの協議会設立など） [宍道湖] ・回収したヨシやシジミ殻の製品化検討			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		494	3,000	1	2,140	-860	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		494	3,000	1	2,140	-860	
一般財源		0	0	0	0	0		
歳入合計		494	3,000	1	2,140	-860		
課題	○国の認証制度の確立 ○海藻等の生育に必要な期間の確保 ○藻場造成エリアの選定 ○プレイヤーの確保（漁業者・自治会・NPO・行政 等）			○ブルーカーボン・オフセットの実現に向けた支援 ○クレジット認証による地域振興や産業振興、環境保全につながる取組の推進				
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	ブルーカーボン活用事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	Jブルークレジット認証に向けた事業業務委託		
	4月～8月	ワカメ養殖及び藻場造成によるクレジット化に向けての協議		
	8月～12月	磯焼けおよび養殖ワカメ実施エリアのモニタリング		
	7月～3月	他地域での協議会の設立検討		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	137		
委託料	2,000		
使用料及び賃借料	3		
事業費計			2,140

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
環境エネルギー部環境エネルギー課		カーボンニュートラル推進事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	ゼロカーボンシティの実現に対する市民理解の促進と具体的活動の実践に向けて、市民・事業者・行政の協働により取り組みを進める。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		セミナー参加者（人）	141	150	160	170	180
	目標（何を達成するのか）	フェスティバル来場者（人）	900	800	900	1,000	1,100
	市民・事業者の意識の醸成。 自ら積極的に取り組むプレイヤーを増やすと共に、協働体制の構築・強化を図る。						
事業概要		○「カーボンニュートラルに関する連携協定（松江市・山陰合同銀行・中国電力）」に基づき市内の中小企業に向け「脱炭素セミナー」を開催する。 ○2050年ゼロカーボンシティの実現を目指し、市民理解の拡大と具体的活動の実践に向け、市民・事業者・行政の協働による取り組みとして「まつえ環境フェスティバル」を開催する。また、企業や各種団体の取組の発表の場とすることで、ゼロカーボンシティへの機運の醸成を図る。 ○堀川遊覧船の電動化を進めることで、観光にかかるエネルギーの脱炭素化を図り、観光客に対しゼロカーボン観光の体験を提供する。					
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	①脱炭素セミナー2025in山陰の開催（参加者：150人） ②まつえ環境フェスティバル2025の開催（来場者：800人） ③堀川遊覧船電動化（補助）	○脱炭素セミナーの開催 ○まつえ環境フェスティバルの開催 ○堀川遊覧船電動化（補助）		○脱炭素セミナーの開催 ○まつえ環境フェスティバルの開催 ○堀川遊覧船電動化（補助）			
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		2,918	1,893	1,893	1,684	-209	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	1,000	1,893	1,893	1,684	-209	
	一般財源	1,918	0	0	0	0	
歳入合計		2,918	1,893	1,893	1,684	-209	
課題	○参画する企業・団体等の集約 ○具体的活動の実践内容	○幅広い関係者と連携・協働し情報・課題・認識を共有する。 ○企業・団体等それぞれの取り組みに対し協力・補完しつつ、自らの行動の向上を促進する。 ○取り組みの見える化を進める。					
		方向性					

環境エネルギー部環境エネルギー課 カーボンニュートラル推進事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	カーボンニュートラル推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	11月	まつえ環境フェスティバル開催		
	11月	脱炭素セミナー開催		
	3月	堀川遊覧船補助		

本事業に関する主要データ

①脱炭素セミナー2025in山陰

山陰合同銀行、中国電力との共催で市内の事業所を対象に、省エネ、脱炭素をテーマとしたセミナーを実施



②まつえ環境フェスティバル2025

地球にやさしい循環型の暮らしや脱炭素を体験するブースやまつえ循環プロジェクトの取組を紹介



③堀川遊覧船電動化

松江観光のシンボルの一つである堀川遊覧船の電動化を図り、脱炭素を取り組む松江市の象徴とするため、松江市観光振興公社へ補助



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	1,684		
事業費計			1,684

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
環境エネルギー部環境エネルギー課		脱炭素先行地域推進事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、エネルギーの地産地消の推進、再生可能エネルギーの導入拡大、地域特性を踏まえた地域脱炭素化を推進し、脱炭素先行地域の取り組みが起点となり他地域へ横展開を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			観光客入込数(万人)	873	951	1,040	1,060	1,100
	目標（何を達成するのか）		ごみ発電のバイオマス代替燃料割合(%)	0	0	0	0	5
	4つのエリアを2030年度までに民生部門(家庭・宿泊施設・飲食店・事業所・公共施設)の電力消費に伴う二酸化炭素排出「実質ゼロ」を図り、世界から選ばれる観光地として持続可能な観光の実現を目指す。		公民館の充放電設備整備(箇所)	1	1	0	0	2
事業概要	「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくり～カーボンニュートラル観光～をテーマに掲げ、松江の観光を象徴する存在である、国宝松江城周辺エリア、松江しんじ湖温泉エリア、玉造温泉エリア、美保関観光旅館エリアの4つのエリアを「脱炭素先行地域」の対象として設定、12の共同提案者を構成メンバーとする「松江市脱炭素先行地域推進協議会」を設立し2030年度(令和12年度)までに民生部門(家庭・宿泊施設・飲食店・事業所・公共施設)の電力消費に伴う二酸化炭素排出「実質ゼロ」を共に取り組み、世界から選ばれる観光地として持続可能な観光の実現を目指す。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・宿泊施設や公共施設にソーラーカーポート、充電設備を設置。(1施設)(1館) ・温泉宿泊施設の省エネ化。LED照明(2施設)、高効率給湯機(1施設) ・松江しんじ湖温泉エリアにおけるEVシェアの導入。(1拠点) ・市内にあるデータセンターへ災害時に活用できる蓄電池の導入。		・市有遊休地への太陽光発電設備の導入。(2地点) ・宿泊施設にソーラーカーポート、充電設備の導入。(4施設) ・温泉宿泊施設の省エネ化。LED照明、高効率給湯機(1施設) ・電動モビリティの導入(美保関エリア)		・市遊休地に太陽光発電設備を導入。 ・宿泊施設と公共施設にソーラーカーポートと充電設備を導入。 ・温泉宿泊施設の省エネ化。(LED照明、高効率給湯機、排熱利用) ・観光地へのグリーンスローモビリティの導入。			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		17,901	543,857	450,675	366,656	-177,201	
	国・県支出金		9,209	537,004	446,499	362,879	-174,125	
	地方債		4,800	0	0	0	0	
	その他		0	6,853	4,176	3,777	-3,076	
	一般財源		3,892	0	0	0	0	
歳入合計		17,901	543,857	450,675	366,656	-177,201		
課題	・複数年事業のため、計画を達成するためにエリア内の需要家へ計画の継続的な理解や協力が必要。 ・観光に関する脱炭素化を進めるために、観光業の関係者や関係機関の協力や調整が課題。 ・多くの共同提案者や関係者がいるため、情報の共有や事業の調整が課題。		方向性	・本計画について需要家へ説明、事業の意義など丁寧な説明が重要。 ・事業について実施主体となる関係者や関係機関と共創できるように調整・情報共有を図る。 ・推進協議会や定期的にタスクフォースを開催し情報共有を図る。				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	脱炭素先行地域推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	交付金申請、交付決定		
	6月～2月	各取組みの実施		
	3月	交付金実績報告		

本事業に関する主要データ

今後のスケジュール(主な取組み)

概算事業費:50億円 交付金(見込み):32億円

主な取組み	R5	R6	R7	R8	R9
オフサイトPPA (市有遊休地)		○	○	○	○
オンサイトPPA (屋根・ソーラーカーポート)		○	○	○	○
コミュニティ蓄電池導入			○		
高効率ヒートポンプ給湯システム・高効率照明機器導入	○	○	○	○	○
温泉排水熱利用システム導入	○	○	○	○	○
電動小型モビリティ導入				○	○
太陽光パネルのリユースパネル太陽光発電所建設	○	○	○	○	○
郷川遊覧船の電動化	○	○	○	○	○
ブルーカーボンの推進・水草や林地残材等の利活用	○	○	○	○	○



ソーラーカーポート設置 (玉湯公民館)

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	240		
使用料及び賃借料	3,537		
負担金補助及び交付金	362,879		
事業費計			366,656

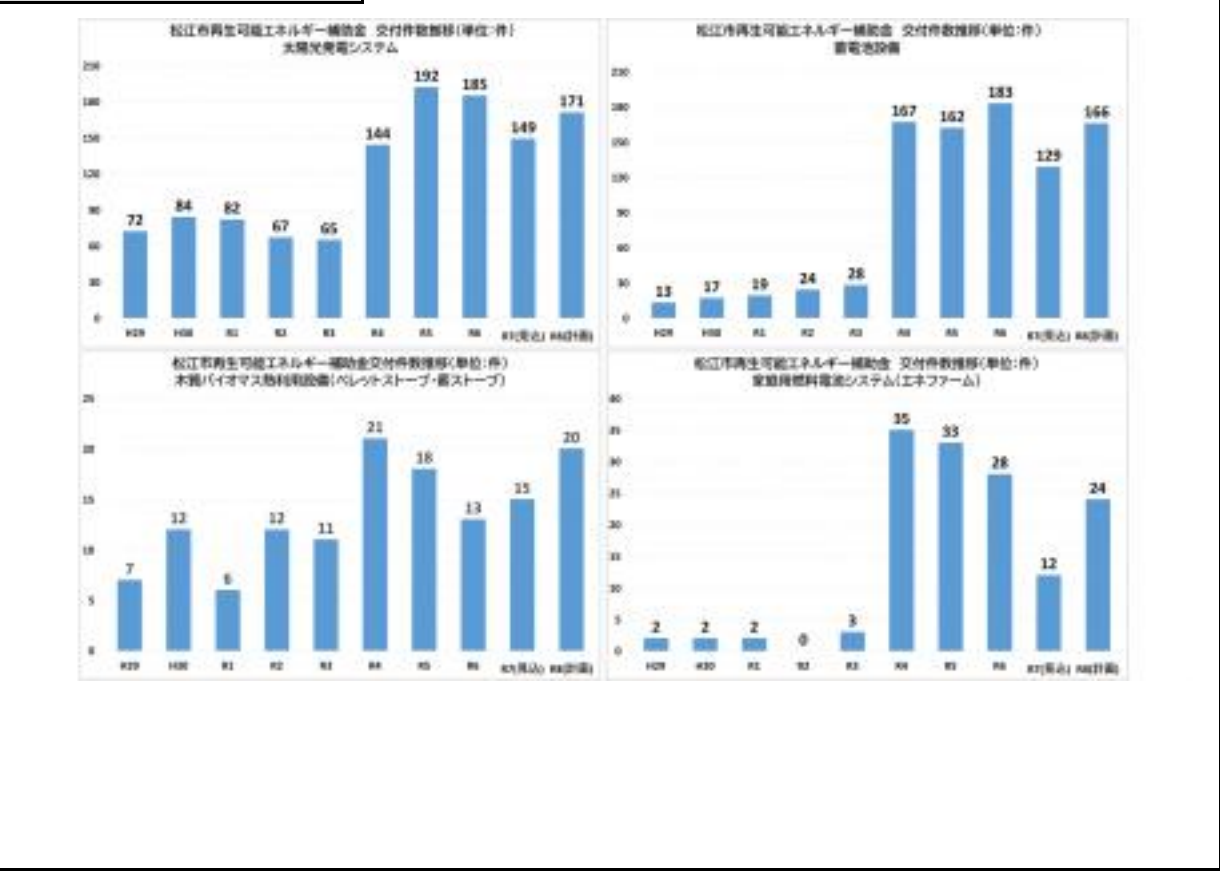
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
環境エネルギー部環境エネルギー課		地球温暖化対策機器等導入促進事業補助金					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	地球温暖化対策における二酸化炭素排出量の削減及び省エネルギーの推進を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		太陽光発電の補助件数累計(H15～)	3,022	3,171	3,342	3,622	4,222
	目標（何を達成するのか）	蓄電池の補助件数累計(H29～)	613	742	908	1,207	1,807
	住宅及び事業所への初期投資に係る経費を支援し、再生可能エネルギー機器等の導入促進を図る。	家庭用燃料電池の補助件数累計(H27～)	108	120	144	223	343
事業概要	【令和8年度補助金メニュー】 ・住宅用太陽光発電システム ※1kWあたり25,000円（上限100,000円） ・事業所用太陽光発電システム ※1kWあたり12,500円（上限 50,000円） ・蓄電池設備 ※設置経費(上限 50,000円) ・ペレットストーブ ※設置経費の1/4(上限300,000円) ・薪ストーブ ※設置経費の1/4(上限300,000円) ・太陽熱利用設備(ソーラーシステム) ※設置経費の1/3(上限200,000円) ・家庭用燃料電池システム(エネファーム) ※設置経費の1/10（上限140,000円） ※上記の補助率や補助上限は変更することがある						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・住宅用太陽光発電システム :148件 ・事業所用太陽光発電システム :1件 ・蓄電池設備 :129件 ・ペレットストーブ :6件 ・薪ストーブ :9件 ・太陽熱利用設備(ソーラーシステム) :0件 ・家庭用燃料電池システム(エネファーム) :12件 ・補助件数合計 :305件	・住宅用太陽光発電システム :165件 ・事業所用太陽光発電システム :6件 ・蓄電池設備 :166件 ・ペレットストーブ :5件 ・薪ストーブ :15件 ・太陽熱利用設備(ソーラーシステム) :4件 ・家庭用燃料電池システム(エネファーム) :24件 ・補助件数合計 :385件		・住宅用太陽光発電システム ・事業所用太陽光発電システム ・蓄電池設備 ・ペレットストーブ ・薪ストーブ ・太陽熱利用設備(ソーラーシステム) ・家庭用燃料電池システム(エネファーム)			
	(R6年(月)末日現在)						
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	34,184	40,624	26,392	35,370	-5,254	
	国・県支出金	0	24,600	23,742	21,900	-2,700	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	6,000	8,648	2,650	2,650	-5,998	
	一般財源	28,184	7,376	0	10,820	3,444	
歳入合計		34,184	40,624	26,392	35,370	-5,254	
課題	CO2排出量削減や省エネ機器の普及には、市民や事業者の行動変容が必要である。 近年は、地域との調和が図られていない大規模太陽光発電事業への懸念から、小規模な住宅用太陽光発電設備をはじめとする再生可能エネルギー設備等への疑義が生じ、導入停滞に波及する可能性がある。		地域と調和した再生可能エネルギー機器等の適切な導入を促すため、市報やラジオ、市内のデジタルサイネージなどを活用し、市民へ分かりやすく正しい情報を発信する。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	地球温暖化対策事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金受付開始		
	4月～3月	制度の周知、申請受付、交付決定、実績報告受付、補助金交付		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	110		
負担金補助及び交付金	35,260		
事業費計			35,370

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
環境エネルギー部環境施設課		不燃物処理場改良事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	西持田不燃物処理場(埋立場)において、新たに焼却灰を埋立てる機能を追加し、既存最終処分場の有効活用を行うとともに長寿命化を図る。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		成果指標になじまない					
	目標（何を達成するのか）						
	埋立物の追加に必要な改良及び敷地の有効活用を前提とした長寿命化を図る改良工事を実施し、令和13年度からの供用開始を達成するもの。						
事業概要	西持田不燃物処理場に新たに焼却灰を埋立てる機能を追加するため、既存最終処分場の長寿命化に係る改良工事を実施し、令和13年度から供用開始を行っていくもの。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	西持田不燃物処理場の改良工事に係る実施設計業務委託に向けて、必要な測量地質調査業務委託を実施。 【予算額31,172千円(うち25,718千円)(最終処分場整備事業費)】	西持田不燃物処理場改良工事に向けた実施設計を実施し、改良後の処理場が施設周辺の生活環境へ影響を及ぼさないか調査を行う。		西持田不燃物処理場改良工事に向けた実施設計を完成させ、工事着工に必要な関係機関との協議を完了させる。			
	達成度						
計画目標に向けて順調に推移							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		0	0		139,532	139,532	
財源内訳	国・県支出金	0	0		45,462	45,462	
	地方債	0	0		70,000	70,000	
	その他	0	0		0	0	
	一般財源	0	0	0	24,070	24,070	
歳入合計		0	0		139,532	139,532	
課題	西持田不燃物処理場への改良工事方針について、地元住民の理解は得たものの、引き続き長期にわたって使用することに対する不安を解消する必要がある。		方向性	地元住民の安心・安全を確保するため、将来にわたって適正かつ長期の埋立てが可能となる施設改良・整備を行う。			

環境エネルギー部環境施設課不燃物処理場改良事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境首都まつえ」
	主要施策	不燃物処理場改良事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	実施設計業務・生活環境影響調査業務:競争入札		
	5月	実施設計業務・生活環境影響調査業務:契約締結、業務着手		
	3月	実施設計業務:中間報告、生活環境影響調査業務:業務完了		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	139,532		
事業費計			139,532

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
環境エネルギー部環境施設課		エコクリーン松江基幹的設備改良事業費（継続費）						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	エコクリーン松江は稼働から15年が経過し、基幹的設備の老朽化が進んでいるため、改良工事により施設の機能確保と安定稼働を維持する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			成果指標になじまない					
	目標（何を達成するのか）							
	基幹的設備改良工事によりR22年度まで施設の延命化をはかり二酸化炭素の排出量を3%以上削減する。							
事業概要	基幹的設備改良工事を行うことで、設備の更新に加え二酸化炭素の削減及び燃焼安定性を向上させる。ごみクレーン、破碎機、副資材供給設備、ボイラ給水ポンプ、スートブロワ等の機器について電動機を高効率モーター等により更新することにより消費電力削減、熔融炉及び燃焼室の耐火物更新（耐火物材料の変更）により燃焼の安定性向上、発電機更新に伴う高効率化により発電電力量を増加し、二酸化炭素の排出量を削減する。 ※基幹的設備改良事業は令和8年度から令和12年度の5ヵ年事業として実施する。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・発注支援業務を実施 【予算額34,982千円（うち20,350千円）（一般廃棄物処理施設整備計画策定事業費）】		・実施設計図書作成 ・酸素発生装置の圧縮機更新		更新及び整備項目 ・1号炉 炉頂挿入装置、熔融炉、除じん装置、燃焼室、ボイラ、ろ過式集じん機、誘引通風機、水砕装置、リターン灰処理装置、プロセスガス分析計、公害防止監視装置 ・共通系 ごみクレーン、No3副資材搬出コンベヤ、大塊コンベアや処理物コンベヤ、分散型制御システム			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		0	0		82,474	82,474	
	国・県支出金		0	0		21,098	21,098	
	地方債		0	0		59,100	59,100	
	その他		0	0		0	0	
	一般財源		0	0	0	2,276	2,276	
歳入合計		0	0		82,474	82,474		
課題	施設を稼働しながらの工事になるため適切な工事計画を立て、ごみ処理や工期に支障の出ないよう施工監理を行う。		方向性		R8～R12年度の5か年の工期で、燃焼効率の改善や電動機等の省エネ化により二酸化炭素の排出量を3%以上削減する。			

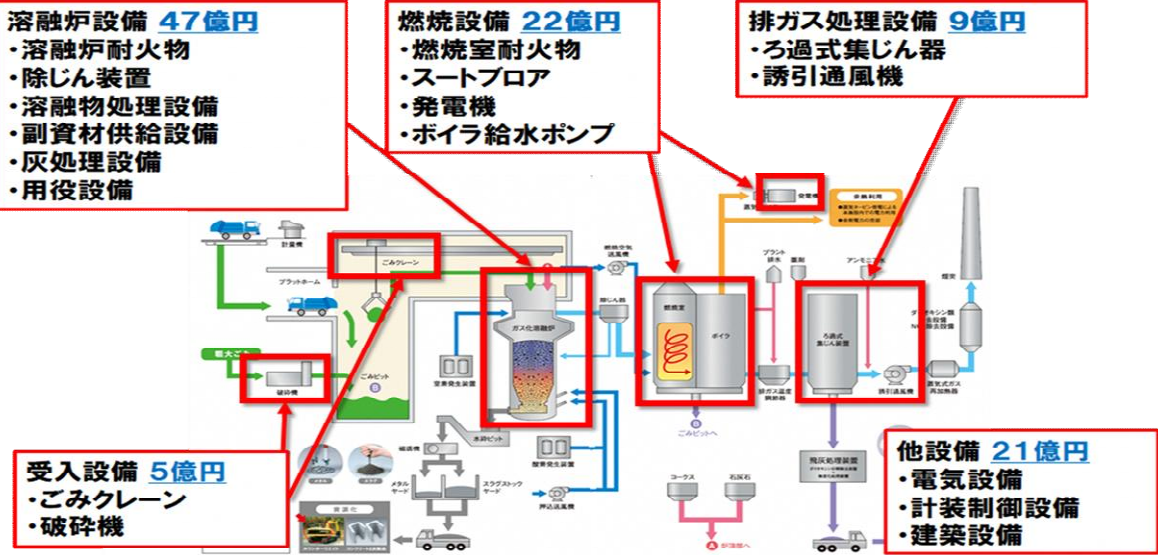
松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	エコクリーン松江基幹的設備改良事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	工事請負仮契約		
	6月	議会承認		
	6月	工事請負本契約		

本事業に関する主要データ

基幹的設備改良工事の概要

◆事業費 105億円(税込) ※設計施工監理費含む(1億円)



基幹的設備改良工事概要図
主な地方債：一般廃棄物処理事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	19,492		
工事請負費	62,982		
事業費計			82,474

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
都市整備部大橋川治水・国県事業推進課		水辺の利活用促進事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	中心市街地において賑わいが失われている大橋川周辺の水辺空間のリノベーションを進め、持続可能な利活用の仕組みをつくるとともに、人と人とのつながりが広がり賑わいのある水辺空間の創出を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			水辺の公共空間活用日数（日/年）	259	370	395	395	406
			水辺が利用しやすいと感じる市民割合（％）	31	42	64	66	70
	目標（何を達成するのか）							
「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」に関連する事業を実施し、賑わいやまちあるぎ動線の創出を図り、あるきたくなるまちを目指す。								
事業概要	【かわまちづくり計画に基づくソフト・ハード施策の実施】							
	・官民協働によるミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ・水辺の利活用普及推進イベントの実施 ・河川空間のオープン化の調整 ・水面利用ルールの作成・周知 ・千鳥南公園の再整備及び国による親水護岸整備との協議・調整 ※成果指標「水辺の公共空間活用日数（日/年）」は、7箇所（R6までは6箇所）の公共空間の活用延べ日数							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ・利活用普及推進イベント（岸公園「ミズベデカンパイ」「ミズベリング縁日」） ・水面利用ルールの作成		・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ・利活用普及推進イベント ・水面利用ルールの周知		・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ・利活用普及推進イベント ・水面利用ルールの周知			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		3,559	800	800	800	0		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	3,559	400	400	800	400		
	一般財源	0	400	400	0	-400		
歳入合計		3,559	800	800	800	0		
課題	・L字ラインの回遊性向上と中心市街地の活性化のため、水辺の利活用（ソフト）に加え、大橋川改修に合わせた連続的な歩行空間・水辺空間の整備（ハード）が必要。 ・安全な水面利用の促進には動力船利用者に対するルールの周知が不可欠。			方向性	・「河川空間のオープン化」を進め、水辺空間の利用促進を図る。 ・水面利用ルールに係る動力船利用者への周知に向け、船舶免許試験・更新団体や船舶検査団体へ協力を求める。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた
	主要施策	水辺の利活用と回遊性を高めるかわまちづくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	ミズベリング松江協議会会議	10月	ミズベリング縁日
	4～3月	協議会構成団体の水辺利活用促進		
	4～3月	水面利用ルール の周知		
	7月	ミズベデカンパイ		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	800		
事業費計			800

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
まちづくり部交通政策課		自動運転実証事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	喫緊の課題である運転士不足が解消され、公共交通の安定性・利便性が高まることで、「だれもが安心して、やさしく移動できるまち」の実現をめざす		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			L4自動運転バスの路線延長(km)	0	0	0	4.3	4.3
			自動運転バス利用者数(人)	0	219	5,400	5,400	43,800
	目標（何を達成するのか）							
路線バスへの自動運転技術の早期実装		路線バス利用者数（万人）	398	398	445	445	445	
事業概要	路線バスへの自動運転技術の実装に向けて、技術面・社会受容面から検証を重ねる。R9年度中に1路線で特定自動運転レベル4許認可取得をめざす。 走行ルート：JR松江駅～くにびきメッセ・国宝松江城付近～JR松江駅 の周回4.3km区間 （参考）数値目標について 自動運転バス利用者数のうち、R7・R8は試乗人数とし、目標値はR10年度以降の本格運行時とする。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	4/8 総務省「地域社会DX推進パッケージ事業（自動運転レベル4検証タイプ）」採択（市財政負担なし） 実証走行期間：9月～12月 走行ルート：JR松江駅～テクノアークしまね（片道4.5km） 一般試乗会：11/29～12/14 7日間（224席） 自動運転WG：3回 自動運転PR動画制作（市単独事業）		R9年度中の特定自動運転レベル4の許認可取得をめざし、準備走行及び一般試乗会を開催する 走行ルート：JR松江駅～市街地周回1周4.3km 自動運転レベル：レベル2（運転士がハンドルに手を添えた状態） 走行期間（予定）：9月～2月（準備走行＋一般試乗1～1.5月程度予定） 自動運転WG：3回 自動運転バスのPR（イベント参画など） 財源：国土交通省「自動運転社会実装推進事業」を予定		実証実験（認可取得に必要な走行データの取得） 走行ルート：JR松江駅発着「市街地ループ」1周4.3km 年度中に自動運転レベル4取得 R10年度以降の本格運行に向けて、運賃設定およびオペレーション整理 自動運転バスのPR（出前講座、イベント参画など）			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		0	1,355	1,355	250,129	248,774	
	国・県支出金		0	0	0	200,000	200,000	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	1,355	1,355	50,129	48,774	
歳入合計		0	1,355	1,355	250,129	248,774		
課題	コスト：車両価格等、イニシャルコストが高額であり国による支援は必須 ランニングに対する運賃以外の収入確保 技術：路上駐車回避、収益性の観点から立席を可能とする安定した運行への技術的向上 その他：運転以外の業務（乗降支援や現金による運賃收受等）の対応				コスト：導入に対する国の支援継続を要望。運賃以外の収入確保策を検討（広告収入など） 技術：路上駐車回避等への技術改善と沿線企業等への協力依頼 その他：保安員による対応の検討			
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた
	主要施策	DX/GXIによる持続可能な公共交通の基盤構築

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	～8月	関係機関への調整、事前準備		
	9月～2月	実証走行・試乗会		

本事業に関する主要データ

●路線バスの運転士数

年次	一般バス・松江	松江市交通局	合計
18年	77	86	163
19年	75	88	
20年	68	91	
21年	64	89	
22年	56	91	
23年	56	95	
24年	52	93	145

※各年度末、令和7年度は4月1日時点

●走行ルート（予定）

4.3km／周回

松江しんじ川橋梁交差点

国宝松江城

松江市総合体育館

松江駅

JR松江駅

◀R7年度試乗会の様子
総務省 R7年度 地域社会DX推進パッケージ事業（自動運転レベル4検証タイプ）より

●自動運転バス導入のねらい

- 公共交通の維持
 - 自動運転による省人化
 - 抽出した運転士を郊外部路線に再配置し全体の充実化を図る
- おでかけ需要の創出
 - 国宝松江城等を経由し、観光需要にも対応
 - 中心市街地の周遊を促進
- まちの魅力向上
 - DX・GXの観点から、先駆的な取組みにチャレンジするまち

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	129		
委託料	250,000		
事業費計			250,129

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
まちづくり部交通政策課	総合交通体系推進費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	本市地域公共交通計画の基本理念「松江市民みんなでつくる だれもが安心して、やさしく移動できるまち・松江」の実現に向け、市民の皆様が暮らしやすく、出かけたくなるまちづくりに貢献する公共交通の構築	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		路線バス・コミバスの利用者数(万人)	418	418	475	475	475
		公共交通の利用者数(万人)【4月～3月】	681	681	787	787	787
	目標（何を達成するのか）						
	公共交通機関・事業者の共創・補完関係の構築により、通勤・通学や通院・買い物などの日常生活を支える公共交通サービスを確保する						

事業概要	●松江市公共交通利用促進市民会議・公共交通で暮らしやすい未来を実現するプロジェクトチーム(PT)の開催・活動支援 交通事業者・経済団体・地域の代表・行政・学識経験者等で構成する会議体(法定協議会)にて、公共交通のあり方全般に関する検討を行う ●松江市地域公共交通利便増進実施計画及び松江地区乗合バス事業共同運行計画の推進 ●運転手確保対策 ・タクシー人材確保対策支援事業 ・ライドシェアタクシー運転手確保対策支援事業 ・「バス運転体験会&バス・タクシー就業フェア」の開催(交通事業者との連携) ・「時差出勤」の啓発活動と絡めた公共交通の利用促進 (数値目標)公共交通の利用者数:鉄道・路線バス・コミュニティバスの合計、目標値はR10(H30年度実績)

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	・市民会議(5回)・PTの開催(4回) ・「松江市地域公共交通利便増進実施計画」策定、「松江地区乗合バス事業共同運行計画」策定支援 ・タクシー人材確保対策支援事業費補助金の交付(4件) ・ライドシェアタクシー運転手確保対策支援事業補助金の交付(4件) ・「バス運転体験会&バス・タクシー就業フェア」の開催(11/23 来場者23名) ・松江Good Morning Projectと連携し「時差勤務」の啓発活動と絡めた公共交通の利用促進	・市民会議・PTの開催(3回) ・路線バス事業者が行う共同運行路線のバス停看板のデザイン共通化を支援 ・タクシー人材確保対策支援事業 ・ライドシェアタクシー運転手確保対策支援事業 ・「バス運転体験会&バス・タクシー就業フェア」の開催 ・「時差出勤」の啓発活動と絡めた公共交通の利用促進	・市民会議・PTの開催(3回) ・松江市地域公共交通利便増進計画及び松江市地区乗合バス事業共同運行計画に基づく、乗り継ぎ拠点の整備・運行ダイヤの見直しなど
	達成度		
	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		899	6,899	6,899	7,590	691
財源内訳	国・県支出金	0	500	500	1,245	745
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	899	6,399	6,399	6,345	-54
歳入合計		899	6,899	6,899	7,590	691

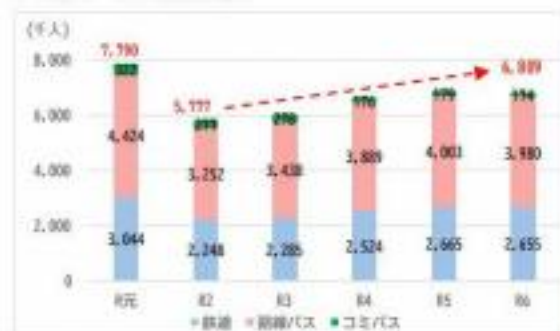
課題	運転士不足に起因する路線バスの減便・廃止など、公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にある。	方向性	令和7年度に策定した、「松江市利便増進実施計画」及び「松江地区乗合バス事業共同運行計画」に基づき、共同運行バス停看板の共通化など、公共交通の利便性を高め利用促進を図る。 また、公共交通の担い手確保を目的とした補助金交付や就業フェアの開催、「時差出勤」と絡めた公共交通の利用促進に取り組む。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた
	主要施策	公共交通の利便性向上と路線バスの効率化

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	松江市公共交通利用促進市民会議・PT開催	1月	松江市公共交通利用促進市民会議・PT開催
	6月～	共同運行路線のバス停看板の共通化		
	9月	松江市公共交通利用促進市民会議・PT開催		
	11月	バス運転体験会&バス・タクシー就業フェア		

本事業に関する主要データ

● 鉄道・バス利用者数



● バス運転体験会&バス・タクシー就業フェア



● 共同運行路線のバス停看板の共通化

【対象区間】八雲車庫～川津（77箇所）



R8節別予算額内訳(千円)

節名称	金額	節名称	金額
旅費	153		
需用費	128		
役務費	121		
負担金補助及び交付金	7,188		
事業費計			7,590

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
まちづくり部交通政策課		地域公共交通再構築事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	令和7年度に策定した「松江市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、交通結節点である「川津バス停」の待合環境の充実や、路線バスのバス停の上屋・ベンチの機能向上を実施し、公共交通の利便性向上と利用促進を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			公共交通の収支率（％）	65.1	65	68	71	74
	目標（何を達成するのか）		公共交通に対する市民一人あたりの公的資金投入額（円/人以内）	3,959	4,000	4,000	4,000	4,000
	「松江市地域公共交通利便増進実施計画」に基づく路線再編等にあわせて施設整備を実施することで、利便性を維持しつつ、公共交通の収支改善や利用者数の増加を図り、「だれもが安心して、やさしく移動できるまち・松江」の実現を目指す。		公共交通の利用者数（万人）	681	681	787	787	787
事業概要	国土交通省の社会資本整備総合交付金を活用し、交通結節点である「川津バス停」の待合環境の整備や、その他のバス停上屋の機能更新を行う。 「川津バス停」については、既存の待合所やトイレ、駐輪場の更新を行うとともに、バスの運行状況が確認できるデジタルサイネージを設置する。 また、その他のバス停についても、快適な環境でバスを待つことができるよう、上屋やベンチの整備・更新、多言語表示を実施し、バス停の待合機能の向上を図る。 なお、対象のバス停については、上屋の老朽化の程度や利用者数等を踏まえ選定し、1年に4か所ずつ、令和10年度までの3年間で12か所の整備を行う。 （数値目標）公共交通の利用者数：鉄道・路線バス・コミュニティバスの合計							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	路線バスのバス停上屋124基について、職員の目視による老朽化状況の調査を実施し、R8年度より機能更新を行う上屋の選定を行った。		川津バス停の待合環境整備については、施設整備に向けた設計を行う。 バス停上屋の機能更新については、相生町入口（北進・南進）、春日南（北進）、南殿町（南進）の各バス停の上屋、ベンチ等を整備する。		川津バス停の待合環境整備については、待合所やトイレ、駐輪所等の施設整備工事を実施する。なお、工事期間中は、臨時的な駐車場所や待合スペースを確保するなど、バスの運行や利用者の安全確保に支障がないよう配慮する。 バス停上屋の機能更新については、菅田庵入口（西進）、石橋町（南進）、天神町中央（西進）、附属学園入口（北進）の各バス停の上屋、ベンチ等を整備する。			
	達成度							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		0	0	0	31,915	31,915		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	15,957	15,957		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	15,958	15,958		
	歳入合計	0	0	0	31,915	31,915		
課題	川津バス停の待合所や駐輪場については、建替え工事を行う令和9年度に、一時的に使用不可となる期間があるため、バス利用者の利便性確保のため、安全面にも十分配慮しながら、代替の待合スペースや駐輪スペースを確保する必要がある。			方向性	令和9年度の工事に向けた設計業務を令和8年度に行う予定。工事期間中の代替スペースの確保や安全対策等については、バス事業者とともに検討を行い、工事設計に反映する予定。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた
	主要施策	公共交通の利便性向上と路線バスの効率化

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	社会資本整備総合交付金 実施計画書提出	2月	事業完了
	5月	交付金 交付申請	3月	交付金 実績報告
	6月	交付金 交付決定		
	7月(交付決定後)	入札・業者選定、事業の実施		

本事業に関する主要データ



【川津バス停の待合環境整備 待合所の現況】



【バス停上屋の機能向上 上屋老朽化の状況】



【バス停上屋の機能向上 対象バス停の所在地】

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	31,915		
事業費計			31,915

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
都市整備部道路課		白潟地区都市構造再編集集中支援事業費(道路課)					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	中心市街地において賑わいの動線をつなげ、歩きたくなる水辺空間や市街地を形成することにより、中心市街地の魅力向上を図る。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		中心市街地の歩行者自転車通行量(人/年)	25,375	25,015	24,500	24,500	24,500
	目標（何を達成するのか）	水辺の公共空間活用日数(日/年)	259	370	395	395	406
	大橋川拡幅に合わせ、遊休不動産の活用やまちあるきルートの形成、まちなみ景観の整備を進め、白潟地区と大橋川周辺の水辺に賑わいを創出し、動線をつなげることを目指す。						
事業概要	【施策方針1 既存ストックと水辺空間の活用】 ・水辺の賑わい拠点整備(約1400㎡)、交流拠点整備(約215㎡)、出店基盤整備、専門家招へい、公共空間(水辺・広場・歩道)における社会実験 【施策方針2 地域資源を巡るまちあるきルートの創出】 ・歩行者空間整備及び美装化(松江港線、和多見天神橋線ほか)、景観照明整備(73基)、案内板整備(6基) 【施策方針3 水辺や都市空間と調和した落ち着きのあるまちなみ形成】 ・電線類の地中化(松江港線、和多見天神橋線)、住宅等修景支援						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・電線共同溝整備工事(松江港線、和多見天神橋線) ・歩行者空間整備工事(和多見天神橋線) ・歩行者空間整備設計(松江港線) ・電線共同溝詳細設計(松江港線) ※電線共同溝整備工事(松江港線、和多見天神橋線)、歩行者空間整備設計(松江港線)、電線共同溝詳細設計(松江港線)はR8へ契約繰越。	・電線共同溝整備工事(松江港線、和多見天神橋線) ・歩行者空間整備工事(松江港線、和多見天神橋線) ・景観照明整備設計(松江港線)		・電線共同溝整備工事(松江港線、和多見天神橋線) ・歩行者空間整備工事(松江港線、和多見天神橋線)			
	達成度						
	計画目標に向かって概ね順調						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		42,863	177,000	90,254	325,828	148,828	
財源内訳	国・県支出金	28,400	87,589	32,200	161,738	74,149	
	地方債	12,400	85,300	52,200	157,600	72,300	
	その他	0	1,821	0	2,352	531	
	一般財源	2,063	2,290	5,854	4,138	1,848	
	歳入合計	42,863	177,000	90,254	325,828	148,828	
課題	・まちづくりを担う民間プレイヤーの育成が必要。 ・水辺や歴史的なまちなみを巡るための歩行者空間に連続性が必要。 ・大橋川改修や新大橋架替え、白潟本町通り整備と整合したまちづくりが必要。 ・施工にあたり、国(大橋川改修)、県(新大橋架替え)、電線管理者、既設埋設管管理者等との調整が必要。		・松江駅前から白潟を通り松江城に達するまでの動線上に、歩きたくなる魅力的なエリアを形成する。 ・関係者との調整を綿密に行い、確実な整備を図る。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	大橋川改修に伴うまちづくり(白潟地区都市構造再編集集中支援事業)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～3月	松江港線電線共同溝整備工事、歩行者空間整備工事		
	7月～3月	和多見天神橋線電線共同溝整備工事、歩行者空間整備工事		
	7月～2月	松江港線景観照明整備設計		

本事業に関する主要データ



主な地方債：公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	176,681		
工事請負費	149,147		
事業費計			325,828

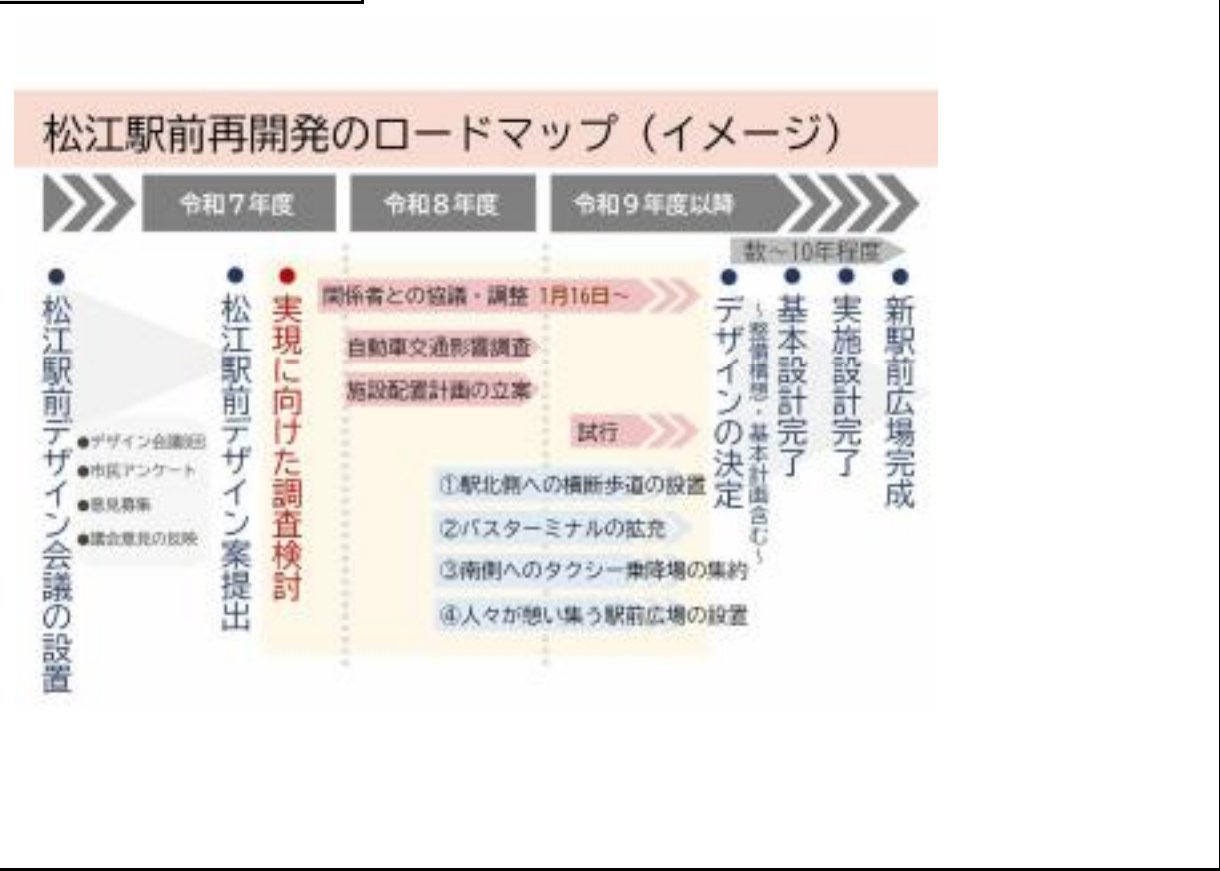
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
まちづくり部都市政策課		JR松江駅前整備検討事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	松江駅から殿町周辺までのL字ラインの賑わいの創出を図るため、駅周辺エリアの拠点性や魅力を高める。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		指標設定になじまない					
	目標（何を達成するのか）						
	松江駅前が「人々が集う松江の顔、松江の玄関」となるような将来像にふさわしいデザインを決定し、その実現を図る。						
事業概要	令和5年12月に本市と松江商工会議所が共同で設置した「松江駅前デザイン会議」から提出された二つの「松江駅前デザイン案」について、実現可能性の検討を進め、松江駅前の将来像にふさわしいデザインを決定し、その実現に向けたプロセスや役割分担などを整理するとともに、公民連携による駅前再開発を進めていく。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・松江駅前デザイン会議（2回開催） ・「松江駅前デザイン案」の作成・提出 ・松江駅前デザイン案の実現可能性を検討するため、関係者との協議・調整を開始（県・JR・市の三者による協議・調整）	・松江駅前デザイン案にかかる、下記4点の項目について、実現可能性の調査検討を行う。 ① 駅北側への横断歩道の設置 ② バスターミナルの拡充 ③ 南側へのタクシー乗降場の集約 ④ 人々が憩い集う駅前広場の設置 ・事前調査 ① 北側への横断歩道設置が自動車交通に与える影響調査 ② バスターミナルや広場など施設配置計画の立案 ・事前調査の結果を踏まえて、関係者と具体的な協議・調整を実施		・松江駅前デザイン案にかかる、下記4点の検討項目について、実現可能性の調査検討を行う。 ① 駅北側への横断歩道の設置 ② バスターミナルの拡充 ③ 南側へのタクシー乗降場の集約 ④ 人々が憩い集う駅前広場の設置 ・関係者と具体的な協議・調整を実施 ・試行			
	達成度 計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		3,975	0	0	8,951	8,951	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,975	0	0	8,951	8,951	
歳入合計		3,975	0	0	8,951	8,951	
課題	・一畑百貨店の閉店により、駅周辺の拠点性・賑わいの低下が心配される。 ・早急に松江駅前のあるべき姿、将来像を整理し、市民や民間事業者の皆様と共有する必要がある。		方向性 ・機能の再配置を含め、松江駅前が魅力的な場所になるよう官民連携のもとで検討を進める。 ・松江市地域公共交通計画との整合を図る。 ・「松江駅前デザイン」を4期松江市中心市街地活性化基本計画に位置づけることで、実施主体(プレイヤー)が現れた際に、公的支援が受けられる体制の準備を整える。				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	まちなかにおける賑わい拠点づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	自動車交通影響調査		
	4月～	施設配置計画の立案		
	随時	関係者との協議・調整		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	376		
旅費	758		
需用費	14		
役務費	24		
委託料	7,713		
使用料及び賃借料	66		
事業費計		8,951	

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
都市整備部公園緑地課		こどもたちが遊びたくなる公園づくり事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	「こどもの生活に直結した安心安全なまちづくり」に向け、いつでも安心・安全に利用できる公園とするため、公園の遊具等の修繕を行い、子育て環境日本一を目指す。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値目標とすることには馴染まない。					
	目標（何を達成するのか）						
	使用禁止遊具解消の徹底を図り、公園利用者を増やす。						
事業概要	こども連れの方をはじめ、あらゆる市民の皆様がいつでも安心・安全に利用できる公園とするため、使用禁止措置としている遊具の早期解消を優先に、修繕、更新を進めていく。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	■遊具の修繕・廃止(33基) ■松江湖畔公園を含む公園管理業務委託(37件)	■遊具の修繕・廃止(24基) ■松江湖畔公園を含む公園管理業務委託(38件)		■遊具の修繕・廃止(24基) ■公園管理業務委託(38件)			
	達成度 計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	60,793	61,662	61,662	63,065	1,403	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	200	1,700	1,700	4,600	2,900	
	その他	25,726	29,040	29,040	30,000	960	
	一般財源	34,867	30,922	30,922	28,465	-2,457	
歳入合計		60,793	61,662	61,662	63,065	1,403	
課題	こども連れの方など市民に身近な公園において、使用禁止遊具が増加しており、公園の利用がしづらくなっている。		方向性	「MATSUE Park Vision」で示している「将来も利用しなくなる魅力的な、利用しやすい公園づくり」のため、重点的に使用禁止遊具の対応を行い、早期に解消を行う。 具体的には、令和8年度も引き続き、使用禁止遊具を発見次第、迅速に対応できる概数発注による修繕を行う。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	概数発注方式による新規に発生した使用禁止遊具の修繕対応		
	4～3月	公園管理業務委託		
	4～3月	遊具更新・修繕工事		

本事業に関する主要データ

■「こどもたちが遊びたくなる公園づくり事業費」遊具修繕・更新・廃止等対応基数

(基)

遊具の状態	R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
使用禁止	18	28	24
予防保全	12	5	0
合計	30	33	24

(参考) その他事業費(他課予算含む)で対応(遊具修繕・更新・廃止等対応基数)

(基)

遊具の状態	R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
使用禁止	7	1	0
予防保全	1	0	0
合計	8	1	0

(参考) 上記の合計(遊具修繕・更新・廃止等対応基数)

(基)

遊具の状態	R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
使用禁止	25	29	24
予防保全	13	5	0
合計	38	34	24

★主な地方債：一般事業、公共施設等適正管理推進事業(除却事業)

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	58,086		
工事請負費	4,979		
事業費計			63,065

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
都市整備部公園緑地課		松江湖畔公園再整備事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等に隣接する松江湖畔公園の立地特性を踏まえ、賑わい創出と防災機能の強化を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値目標とすることには馴染まない。					
	目標（何を達成するのか）						
	賑わい創出・防災機能強化に資する再整備と、利活用及び最適な維持管理の検討を進める。						
事業概要		松江湖畔公園内の各公園について、公衆トイレの改修・整備（岸公園・白潟公園）や、「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」に基づき、国の護岸整備と連携した公園（千鳥南公園）を整備する。					
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	【千鳥南公園】 ・公園詳細設計修正業務委託 ・公園改修工事（ちゃぶちゃぶ広場周辺造成工事） ※R8年度に一部繰越見込（29,600千円）	【千鳥南公園】 ・公園改修工事（ちゃぶちゃぶ広場安全施設設置工事、多目的芝生広場造成工事） ・国への譲渡箇所（ちゃぶちゃぶ広場）の用地測量および譲渡		【千鳥南公園】 ・公園改修工事（シェルター、防災倉庫、トイレ改修等施設工事）			
	達成度						
計画目標に向けて順調に推移							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		38,919	56,285	27,768	141,042	84,757	
財源内訳	国・県支出金	16,890	26,108	13,538	68,145	42,037	
	地方債	15,800	28,400	12,100	61,300	32,900	
	その他	6,229	1,777	1,777	11,597	9,820	
	一般財源	0	0	353	0	0	
歳入合計		38,919	56,285	27,768	141,042	84,757	
課題	整備中の千鳥南公園を含めた松江湖畔公園全体の利活用や最適な維持管理の検討が必要。 また、市役新庁舎も含めた周辺一帯の利活用や、それに伴い必要となる公園整備について検討を進める必要がある。			「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」と新庁舎整備事業の進行スケジュールとの調整を図りながら、Park-PFI等の手法の導入についても検討を進め、再整備と並行しながら利活用の推進・維持管理の適正化についても検討を進めていく。			
				方向性			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	千鳥南公園 公園改修工事		
	8月～12月	国への譲渡箇所の用地測量および譲渡		

本事業に関する主要データ

■ 公園整備コンセプト

- ① イベント等多用途に活用できる広場
- ② 市民・観光客向けの防災機能の強化

■ 整備スケジュール

- ・ R7：修正設計、ちゃぶちゃぶ広場周辺造成
- ・ R8：ちゃぶちゃぶ広場安全施設設置、多目的芝生広場・モニュメント広場造成、駐車場整備
- ・ R9：広場芝生張り、シェルター・防災倉庫・トイレ改修等施設工事



★主な地方債：公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	4,265		
工事請負費	136,777		
事業費計			141,042

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
都市整備部公園緑地課		揖屋ふれあい広場(南広場)代替公園整備事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標				
	ヨリアイナーナ(東出雲支所・東出雲公民館)の旧揖屋ふれあい広場(南広場)への建設(移設)により、代替公園を旧東出雲支所・旧東出雲公民館跡地に復元整備する。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値目標とすることには馴染まない。					
	目標（何を達成するのか）						
	代替公園を、新しい揖屋幼保園及び既存の東出雲体育館と隣接するエリアに復元整備するにあたり、揖屋地域周辺の住民サービスの維持向上と、エリア内の公共ストック(公園・幼保園・体育館)の適正化を実現する。						
事業概要		旧揖屋ふれあい広場(南広場)はJR揖屋駅南側にあった都市公園で、複合施設「ヨリアイナーナ東出雲」を当該用地に建設したことに伴い一時的に解体したが、都市公園は安易に面積減少ができないため、旧東出雲支所・旧東出雲公民館を解体した跡地に代替となる公園を整備するもの。整備に際しては、幼保園・体育館と併せて周辺エリアの公共ストック適正化を図る。					
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画		
	・東出雲支所跡地代替公園実施設計業務委託 ・東出雲支所跡地代替公園トイレ実施設計業務委託 ※R8年度へ繰越見込(26,867千円)		・公園全体造成工事		・遊具・園路・施設整備工事		
	達成度 計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
	事業費		5,610	26,867	0	125,783	98,916
	国・県支出金		0	13,433	0	62,891	49,458
	地方債		0	12,000	0	61,300	49,300
	その他		5,610	0	0	0	0
	一般財源		0	1,434	0	1,592	158
歳入合計			5,610	26,867	0	125,783	98,916
課題	・遊具の種類や配置の決定については、地域住民への聞き取りや、隣接地に建設予定の揖屋幼保園との連携が必要となる。 ・今後予定される揖屋幼保園建設工事及び周辺道路改良工事との調整が必要となる。		方向性				
			・保育所幼稚園課(揖屋幼保園)、公共建築課(代替公園トイレ)及び建設総務課(周辺道路)等の関係各課と綿密な連絡や協議を行いながら事業を進める。				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備(地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	設計業務(公園・トイレ)完了		
	6～3月	公園造成工事業務委託		

本事業に関する主要データ

揖屋ふれあい広場(南広場)代替公園整備事業

■ 主な整備内容

- ・ バasketゴール
- ・ 駐車場
- ・ 芝生広場
- ・ 遊具

■ 整備スケジュール

- ・ R7: 詳細設計(R8繰越)
- ・ R8: 全体造成工事
- ・ R9: 遊具・園路・施設整備工事

★主な地方債: 公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	125,783		
事業費計			125,783

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
まちづくり部都市政策課		都市マスタープラン・立地適正化計画改定事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	市域内のバランスのとれた発展に向けて、本市のまちづくりの基本方針となる松江市都市マスタープラン及び松江市立地適正化計画の改定を行う。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			成果指標になじまない					
	目標（何を達成するのか）							
	新たな土地利用制度の創設と併せて、松江市都市マスタープラン及び立地適正化計画の改定を行う。							
事業概要	線引き制度を用いない新たな土地利用制度の創設に向けて、松江市都市マスタープラン(平成30年3月策定)と松江市立地適正化計画(平成31年3月策定、令和4年3月及び令和8年2月改定)を改定する。 【都市マスタープランの改定】 ・全体構想(市域全体を対象としたまちづくりの基本方針や土地利用、都市施設など分野別のまちづくり方針)、地域別構想(地域別のまちづくり方針) 【立地適正化計画の改定】 ・居住誘導区域・都市機能誘導区域の設定、防災指針、目標及び実現方策							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・上位・関連計画の整理と社会情勢の変化、都市の現況・動向の把握 ・進捗状況の把握、現行計画の検証 ・まちづくりの基本方針・将来都市構造の見直し ・基本的な方針・防災指針の見直し ・都市計画審議会での意見聴取		・立地適正化計画改定案の作成 ・分野別のまちづくり方針の見直し ・誘導区域等の設定及び誘導施策の見直し ・数値目標の設定と進捗管理 ・都市計画審議会での意見聴取		・パブリックコメントの実施 ・都市マスタープラン改定案の作成 ・地域別構想の見直し ・都市計画審議会での意見聴取			
	達成度							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		0	9,020	8,019	8,865	-155	
	国・県支出金		0	1,835	938	2,487	652	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	7,185	7,081	6,378	-807	
歳入合計		0	9,020	8,019	8,865	-155		
課題	・新たな土地利用制度の検討と併せて、都市マスタープラン・立地適正化計画においてまちづくりのビジョンの具体化を図る。 ・市域全域における機能誘導について検討する必要がある。		方向性	・市街地や集落などの既存コミュニティを交通などで結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成を目指す。 ・生活サービス機能を持続的に確保するため、将来にわたり人口密度の維持を目指す。 ・医療、教育、商業等の都市機能を一定エリアに誘導し集約を図る。				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	都市マスタープラン・立地適正化計画改定事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	委託業務発注		
	6～3月	都市マスタープラン・立地適正化計画の改定作業		
	6～3月	立地適正化計画の改定案作成		

本事業に関する主要データ



松江市立地適正化計画(居住誘導区域図)

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	8,865		
事業費計			8,865

令和8年度 総合計画実施計画

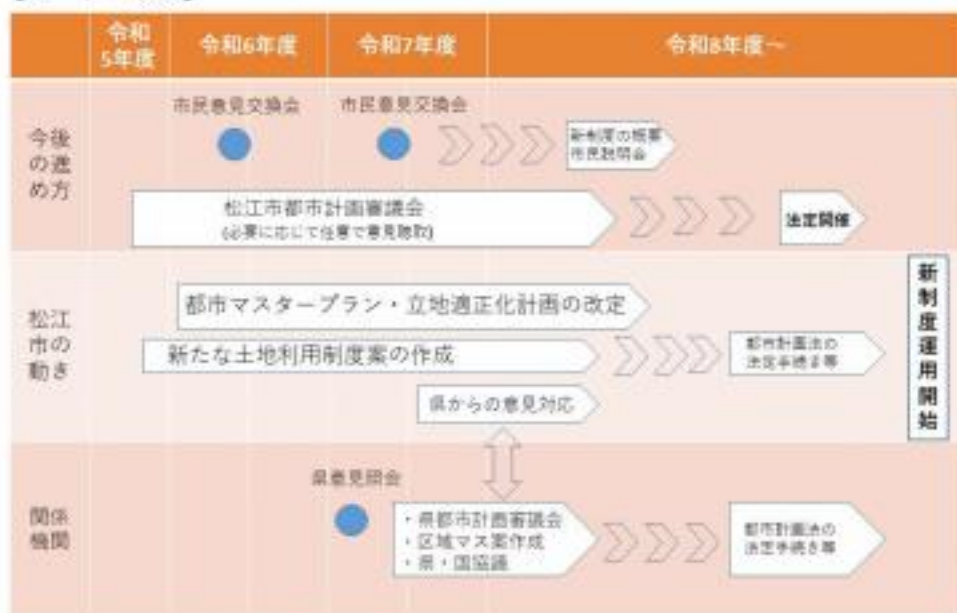
所属		事業名					
まちづくり部都市政策課		土地利用制度検討事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	総合計画に掲げる将来の「まちのかたち」である「市域内のバランスのとれた発展」の実現に向けて、土地利用制度を検討するもの。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		成果指標になじまない					
	目標（何を達成するのか）						
	土地利用の秩序を保ちつつ、線引き制度を用いない新たな土地利用制度を構築する。						
事業概要	令和5年2月に表明した「線引き制度を用いない新たな土地利用制度の創設」に向けて、制度設計に向けた調査・検討や資料整理、国・県等の関係機関との調整、区域区分専門小委員会での意見聴取に対応する。また、制度設計にあたっては、松江市都市計画審議会や市民意見交換会、松江市土地利用アドバイザーとの協議において意見聴取を行いながら検討を進める。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・国・県との協議調整 ・土地利用の制度設計の詳細検討 ・区域区分小委員会での意見聴取 ・都市計画審議会での意見聴取 ・市民・事業者意見交換会の実施 ・アドバイザーとの意見交換 【土地利用制度検討事業費（継続費）】 決算見込額 16,205,000円	・国・県との協議調整 ・土地利用の制度設計の詳細検討 ・区域区分小委員会での意見聴取 ・市都市計画審議会での意見聴取 ・アドバイザーとの意見交換		・国・県との協議調整 ・土地利用の制度設計案作成 ・松江市都市計画審議会での意見聴			
	達成度						
	計画目標に向かって概ね順調						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		191	487	487	1,732	1,245	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	191	487	487	1,732	1,245	
歳入合計		191	487	487	1,732	1,245	
課題	・現行の土地利用制度導入から半世紀が経過し、人口減少等の社会状況の変化に対応した土地利用制度の構築が求められている。 ・全市的な課題である空き家、耕作放棄地への対応、開発や地価への影響、防災減災の視点、公共交通、インフラに係る行政コストなど、様々な観点からの検討が必要とされる。		方向性	・市街地や集落などの既存コミュニティを交通などで結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成を目指す。 ・「分かりやすい制度内容」、「チャレンジしやすい環境創出」、「持続可能なまちづくり」を目指した制度の検討を行う。 ・地域の実情に柔軟に対応できる制度の構築を目指す。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	新たな土地利用制度の検討

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	制度設計の検討	4～3月	国・県との協議
	4～3月	業務委託の発注	10月	アドバイザーとの協議
	4～12月	区域区分専門小委員会の開催		
	4～3月	都市計画審議会の開催		

本事業に関する主要データ

【ロードマップ】



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	70		
旅費	97		
委託料	1,507		
使用料及び賃借料	58		
事業費計			1,732

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
総務部総務課		交通安全対策組織運営費 外5事業					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	松江市交通安全対策会議を中心として、警察、各地区交通安全対策協議会等と連携し、市民に交通安全と交通事故防止を呼びかけることにより、「安心で安全なまちづくり」を実現する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		交通事故発生件数（件）	286	272	170	160	140
	目標（何を達成するのか）						
	「日本一交通事故のない県都松江」の実現						
事業概要	新たに策定予定である第12次松江市交通安全計画（R8～R12年度）に基づき施策を展開する。交通指導員、交通安全地区教育指導員等による地域住民への交通安全教育を実施し、地域ぐるみの交通安全対策を推進する。また、市内の事業所を「交通安全モデル事業所」に指定することで企業へも交通安全に対する意識づけを行い、交通事故防止のための取り組みを行う。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	第11次松江市交通安全計画（R3～R7年度）に基づき施策を展開する。 ・交通指導員による街頭指導 ・交通安全地区教育指導員による各地区、学校等における交通安全教室の実施 ・自転車マナーアップ運動の実施 ・交通安全モデル事業所の選定による安全運転管理体制の強化 等	新たに策定予定である第12次松江市交通安全計画（R8～R12年度）に基づき施策を展開する。		第12次松江市交通安全計画（R8～R12年度）に基づき施策を展開する。			
	達成度 計画目標に向かって概ね順調						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		19,986	21,247	21,300	22,914	1,667	
財源内訳	国・県支出金					0	
	地方債					0	
	その他					0	
	一般財源	19,986	21,247	21,300	22,914	1,667	
歳入合計		19,986	21,247	21,300	22,914	1,667	
課題	各地区交通安全対策協議会、交通指導員、交通安全地区教育指導員等に、地域における交通安全対策の中心的役割を長年担っていただいているが、高齢化も進み、次世代の担い手確保に苦慮している。		引き続き警察や、地域の要である交通安全対策協議会等と連携しながら、取り組んでいく。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	交通安全対策事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	交通指導員による街頭指導	8月頃	交通安全対策連絡協議会総会
	4月～3月	各地区交通安全対策協議会補助金による事業実施	9月頃	松江市交通安全功労者表彰
	4月・9月	自転車マナーアップ運動	随時	交通安全地区教育指導員等による交通安全教室
	6月・7月	交通安全対策会議幹事会・総会		

本事業に関する主要データ



- ◆第11次松江市交通安全計画(R3年度～R7年度) ◆交通安全推進のための委嘱・指定(R8年2月1日時点)
- 【計画目標】
- ①交通事故発生件数 180件以下
 - ②交通事故死者数 3人以下
 - ③交通事故重傷者数 35人以下
 - ④踏み切り事故件数 0件
- ◆交通安全推進のための委嘱・指定(R8年2月1日時点)
- ・交通指導員(S44発足) 103名
 - ・交通安全地区教育指導員(H8発足) 86名
 - ・交通安全モデル事業所(H6発足) 30事業所
- ◆自転車マナーアップ街頭指導の実績(R7年度)
- 春・4月10日 参加者数264名 秋・9月26日(雨天中止)

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,726	使用料及び賃借料	2
職員手当等	1,057	負担金補助及び交付金	2,669
共済費	665		
報償費	13,670		
旅費	41		
需用費	1,846		
役務費	238		
事業費計			22,914

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
教育委員会教育総務課		揖屋小学校整備事業費、揖屋小学校整備事業費（継続費）、揖屋小学校増改築事業費（継続費）						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	児童の安全性の確保及び教育環境の改善を図る。 目標（何を達成するのか） 老朽化が進む揖屋小学校校舎及び屋内運動場の長寿命化を図るとともに新しい時代の学びや地域開放への対応、特別支援教育の充実を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			校舎増改築進捗率（％）	100				100
			校舎長寿命化進捗率（％）	40	100			100
			法面对策進捗率（％）			100		100
(数値目標の達成目標年度) 項目名 校舎増改築進捗率（％）：2024（R6）年度、項目名 校舎長寿命化進捗率（％）：2025（R7）年度 項目名 法面对策進捗率（％）：2026（R8）年度 老朽化した校舎及び屋内運動場を長寿命化改良し、併せて今の時代に必要な機能を追加することで良好な教育環境等を持続的に確保する。また、校舎北側及び体育館東側の斜面は土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されており、その一部が校舎と体育館にかかっているため、法面对策工事を実施する。 令和3年度：現況調査、基本計画、令和4年度：地盤調査、実施設計 令和5年度：校舎増改築工事、屋内運動場長寿命化改良工事、令和6年度：校舎増改築工事、校舎長寿命化改良工事 令和7年度：校舎長寿命化改良工事、令和8年度：法面对策工事（レッドゾーン対策）、グラウンド補修								
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・校舎長寿命化改良工事（2年目） ・仮設校舎リース（2年目）		・法面对策工事 ・グラウンド補修		令和8年度で事業完了			
	達成度 計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移（単位：千円）		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		724,627	117,799	993,006	107,116	-10,683	
	国・県支出金		142,216	116,358	166,131	30,766	-85,592	
	地方債		552,600	0	810,400	72,900	72,900	
	その他		2,560	0	16,475	0	0	
	一般財源		27,251	1,441	0	3,450	2,009	
歳入合計		724,627	117,799	993,006	107,116	-10,683		
課題	校舎から仮設校舎への引っ越し作業が多く学校側の負担が大きい、また、工事エリアと学校の生活エリアが近接するため。安全確保及び周辺環境への配慮が必要となる。		関係課と工事を振り返り、仮設校舎の規模や引っ越しの負担軽減、工事エリアと学校の生活エリアの分離などさまざまな課題を検証し改善策を整理する。					
方向性								

教育委員会教育総務課

揖屋小学校整備事業費、揖屋小学校整備事業費（継続費）、揖屋小学校増改築事業費（継続費）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	学校施設の長寿命化改良事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6～7月	グラウンド補修		
	7～3月	法面对策工事		

本事業に関する主要データ

The diagram is a site plan of Ippu Elementary School. It shows the layout of various buildings: a main building (main body), a gymnasium, a library, a music room, a computer room, and a sports hall. A large green area in the center is labeled 'グラウンド補修' (Ground Repair). A red shaded area at the top right is labeled '土砂災害特別警戒区域' (Special Disaster Prevention Area for Landslides, etc.). A label '法面对策工事' (Disaster Prevention Work) points to a specific area. The plan also shows the school's location relative to surrounding roads and a river.

主な地方債: 学校教育施設等整備事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	789		
工事請負費	106,327		
事業費計		107,116	

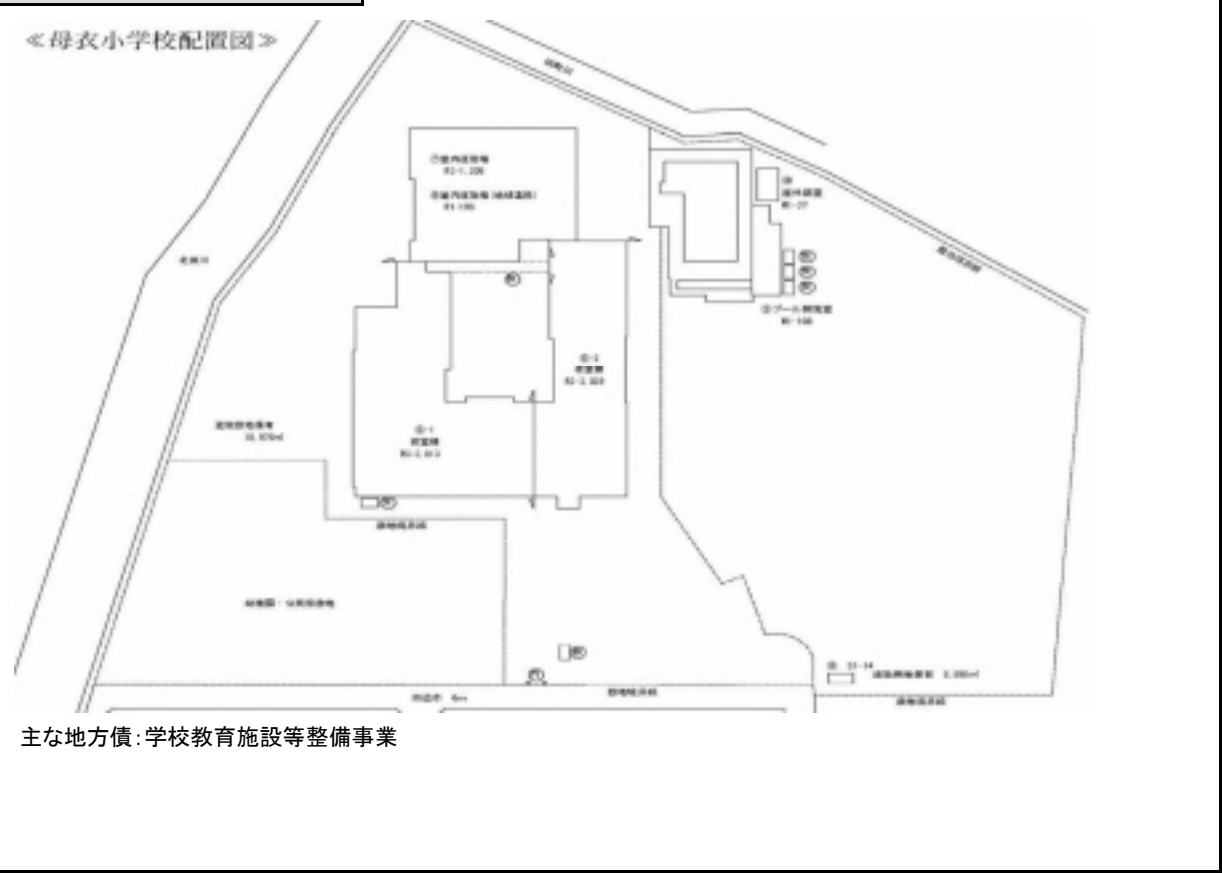
令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
教育委員会教育総務課		小学校照明設備LED化事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	「松江市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市立小学校・義務教育学校（前期課程）の照明設備のLED化を進める。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			実施設計完了（校）		1	1	1	14
			LED化工事完了（校）			1	1	14
目標（何を達成するのか）								
市立小学校・義務教育学校（前期課程）の照明設備のLED化を進める。								
事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 実施設計完了（校）：2036（R18）年度 項目名 LED化工事完了（校）：2037（R19）年度 ・改築や長寿命化改良工事予定である学校を除き、建築及び改修年度が古い学校を優先してLED化を進める。 ・令和8年度から毎年、市立小学校・義務教育学校（前期課程）1校の工事を基本とする。（対象小学校数14校） 令和7年度：実施設計1校 令和8年度以降：実施設計1校、工事1校							
	R7実績見込		R8計画			R9計画		
	(実施設計) ・母衣小学校 【評価】母衣小学校の照明設備LED化実施設計を実施し、翌年度の工事に向けて事業の進展を図ることができた。		(実施設計) ・島根小学校 (工事) ・母衣小学校			(実施設計) ・意東小学校 (工事) ・島根小学校		
	達成度							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		0	4,722	4,572	113,170	108,448	
	国・県支出金		0	0	0	28,743	28,743	
	地方債		0	4,200	4,100	79,100	74,900	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	522	472	5,327	4,805	
歳入合計		0	4,722	4,572	113,170	108,448		
課題	事業完了までに長期間要するため、その頃には事業開始時にLED化を実施した学校の機器が交換時期を迎えてしまう。				改築や長寿命化改良工事予定である学校を除き、建築及び改修年度が古い学校を優先して工事する。 毎年、市立小学校・義務教育学校（前期課程）1校の工事を基本とする。			
					方向性			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～2月	照明設備LED化工事		
	7～10月	実施設計		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,579		
工事請負費	110,591		
事業費計		113,170	

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会教育総務課	(仮称)湖北学園整備事業費、(仮称)湖北学園整備事業費(継続費)、(仮称)湖北学園グラウンド整備事業費(継続費)

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	児童数の減少する学校を統合し、教育環境の改善を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
		グラウンド造成工事進捗率（%）		40	100	
	目標（何を達成するのか）	実施設計進捗率（%）			100	
	湖北地区の3小学校を統合し、湖北中学校とともに義務教育学校として開校する。					100
		校舎・屋内運動場建築工事進捗率（%）				40
						100

事業概要	(数値目標の達成目標年度) 項目名 グラウンド造成工事進捗率（%）:2026(R8)年度、項目名 実施設計進捗率（%）:2026(R8)年度 項目名 校舎・屋内運動場建築工事進捗率（%）:2026(R8)年度 古江・大野・秋鹿の3小学校を統合し、湖北中学校とともに義務教育学校として整備する。（令和11年4月開校） 令和3年度:基本計画、令和4年度:基本計画、グラウンド造成測量・調査・設計 令和5年度:収用法事業認定、開発協議、校舎等建築基本設計、グラウンド造成測量・調査・設計 令和6年度:収用法事業認定、開発協議、校舎等建築基本設計、グラウンド変更土木設計、農地転用、用地取得、境界確定 令和7年度:グラウンド造成工事、地盤調査 令和8年度:グラウンド造成工事、校舎等建築実施設計、防火水槽設置工事 令和9～10年度:校舎・屋内運動場工事
------	--

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	・地盤調査 ・グラウンド造成工事	・グラウンド造成工事 ・校舎・屋内運動場建築実施設計 ・防火水槽設置工事	・校舎・屋内運動場工事(1年目)
	達成度 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		74,972	31,224	155,472	204,043	172,819
財源内訳	国・県支出金	0	0	10,741	0	0
	地方債	46,100	28,100	142,600	198,700	170,600
	その他	3,052	0	69	0	0
	一般財源	25,820	3,124	2,062	5,343	2,219
歳入合計		74,972	31,224	155,472	204,043	172,819

課題	方向性
目標とする令和11年度に開校するために、既存学校施設の配置に考慮した整備計画を慎重に検討するとともに、新しい時代の学びへの対応などの機能強化、工事中の生徒の安全確保と学習環境の維持を図る必要がある。	子どもたちの安全確保を最優先し、建設委員会、庁内各課、学校関係者との綿密な連携のもと準備を進め、円滑な開校を目指す。

教育委員会教育総務課

(仮称)湖北学園整備事業費、(仮称)湖北学園整備事業費(継続費)、(仮称)湖北学園グラウンド整備事業費(継続費)

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	学校施設の長寿命化改良事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	グラウンド造成工事		
	6月～3月	実施設計		

本事業に関する主要データ

(仮称) 湖北学園 配置図

主な地方債：公共施設等適正管理推進事業(集約化・複合化事業)、緊急防災・減災事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	785		
委託料	151,058		
工事請負費	52,200		
事業費計		204,043	

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
教育委員会教育総務課		屋内運動場空調整備事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	学校施設の避難所機能を強化し耐災害性の向上を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			実施設計完了（校）[第1期]		1.5	1.5	0	3
	目標（何を達成するのか）		工事完了（校）[第1期]		1	0.5	1.5	3
	市立中学校・義務教育学校は、市内にバランスよく存在しており、各地域の避難所として活用が可能なことから、優先的に市立中学校・義務教育学校を整備する。							
事業概要	(数値目標の達成目標年度) 項目名 実施設計完了（校）[第1期]:2026(R8)年度、項目名 工事完了（校）[第1期]:2027(R9)年度							
	国の令和6年度補正予算において臨時の特例交付金（令和6年度～15年度）が創設されたことを踏まえ、市立小・中・義務教育学校の屋内運動場に空調設備の整備を進める。 第1期計画（R6～R9年度） 令和7年度:実施設計1.5校、工事1校（第三中学校空調設備実施設計を0.5校とする） 令和8年度:実施設計1.5校、工事0.5校（第三中学校空調断熱実施設計を0.5校、空調設備工事を0.5校とする） 令和9年度:工事1.5校（第三中学校空調断熱工事を0.5校とする）							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	【実施設計】 ・玉湯学園（前期課程） ・第三中学校（空調設備） 【工事】 ・玉湯学園（前期課程） 【評価】玉湯学園（前期課程）に空調設備の整備を実施し、避難所機能の強化を図ることができた。第三中学校の空調設備設置の実施設計を実施し、翌年度の工事に向けて事業の進展を図ることができた。		【実施設計】 ・東出雲中学校 ・第三中学校（空調断熱） 【工事】 ・第三中学校（空調設備）		【工事】 ・東出雲中学校 ・第三中学校（空調断熱）			
	達成度							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		0	0	1,593	108,543	108,543	
	国・県支出金		0	0	0	70,000	70,000	
	地方債		0	0	1,300	36,700	36,700	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	293	1,843	1,843	
歳入合計		0	0	1,593	108,543	108,543		
課題	全国的に空調設備の整備が進められており、空調機器の確保および納入時期が不安定な状況が発生しているため、工事の進捗に影響を及ぼすおそれがある。 工事に伴い体育館の使用ができなくなるため、代替場所の確保が必要となる。			方向性	第1期の成果をふまえ、第2期の整備計画を策定し、市立中学校・義務教育学校を優先的に整備を行う。 学校及び関係者と綿密に協議を重ね、学校運営に支障が生じないよう配慮しながら工事を進める。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」と思う
	主要施策	

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～3月	【工事】第三中学校(空調設備)		
	7月～2月	【実施設計】第三中学校(空調断熱)		
	7月～2月	【実施設計】東出雲中学校		

本事業に関する主要データ



主な地方債：学校教育施設等整備事業、緊急防災・減災事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	40		
委託料	10,200		
工事請負費	98,303		
事業費計			108,543

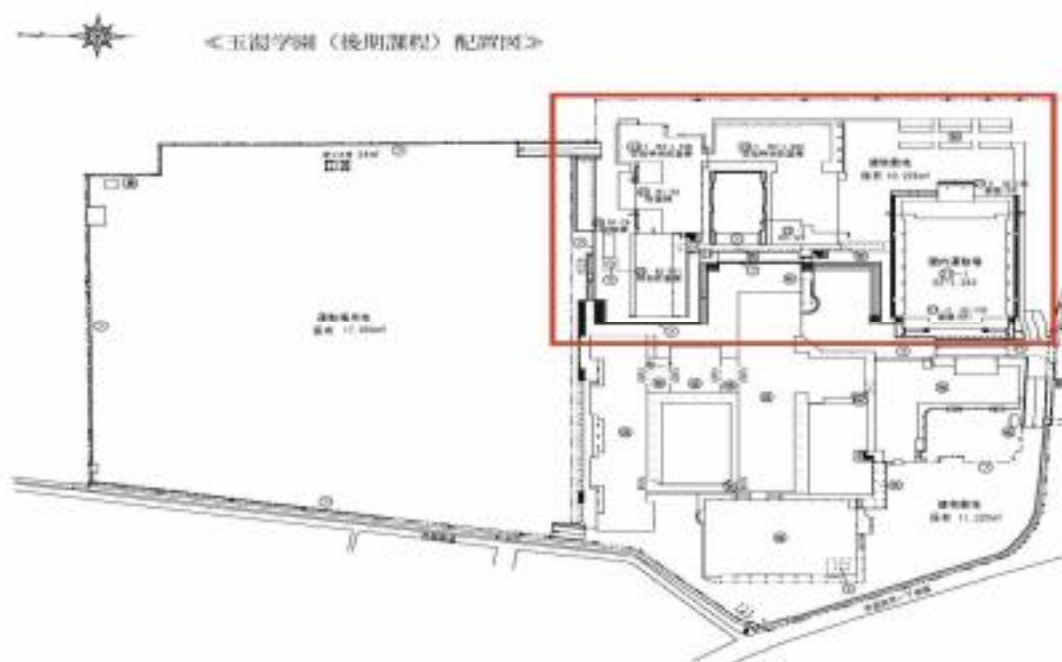
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
教育委員会教育総務課		中学校照明設備LED化事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	「松江市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市立中学校・義務教育学校（後期課程）の照明設備のLED化を進める。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		実施設計完了（校）		1	1	1	9
		LED化工事完了（校）			1	1	9
	目標（何を達成するのか）						
市立中学校・義務教育学校（後期課程）の照明設備のLED化を進める。							
(数値目標の達成目標年度) 項目名 実施設計完了（校）：2033（R15）年度 項目名 LED化工事完了（校）：2034（R16）年度 ・改築や長寿命化改良工事予定である学校を除き、建築及び改修年度が古い学校を優先してLED化を進める。 ・令和8年度から毎年、市立中学校・義務教育学校（後期課程）1校の工事を基本とする。（対象中学校数9校） 令和7年度：実施設計1校 令和8年度以降：実施設計1校、工事1校							
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	(実施設計) ・玉湯学園（後期課程） 【評価】玉湯学園（後期課程）の照明設備LED化実施設計を実施し、翌年度の工事に向けて事業の進展を図ることができた。	(実施設計) ・湖東中学校（工事） ・玉湯学園（後期課程）		(実施設計) ・第三中学校（工事） ・湖東中学校			
	達成度						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	0	3,100	2,909	82,471	79,371	
	国・県支出金	0	0	0	24,546	24,546	
	地方債	0	2,700	2,600	54,200	51,500	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	400	309	3,725	3,325	
歳入合計		0	3,100	2,909	82,471	79,371	
課題	事業完了までに長期間要するため、その頃には事業開始時にLED化を実施した学校の機器が交換時期を迎えてしまう。			改築や長寿命化改良工事予定である学校を除き、建築及び改修年度が古い学校を優先して工事する。毎年、市立中学校・義務教育学校（後期課程）1校を基本とする。			
				方向性			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～2月	照明設備LED化工事		
	7～10月	実施設計		

本事業に関する主要データ



主な地方債：学校教育施設等整備事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	5,470		
工事請負費	77,001		
事業費計			82,471

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
教育委員会生涯学習課		公民館施設改修事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	公民館施設の適正な維持管理	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値目標になじまない。					
	目標（何を達成するのか）						
	施設の状況に応じて、計画的に改修等を行う。						
事業概要		老朽化等に伴い、公民館の施設・設備等の改修を行う。施設・設備の耐用年数を踏まえ、優先度の高いものから実施する。					
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・城西公民館／空調改修工事 ・島根公民館／受変電設備更新工事（設計） ・竹矢公民館／よらこい会館 空調更新工事 ・島根公民館／空調改修工事（設計） ・東出雲公民館／空調改修工事（設計） ・美保関公民館／機械室外部扉更新工事 ・津田公民館／トップライト改修工事	・生馬公民館／屋根改修工事（設計） ・東出雲公民館／空調改修工事 ・島根公民館／空調改修工事 ・島根公民館／受変電設備更新工事 ・法吉公民館／受変電設備改修工事					
	【評価】施設・設備等の改修により、生涯学習の場として利用が促進され、地域活性化に貢献している。						
	計画目標に向かって概ね順調						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		11,164	45,822	31,342	92,174	46,352	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	8,700	43,900	30,400	91,000	47,100	
	その他	95	0	0	0	0	
	一般財源	2,369	1,922	942	1,174	-748	
歳入合計		11,164	45,822	31,342	92,174	46,352	
課題	・施設の老朽化が進行している。			・特定建築物定期点検等の設備の定期点検を通じて、施設の状況を把握し、計画的に改修等を行う。			
				方向性			

教育委員会生涯学習課

公民館施設改修事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	公民館施設改修事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	生馬公民館／屋根改修工事(設計)	4月～3月	法吉公民館／受変電設備改修工事
	4月～3月	東出雲公民館／空調改修工事		
	4月～3月	島根公民館／空調改修工事		
	4月～3月	島根公民館／受変電設備更新工事		

本事業に関する主要データ

公民館建築時期

■S50年代

竹矢/玉湯(H27改修)/朝酌/乃木(H18改修)

美保関/鹿島(H27改修)/本庄

■S60年代

大野/忌部/古志原/秋鹿

■H元年～10年

持田/川津/生馬/八雲(H25改修)/朝日/城北/八束(H29改修)

■H11年～20年

白湯/法吉/城東/城西/島根

■H21年以降

雑賀/津田/大庭/宍道/古江/東出雲

★主な地方債: 公共施設等適正管理推進事業(長寿命化事業)、一般事業、緊急防災・減災事業、脱炭素化推進事業

R8節別予算額内訳(千円)

節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,028		
工事請負費	91,146		
事業費計			92,174

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
教育委員会生涯学習課		竹矢公民館整備事業費、竹矢公民館建設・解体事業費（継続費）						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	計画的な公民館の施設整備・更新		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			数値目標になじまない。					
	目標（何を達成するのか）							
	竹矢公民館の建替え							
事業概要	・市内公民館で最も建築後の経過年数が長く、老朽化も進行している竹矢公民館を建て替えるもの。 ・建設場所は現地建て替えとし、形態は平屋建てとする。 ・現地建て替えのため、工事期間中、休園中の竹矢幼稚園を公民館として活用する。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・竹矢幼稚園（仮設公民館）改修工事 ・仮設公民館移転作業 ・新公民館変更実施設計（R6からの継続） ・現公民館解体設計（R6からの継続） ・新公民館建設・旧公民館解体工事工損調査（事前） ・新公民館建設・旧公民館解体工事（継続～R8）		・新公民館建設・旧公民館解体工事（R7からの継続） ・備品調達 ・埋蔵文化財調査報告書作成					
	達成度							
		計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移（単位：千円）		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		31,601	222,175	222,175	299,234	77,059	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		5,400	208,400	208,400	228,500	20,100	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		26,201	13,775	13,775	70,734	56,959	
歳入合計		31,601	222,175	222,175	299,234	77,059		
課題	当初の計画ではR6年度新公民館開設を予定していたが、建設予定地から埋蔵文化財が出土したため、大幅に遅れが生じている。このことから、早期に新公民館を整備する必要がある。			R9年度新公民館開設に向け、スケジュールに沿って事業を進める。				
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	竹矢公民館整備事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	～1月	新公民館建設・旧公民館解体工事		
	1月～3月	備品調達		
	4月～3月	埋蔵文化財調査報告書作成		

本事業に関する主要データ

○建設スケジュール

	R5	R6	R7	R8	R9
埋蔵文化財調査	準備	本調査			施設オープン
現公民館解体		設計	解体工事		
新公民館建設		実施設計		建設工事	
仮設公民館 (竹矢公民館)		設計	改修	移転	

○（現）竹矢公民館の概要

- ・建築年月 昭和54年3月
- ・構造等 鉄筋コンクリート2階建て
- ・延床面積 559㎡
- ・対象区域 矢田町（一部地域を除く）、竹矢町、馬淵町、八幡町、富士見町、番瀬台
- ・利用者数 19,421人（R6）、15,392人（R5）、12,491人（R4）、10,676人（R3）、10,012人（R2）

○主な地方債：緊急防災・減災事業、一般事業、公共施設等適正管理推進事業（除却事業）

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	4,601		
役務費	102		
委託料	139		
工事請負費	284,834		
備品購入費	9,558		
事業費計			299,234

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
消防本部消防総務課		現場指揮体制の構築						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	令和3年4月に発生した島根県加賀の大規模火災の教訓から、災害現場の司令塔となる指揮機能をさらに強化する必要があるとの認識に至り、指揮隊の早期整備を図るもの。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			指揮隊要員(人)	9	9	5	3	3
	目標（何を達成するのか）							
	指揮隊の整備により、迅速に災害実態を把握し、その情報に基づく対応を決定し、また、消防隊や消防団への指示伝達系統が強化されることで、災害の早期終息を図ることができる。							
事業概要	令和3年4月に発生した島根町加賀の大規模火災では、情報の収集、活動方針の決定と各隊への伝達、消防職員、団員の安全管理、広報活動などが困難であったことから、専属指揮隊の整備及び充実・強化に取り組む。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	先進地への指揮隊研修を継続することで指揮隊要員の人材育成を行った。		指揮隊に関する研修を継続し、指揮隊要員の人材育成を図る。		指揮隊に関する研修を継続し、指揮隊要員の人材育成を図る。			
	達成度							
計画目標に向けて順調に推移								
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		0	0	0	0	0		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0	0		
	歳入合計	0	0	0	0	0		
課題	専属指揮隊を整備するためには、指揮隊要員の増員確保が必要である。		指揮隊要員の増員確保のため、職員採用の強化や研修等による人材育成を図る。					
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	現場指揮体制の構築

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	消防大学校緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース派遣		
	10月	島根県消防学校消防職員特別教育部隊指揮研修派遣		
	2月	消防大学校緊急消防援助隊教育科高度救助・特別高度救助コース		

本事業に関する主要データ

指揮隊研修

- ◆令和6年度
 - 消防大学校緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース 1名
 - 消防大学校緊急消防援助隊教育科 高度救助・特別高度救助コース 1名
 - 島根県消防学校消防職員特別教育部隊指揮研修 3名
 - 先進地指揮隊研修 神戸市消防局 2名
 - 先進地指揮隊研修 広島市消防局 2名
- ◆令和7年度
 - 消防大学校緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース 1名
 - 消防大学校緊急消防援助隊教育科 NBCコース 1名
 - 島根県消防学校消防職員特別教育部隊指揮研修 3名
 - 先進地指揮隊研修 名古屋市消防局 2名
 - 先進地指揮隊研修 広島市消防局 2名
- ◆令和8年度
 - 消防大学校緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース 1名
 - 消防大学校緊急消防援助隊教育科 高度救助・特別高度救助コース 1名
 - 島根県消防学校消防職員特別教育部隊指揮研修 3名

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
消防本部消防総務課		職員研修費(救急救命士の養成)						
事業の目的と目標	目的 (何のために)		数値目標					
	救急救命士が救急車に常時乗車し、早期に救急救命処置を施すことが可能な体制を継続的に維持する必要がある。これにより、救急体制を充実・強化し、救命率の向上を図る。		項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			救急業務に従事する救急救命士の実数(人)	56	57	60	63	70
			年間救急救命士養成者数(人)	3	3	3	3	3
目標 (何を達成するのか)								
救急業務に従事する救急救命士を70名確保するため、計画的に救急救命士を養成する。								
事業概要	救急救命士を養成するために必要な「救急救命士養成課程研修」を職員に計画的に受講させ、救急救命士を養成する。 研修場所は救急救命東京研修所または救急救命九州研修所。							
	※職員研修費のうち、6,278千円を事業費とする。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	救急救命士3名養成 (東京研修所2名派遣、九州研修所1名派遣)		救急救命士3名養成 (東京研修所3名派遣予定)		救急救命士3名養成 (東京研修所2名派遣、九州研修所1名派遣予定)			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		6,278	6,278	6,278	6,278	0	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		6,278	6,278	6,278	6,278	0	
歳入合計		6,278	6,278	6,278	6,278	0		
課題	平成3年に救急救命士制度が発足してから30年以上が経過し、定年退職や管理職職員となる救急救命士数が出現していることから、継続的な救急救命士の養成確保が必要である。		救急業務に従事する救急救命士を70名確保するために、計画的に救急救命士を養成する。					
		方向性						

消防本部消防総務課

職員研修費(救急救命士の養成)

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	救急救命士の育成強化(職員研修)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～9月	救急救命東京研修所第70期2名派遣		
	9月～3月	救急救命東京研修所第71期1名派遣		
	3月	救急救命士国家試験		

本事業に関する主要データ

救急業務に従事する救急救命士の目標数：70人

R8.1.1現在

所 属 別		救急隊名	現在配置状況
消 防 本 部			3
北 部 防 署	北 署 (2隊)	北署一係	6
		北署二係	6
	北部分署 (2隊)	消防一係	3
		消防二係	3
	東部分署 (2隊)	消防一係	3
		消防二係	2
南 部 防 署	南 署 (2隊)	南署一係	6
		南署二係	5
	南部分署 (2隊)	消防一係	3
		消防二係	3
	西部分署 (2隊)	消防一係	3
		消防二係	3
	湖南出張所 (1隊)	消防一係	4
		消防二係	4
合 計			57

※救急救命士有資格者総数 70人

R8節別予算額内訳(千円)

節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,278		
事業費計			6,278

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名					
都市整備部大橋川治水・国県事業推進課		道路関係経費					
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標				
	観光振興など地域経済の発展	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		山陰自動車道の県内供用率（%）	77	85	85	85	85
	目標（何を達成するのか）						
	国道・県道の整備促進						
事業概要	国・県に対し沿線市町村等で構成する期成同盟会による要望活動を実施することで、広域幹線道路、高速道路等の整備促進を図る。 （主な同盟会） 山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会 中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議 境港出雲道路（松江北道路）建設促進期成同盟会 島根県東部高速道路利用促進会議 国道432号（松江・安来間）改良促進期成同盟会　ほか						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画		
	○要望回数 ・中央要望、広島要望　26回 ・県要望　　　　　　　10回		○要望回数 ・中央要望、広島要望　26回 ・県要望　　　　　　　10回		○要望回数 ・中央要望、広島要望　26回 ・県要望　　　　　　　10回		
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
	事業費		3,306	6,498	6,690	6,746	248
	国・県支出金		0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	0
一般財源		3,306	6,498	6,690	6,746	248	
歳入合計		3,306	6,498	6,690	6,746	248	
課題	国・県ともに財政的に厳しい状況の中、能登地震のような大きな災害への復旧対応が優先されることは理解しつつも、地域として考える道路整備の必要性や地域の実情を国・県の担当部局に理解してもらい、未着手路線（区間）の新規事業化への手続きを進めるとともに、事業中路線（区間）の整備に必要な予算を確保し、個所付けに反映させていく必要がある。		関連する自治体や経済界などとともに期成同盟会を組織し、地域の思いを要望書としてまとめ、国（国土交通省本省、中国地方整備局）、県（本庁土木部、松江県土整備事務所）の担当部局に要請し、松江市における国営・県営事業の予算化を実現させる。特に中海・宍道湖8の字ルートについては、県境を越えた中海・宍道湖・大山圏域における官民の連携・協力関係を深化させ、地域住民への普及啓発を図る。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	地方分権の重要基盤である道路ネットワークの整備促進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	期成同盟会総会、意見交換会等		
	通年	要望活動(中央、広島、島根県等)		

[illegible]

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,228		
職員手当等	864		
共済費	519		
旅費	1,544		
需用費	2		
使用料及び賃借料	76		
負担金補助及び交付金	1,513		
事業費計			6,746

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
都市整備部道路課		道路愛護団経費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	住民自らが住みやすい生活環境を保全するよう努めることを目的に、松江市の管理する道路の環境美化活動（道路除草、側溝清掃等）を行う団体を支援するもの。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		道路愛護団登録数（一般）	266	276	277	277	277
	目標（何を達成するのか）						
	住民自らが道路の環境美化活動（道路除草、側溝清掃等）を行うことにより、道路環境美化の達成と活動による地域コミュニティの醸成を図る。						
事業概要		市民団体が行う市道等の道路美化、沿道草刈、側溝清掃に対して市が委託料を支出するもの					
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	道路愛護団登録数（一般）276団体	道路愛護団登録数（一般）277団体		道路愛護団登録数（一般）277団体			
	達成度 計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		14,087	14,574	14,051	14,912	338	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	14,087	14,574	14,051	14,912	338	
歳入合計		14,087	14,574	14,051	14,912	338	
課題	愛護団を構成する地域住民の高齢化の進捗などにより、活動の縮小や団体の休止などについての相談が多くなっている。	引き続き、地域のボランティア団体などに制度を周知し、新規登録につながるよう取り組んでいく。					
		方向性					

都市整備部道路課

道路愛護団経費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	道路維持管理

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	意向確認および書類送付		
	5月～	委託契約の締結		
	6月～12月	作業実施		

本事業に関する主要データ				
基本委託金	事業名	事業別委託金	支払対象回数	作業延長(m) (単位: m)
1万円 (1回支給)	美化事業	発生しない。 (ボランティア活動)		100m以上
	草刈事業	作業延長 1m あたり 10 円を乗じた額とする。 (延べ作業延長)	2回まで	1回につき 199m 以上かつ 刈幅 0.5m 以上
	枝切事業	1万円	1回まで	100m以上
	清掃事業 (藪無し)	作業延長 1m あたり 10 円を乗じた額とする。 (延べ作業延長)	1回まで	50m 以上
	清掃事業 (藪有り)	作業延長 1m あたり 20 円を乗じた額とする。 (延べ作業延長)	1回まで	50m 以上
基本委託金	事業名	事業別委託金	支払対象回数	作業延長(m) (単位: m)
なし	根柢支給事業	1万円 (碎石・藪の支給を除く。)	1回まで	5m 以上
	除雪事業	1万円	1回まで	100m以上

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	229		
委託料	14,683		
事業費計			14,912

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
都市整備部河川課		河川浄化事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	河川環境保全活動の一環として、地域住民・地元企業等による河川愛護団活動を行うことにより、河川愛護精神の高揚を図り、住民自らが住み良い生活環境の保全に努めることを目的とする。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			愛護団登録団体数	162	167	168	169	170
目標（何を達成するのか）								
河川愛護団登録団体数の増加。								
事業概要		河川の清掃等環境保全に係る業務を行う。河川愛護団による市内一級・二級・準用・普通河川の堤防除草作業、業務委託による市内河川の堤防除草作業などを実施。なお、県管理河川の環境保全のための経費については、1／2の県単独補助がなされる。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	愛護団登録団体数:167団体		愛護団登録団体数:168団体		愛護団登録団体数:169団体			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		49,819	47,747	48,869	49,820	2,073	
	国・県支出金		21,284	23,590	24,712	21,078	-2,512	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	12,000	12,000	
	一般財源		28,535	24,157	24,157	16,742	-7,415	
歳入合計		49,819	47,747	48,869	49,820	2,073		
課題	河川愛護団 愛護団構成員の高齢化による人員の減少及び活動の休止・縮小が懸念される。		河川愛護団 自治会、地域ボランティア団体などに向け、広く河川愛護団制度を周知し、新規登録に向けた取り組みを行っていく。					
		方向性						

都市整備部河川課

河川浄化事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」と思う
	主要施策	河川浄化事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	実施計画書の提出		
	5月～12月	河川堤防除草作業		
	通年	河川愛護団登録に向けた周知活動		

本事業に関する主要データ

一般愛護団(玉湯川)



企業愛護団(馬橋川)



一般愛護団(朝熊川)



企業愛護団(龜字川)



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	80		
役務費	2,235		
委託料	47,505		
事業費計			49,820

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
都市整備部河川課		河川浚渫事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	河床の堆積土及び閉塞物を撤去することにより、河川の流下能力を維持するもの。 健全な流下能力を維持することにより大雨等による水害の発生を防止する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			浚渫土砂量（m3）（目標値は馴染まない）	1,550	1,312	1,347	943	
			累積浚渫土量（m3）	5,145	6,457	7,804	8,747	10,679
			進捗率（％）	48.2	60.5	73.1	81.9	100
目標（何を達成するのか）								
事業概要		緊急浚渫推進事業債は令和6年度で終了だったが、令和11年度まで延長したことで、令和7年度以降は「松江市緊急浚渫推進事業計画」第2期計画(令和7年度～令和11年度)に基づき、計画箇所における河床堆積土の浚渫、流木、崩土等による閉塞物の撤去を委託するもの。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	「松江市緊急浚渫推進事業計画」に基づく浚渫の実施 実施箇所数 14箇所 浚渫土量 1,312m3		「松江市緊急浚渫推進事業計画」に基づく浚渫の実施 実施箇所数 39箇所 浚渫土量 1,347m3		「松江市緊急浚渫推進事業計画」に基づく浚渫の実施 実施箇所数 18箇所 浚渫土量 943m3			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6		R7		R8	
			決算		予算		決算見込	
	事業費		49,699		0		67,870	
	国・県支出金		0		0		0	
	地方債		49,500		0		67,800	
	その他		69		0		0	
一般財源		130		0		70		
歳入合計		49,699		0		67,870		

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	河川浚渫事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～8月	河川排水路浚渫業務委託		
	5～10月	河川排水路浚渫その2業務委託		
	9～3月	河川排水路浚渫その3業務委託		
	11～3月	河川排水路浚渫その4業務委託		

本事業に関する主要データ

稲積川(美保関町) 作業前



東生馬川(生馬町) 作業前



稲積川(美保関町) 作業後



東生馬川(生馬町) 作業後



主な地方債: 緊急浚渫推進事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	20,000		
事業費計			20,000

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
都市整備部河川課		河川・排水路改良工事費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	大雨や局地的豪雨などの洪水被害から市民生活の安全を守るため、河川及び排水路の改良を行う。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			1年当りの改良数（箇所）（目標値は馴染まない）	28	30	22	20	
	目標（何を達成するのか）							
パトロール、市民通報、地元要望等に基づき、排水能力の不足及び護岸崩落等による流水機能の低下、護岸の安全性が確保できない箇所において、護岸改良等治水事業を行い、洪水被害から市民生活の安全を図る。								
事業概要	河川・排水路の改良工事、測量業務委託							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	30箇所実施 うち、 R6からの繰越19箇所(R6→R7) 現年施工11箇所(R7) 繰越施工8箇所(R7→R8)		22箇所実施 うち、 R7からの繰越8箇所(R7→R8) 現年施工14箇所(R8) 早着施工3箇所(R8→R9)		20箇所実施 うち、 R8からの繰越3箇所(R8→R9) 現年施工17箇所(R9) 早着施工3箇所(R9→R10)			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		58,405	58,917	202,904	45,679	-13,238	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		53,000	57,800	199,600	43,900	-13,900	
	その他		829	0	0	0	0	
一般財源		4,576	1,117	3,304	1,779	662		
歳入合計		58,405	58,917	202,904	45,679	-13,238		
課題	改修が必要な箇所が多く、限られた予算の中で優先度を考慮し、洪水被害の軽減を図りつつ改良事業を進める必要がある。				危険度・重要度を評価しながら事業を実施する。			
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」と思う
	主要施策	河川・排水路改良工事

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	河川改良に係る諸手続き		

本事業に関する主要データ

法田川(美保町)
着工前

竣工

和名佐渡水路(穴瀬町)
着工前

竣工



主な地方債：一般事業、緊急自然災害防止対策事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	652		
役務費	27		
委託料	5,000		
工事請負費	39,000		
補償補填及び賠償金	1,000		
事業費計			45,679

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
都市整備部河川課		河川管理施設長寿命化事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	老朽化した河川管理施設を計画的に改修することにより施設の延命化とライフサイクルコストの縮減を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		施設(箇所)	0	1	1	2	9
	目標（何を達成するのか）	累積施設(箇所)	1	2	3	5	9
	施設の健全な状態を維持することで、豪雨による水害の発生を抑制する。						
		改修率(%)	11.1	22.2	33.3	55.5	100
事業概要	令和3年度に策定した河川施設(排水機場、樋門、マンホールポンプ等)の長寿命化計画に基づき、松江市管理河川や関連河川付属施設の長寿命化を実施するもの。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	R7→R8繰越 ・末次排水機場機械設備工事(排水ポンプ設置) ・末次排水機場電気設備工事(電気設備設置) ・末次排水機場改築工事(躯体土木工事) R7完了計画 ・八幡排水機場水門改築工事	R8完了予定 ・末次排水機場機械設備工事 ・末次排水機場電気設備工事 ・末次排水機場改築工事		水門・樋管修繕工事2箇所			
	達成度						
	計画目標に向けて進捗はやや遅れている						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	119,111	394,000	779,988	1,200	-392,800	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	119,100	394,000	779,900	1,000	-393,000	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	11	0	88	200	200	
歳入合計		119,111	394,000	779,988	1,200	-392,800	
課題	・施設の改修に一定期間を要することから、出水期中の水防対応が課題となる。 ・施設によっては、非出水期の限られた期間での施工が必要となる。		方向性	・国・県の所管を含めた既存の施設を積極的に活用しながら水防対応を行なっていく。 ・限られた期間での施工が可能となるよう効率的な施工監理を行なっていく。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	河川管理施設長寿命化事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	末次排水機場機械設備工事(繰越)		
	4月～	末次排水機場電気設備工事(繰越)		
	4月～	末次排水機場改築工事(繰越)		

本事業に関する主要データ

八幡排水機場(水2号)



末次排水機場(施設外観)



末次排水機場(排水ポンプ昭和41年設置)



主な地方債: 緊急自然災害防止対策事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	1,200		
事業費計			1,200

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部河川課	急傾斜地崩壊対策事業費(一般公共災害関連)(自然災害防止)(単独事業)

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	急傾斜地崩壊対策事業は、住宅等の裏山斜面が急で、がけ崩れなど住民の生命や財産が危険に晒される恐れがある区域に対し、地元及び市からの要望に基づき、県が採択・施行を行う事業である。	項目（成果指標） 整備済数(箇所) (目標値は馴染まない)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			3	0	0	2	
	目標（何を達成するのか）						
	近年、局所的な豪雨が多発しており、がけ崩れなど生命や財産の危機から、土砂災害に対して住民の不安が高まっており、県が施行する対策事業に対し、法に基づく申請手続きを推進し、対策事業を促進する。						

事業概要	急傾斜地崩壊危険区域内において、県が施行する対策事業に対し、受益限度内で工事費等の一部を負担するものであり、地方財政法第27条第1項に基づき、県から求められる負担金を支出するもの。 【国庫補助(交付金)事業】市負担率:0.5/10～2/10(採択基準により異なる) ※一般公共災害関連 【県単独事業】市負担率:1/3(災害:1/10～2/10) ※自然災害防止 ＜事業の流れ＞ 地元要望→区域指定申請(市)→区域指定(県)→測量設計(県)→用地補償(県)→工事(県)
------	--

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	＜県施行＞ 急傾斜地崩壊対策事業(補助) 7箇所(地区)実施 急傾斜地崩壊対策事業(県単) 2箇所(地区)実施 ＜市施行＞ 区域指定申請業務委託 2箇所(地区)実施)	＜県施行＞ 急傾斜地崩壊対策事業(補助) 9箇所(地区)実施 急傾斜地崩壊対策事業(県単) 2箇所(地区)実施 ＜市施行＞ 区域指定申請業務委託 1箇所(地区)実施)	＜県施行＞ 急傾斜地崩壊対策事業(補助) 10箇所(地区)実施 急傾斜地崩壊対策事業(県単) 2箇所(地区)実施 ＜市施行＞ 区域指定申請業務委託 1箇所(地区)実施)
	達成度		
	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		43,550	18,800	29,030	29,867	11,067
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	34,000	12,800	23,100	21,300	8,500
	その他	8,710	3,360	5,206	5,573	2,213
	一般財源	840	2,640	724	2,994	354
歳入合計		43,550	18,800	29,030	29,867	11,067

課題	・全国的に土砂災害が多発しており、急傾斜地の対策要望が多い。 ・全ての箇所の対策工事には、膨大な時間と費用が必要なことから、危険箇所の周知、避難体制の整備など、ソフト対策により一層の推進が必要。	方向性	・着実な事業の推進により整備率を向上。 ・危険箇所の周知、避難体制の整備など、ソフト体制により一層の推進。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	急傾斜地崩壊対策事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	当該年度負担金の金額協議		
	10月	負担金の一部支払い		
	3月	負担金の支払い、地元負担金の請求		

本事業に関する主要データ



主な地方債：公共事業等、防災対策事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	27,867		
委託料	2,000		
事業費計			29,867

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
都市整備部道路課		自転車ネットワーク道路整備事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	松江市歩行環境整備ビジョンにおける自転車ネットワーク計画に基づき自転車通行帯整備を行い、歩行者・自転車双方の安全を確保する。あわせて、環境配慮や渋滞緩和を目的として自転車利用を推進する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			累計整備済延長（km）	20.6	20.7	20.9	21.2	37.2
			整備率（％）	55.3	55.6	56.2	57.1	100
	目標（何を達成するのか）							
菅田比津線他25線の自転車通行帯整備計画総延長37.2km								
事業概要	松江市歩行環境整備ビジョンにおける自転車ネットワーク計画に基づき、未完了路線（16路線）に自転車の通行環境整備を行う。通行量の多い路線について、自転車通行帯を分離し、自転車及び歩行者の安全確保と自転車利用を推進する。							
	・松江市歩行環境整備ビジョン（R6～R15）の計画目標　2033（令和15）年度：整備率80％ ・最終目標　2043（令和25）年度：整備率100％							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	菅田比津線 自転車通行帯工事　50m（両側）		菅田比津線 自転車通行帯工事　280m（両側） 大正町西津田線 測量設計業務委託　1670m（両側）		大正町西津田線 自転車通行空間整備　330m（両側） （路面標示による整備）			
	達成度							
計画目標に向けて進捗はやや遅れている								
財源内訳	歳入・歳出の推移（単位：千円）		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		20,000	25,000	34,046	25,000	0	
	国・県支出金		11,000	13,750	18,726	13,750	0	
	地方債		8,100	10,100	13,700	10,100	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		900	1,150	1,620	1,150	0	
歳入合計		20,000	25,000	34,046	25,000	0		
課題	城下町特有の狭い街路によって、工事の制約が多く、施工費も割高となることから、限られた予算の中で整備延長を延ばすことが困難。		現在の道路環境を踏まえて、車道の左側端（路肩）を利用した自転車走行指導帯を整備するなど、路線ごとにその形態を明確化し、整備率及び安全性の向上を図る。					
方向性								

都市整備部道路課

自転車ネットワーク道路整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	安心・安全歩行空間創造事業(社会資本整備総合交付金)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	交付申請・交付決定		
	7月～2月	自転車通行帯設計業務委託		
	9月～2月	自転車通行帯工事		

本事業に関する主要データ



主な地方債：公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	5,000		
工事請負費	20,000		
事業費計			25,000

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
都市整備部道路課		こどもたちを守る交通安全対策事業費（補助（緊急対策含む）、単独）						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	道路管理者として、通学路のうち危険が認められる箇所の対策工事を実施し、生徒が安全に通学できる道路交通環境の整備を行うもの。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			通学路整備箇所数（箇所）（目標値は馴染まない）	67	91	77	78	
	目標（何を達成するのか）							
	危険箇所の改良整備による通学路の安全確保							
事業概要		通学路の交通安全を確保するため、関係機関との危険箇所の抽出・点検・対策検討を行い、交通安全対策が必要な箇所について対策工事を実施し、安全の確保に向けた道路交通環境の改善を図る。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	通学路整備予定箇所 91箇所 【主要路線（補助）】 ・西持田大田線：改良工事 ・新町・須田線：用地買収、改良工事		通学路整備予定箇所 77箇所 【主要路線（補助）】 ・西持田大田線：改良工事 ・工業高校東1号線：改良工事 ・京塚柿廻線：改良工事 ・石橋白鹿谷線：用地買収		通学路整備予定箇所 78箇所 【主要路線（補助）】 ・京塚柿廻線：改良工事 ・石橋白鹿谷線：用地買収、改良工事 ・荻田・佐々布線：踏切・交差点設計、用地測量			
	達成度							
計画目標に向かって概ね順調								
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		247,142	70,938	168,288	157,162	86,224		
財源内訳	国・県支出金	123,762	28,015	81,378	72,689	44,674		
	地方債	110,500	38,600	81,700	79,300	40,700		
	その他	4,537	0	0	0	0		
	一般財源	8,343	4,323	5,210	5,173	850		
	歳入合計	247,142	70,938	168,288	157,162	86,224		
課題		対策が必要な箇所及び各要望件数が多いため、予算内で優先順位をつけて対策を行う必要がある。		方向性		抽出された箇所の危険度や重要度を検討しながら対策を実施する。		

都市整備部道路課

こどもたちを守る交通安全対策事業費(補助(緊急対策含む)、単独)

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	安心・安全歩行空間創造事業(社会資本整備総合交付金)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	小・中学校等からの要望書提出		
	8月～1月	要望箇所の点検及び対策の検討		
	2月～3月	要望書の回答		
	通年	対策工事		

本事業に関する主要データ

主な地方債：公共事業等、地方道路等整備事業

令和7年度

・歩道設置工事（市道西持田大田線）



対策前

対策後

・踏切歩道設置工事（市道新町・須田線）



対策前

対策後

主な地方債：公共事業等、地方道路等整備事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	10,000		
工事請負費	137,792		
公有財産購入費	8,370		
補償補填及び賠償費	1,000		
事業費計			157,162

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
消防本部消防総務課		庁舎整備事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	消防庁舎の整備を図ることで、災害対応に係る機能性を高め消防力を強化する。また、職場環境改善により消防業務の維持継続を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			機能強化を目的とした庁舎整備事業数(件)	2	4	1	0	1
			職場環境改善を目的とした庁舎整備事業数(件)	0	1	1	1	1
目標（何を達成するのか）								
</								

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」と思う
	主要施策	庁舎整備事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	入札、契約		
	6～7月	設計		
	8～2月	工事		

本事業に関する主要データ

【威風堂改修工事】

※改修前



※改修後イメージ



【浴室の個室化】

※改修前



※改修後イメージ



主な地方債：緊急防災・減災事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	3,355		
工事請負費	25,967		
備品購入費	3,578		
事業費計			32,900

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
消防本部消防総務課		小型動力ポンプ・積載車整備事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	最新の消防車両を導入することで、より確実に火災や自然災害等による被害を軽減させ、地域防災力の向上を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		消防団車両更新台数(台)	5	5	5	5	5
	目標（何を達成するのか）						
	災害対応を行う消防車両を計画的に更新整備する。						
事業概要		老朽化した消防車両を計画的に更新整備し、消防力の充実強化を図る。					
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	小型動力ポンプ付積載車5台を購入し、老朽化した消防車両5台と入替(更新)。 【小型動力ポンプ付積載車】 ・八束南分団 入江班 ・八束北分団 二子班 ・玉湯分団 玉造班 ・乃木分団 乃白福富班 ・加賀分団 別所班	小型動力ポンプ付積載車5台を購入し、老朽化した消防車両5台と入替(更新)		消防車両5台を購入し、老朽化した消防車両5台と入替(更新)			
	達成度						
計画目標に向かって概ね順調							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		34,258	39,317	36,952	43,719	4,402	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	34,100	39,100	36,700	43,500	4,400	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	158	217	252	219	2	
歳入合計		34,258	39,317	36,952	43,719	4,402	
課題	原材料費や人件費をはじめとした物価高騰の影響を受けて消防車両の価格が高騰する中で、消防力を維持するために計画的に更新していく必要がある。			必要最小限の費用で最大限の効果が得られるよう、車両仕様や有利な財源の活用を検討し、消防団と協議しながら計画的に更新を進める。			
				方向性			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	小型動力ポンプ・積載車整備事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	入札	8-1月	中間検査
	4-5月	仮契約	11-3月	納車
	6月	議案提出		
	7月	本契約		

本事業に関する主要データ

消防団車両配備状況

※8.1.1時点

所 属	車両合計	積載車			ポンプ車	その他車両
		軽積載車	普通積載車			
松江橋北方面団	23	20	11	9	3	0
松江橋南方面団	11	7	6	1	4	0
橋島方面団	14	12	12	0	2	0
島根方面団	12	12	12	0	0	0
八束方面団	8	8	8	0	0	0
美保関方面団	12	12	12	0	0	0
八雲方面団	8	8	7	1	0	0
玉湯方面団	8	6	4	2	1	1
宍道方面団	10	7	4	3	2	1
東出雲方面団	12	12	5	7	0	0
小計（方面団配備）	118	104	81	23	12	2
団本部	3	1	1	0	0	2
小計（団本部管理）	3	1	1	0	0	2
合計	121	105	82	23	12	4



小型動力ポンプ付積載車



吉田くんロゴ

主な地方債：緊急防災・減災事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	100		
役務費	86		
備品購入費	43,500		
公課費	33		
事業費計			43,719

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
消防本部消防総務課		消防機庫整備事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	消防団活動の拠点施設となる消防機庫を更新整備し、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			消防機庫更新棟数（棟）	1	1	2	0	1
目標（何を達成するのか）								
消防団の活動拠点である消防機庫を計画的に整備する。								
事業概要		「松江市消防団充実強化計画」に基づき、消防団関係者や地域と調整を図りながら消防機庫の更新を行う。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・大庭分団（旧）大草班 消防機庫1棟を解体（ホース乾燥塔を含む） ・秋鹿分団（旧）中島班 ホース乾燥塔1本を撤去 ・森山分団 福浦班 ホース乾燥塔1本を建設		・玉湯分団 大谷班 消防機庫2棟を統合し1棟として移転新築（ホース乾燥塔を含む） ・野波分団 多古班 消防機庫1棟を現地建替 ・玉湯分団 大谷班（旧）ホース乾燥塔2本を撤去		・古江分団 古曾志班（旧）消防機庫1棟を解体（ホース乾燥塔を含む）			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		15,935	3,261	3,061	26,451	23,190		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	15,400	2,800	2,600	26,300	23,500		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	535	461	461	151	-310		
歳入合計		15,935	3,261	3,061	26,451	23,190		
課題		消防機庫の多くが老朽化していることから、「松江市消防団充実強化計画」に基づき、建築年数や老朽化度合を考慮しながら計画的に更新することが必要となっている。		消防団及び地域関係者と協議を行い、協力を得ながら有利な財源を活用し計画的に整備を進める。				
				方向性				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」と思う
	主要施策	消防機庫整備事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	設計業務委託		
	8月～9月	建築工事入札		
	10月～2月	建築工事		
	3月	竣工		

本事業に関する主要データ																																															
＜令和8年1月1日時点＞ 方面団別機庫数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>方面団</th><th>棟数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>松江橋北</td><td>21</td></tr> <tr><td>松江橋南</td><td>11</td></tr> <tr><td>鹿島</td><td>14</td></tr> <tr><td>島根</td><td>12</td></tr> <tr><td>美保関</td><td>23</td></tr> <tr><td>八束</td><td>8</td></tr> <tr><td>八雲</td><td>8</td></tr> <tr><td>玉湯</td><td>6</td></tr> <tr><td>宍道</td><td>8</td></tr> <tr><td>東出雲</td><td>12</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>123</td></tr> </tbody> </table> 経過年数別機庫数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>経過年数</th><th>棟数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0年～10年</td><td>8</td></tr> <tr><td>11年～20年</td><td>17</td></tr> <tr><td>21年～30年</td><td>21</td></tr> <tr><td>31年～40年</td><td>32</td></tr> <tr><td>41年～50年</td><td>11</td></tr> <tr><td>51年～60年</td><td>4</td></tr> <tr><td>61年以上</td><td>1</td></tr> <tr><td>建築年不明</td><td>29</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>123</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均経過年数</th><th>29.1</th></tr> </thead> </table>		方面団	棟数	松江橋北	21	松江橋南	11	鹿島	14	島根	12	美保関	23	八束	8	八雲	8	玉湯	6	宍道	8	東出雲	12	合計	123	経過年数	棟数	0年～10年	8	11年～20年	17	21年～30年	21	31年～40年	32	41年～50年	11	51年～60年	4	61年以上	1	建築年不明	29	合計	123	平均経過年数	29.1
方面団	棟数																																														
松江橋北	21																																														
松江橋南	11																																														
鹿島	14																																														
島根	12																																														
美保関	23																																														
八束	8																																														
八雲	8																																														
玉湯	6																																														
宍道	8																																														
東出雲	12																																														
合計	123																																														
経過年数	棟数																																														
0年～10年	8																																														
11年～20年	17																																														
21年～30年	21																																														
31年～40年	32																																														
41年～50年	11																																														
51年～60年	4																																														
61年以上	1																																														
建築年不明	29																																														
合計	123																																														
平均経過年数	29.1																																														
主な地方債：緊急防災・減災事業、公共施設等適正管理推進事業（除却事業）																																															

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,781		
工事請負費	23,670		
事業費計			26,451

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
消防本部警防課		車両整備事業費(常備消防)(単独)						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	火災・救急・救助活動に出動する車両を消防車両整備計画に基づき、順次更新整備する。		項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			車両更新台数(台)	1	3	3	2	3
	目標（何を達成するのか）							
	最新の機能・装備を具備した消防車両を導入することにより、火災発生時の被害軽減、救命率の向上、人命救助活動の迅速化を図る。							
事業概要	消防車両整備計画に基づき、老朽化した消防車両を更新整備し、消防力の充実強化を図る。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	北救助工作車、北2警防隊車、西部1警防(R8繰越)を購入(更新)。		北部1警防隊車(R9繰越)、南救急2号、水槽車(R8～R9債務負担)を購入(更新)。		南部1警防隊車(R10繰越)、湖南救急車を購入(更新)。			
	達成度							
計画目標に向けて進捗はやや遅れている								
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		268,412	341,943	274,843	127,177	-214,766	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		267,100	339,800	272,700	126,800	-213,000	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		1,312	2,143	2,143	377	-1,766	
歳入合計		268,412	341,943	274,843	127,177	-214,766		
課題	単年度内での更新整備が計画通りに進まない状況となっている。また、原材料費や人件費をはじめ、物価高騰の影響に加え、物流費や輸入費の上昇も事業進捗に影響を及ぼしていると考えられる。			必要最小限の費用で最大限の効果が得られるよう、車両仕様や有利な財源の活用を検討し、計画に沿った消防車両の更新整備に努める。				
				方向性				

消防本部警防課

車両整備事業費(常備消防)(単独)

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	車両整備事業(常備消防)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	入札	翌年9-1月	中間検査
	4-5月	仮契約		
	6月	議案提出		
	7月	本契約		

本事業に関する主要データ

【災害対応特殊消防ポンプ自動車 1台】

事業概要：消防車両整備計画に基づき、老朽化した消防ポンプ自動車の更新整備を行うもの（北部1警防隊車）

事業費：80,000千円（車両・資機材）※繰越明許費設定（R8→R9）

主な地方債：施設整備事業（一般財源化分）、一般補助施設整備等事業

【災害対応特殊救急自動車（高規格救急自動車） 1台】

事業概要：消防車両整備計画に基づき、老朽化した救急車及び救急資器材の更新整備を行うもの（南救急2号車）

事業費：46,897千円（車両・資機材）

主な地方債：緊急防災・減災事業

【小型動力ポンプ付水槽車2型 1台】

事業概要：消防車両整備計画に基づき、老朽化した水槽車の更新整備を行うもの（水槽車）

事業費：104,000千円（車両・資機材）※債務負担行為設定（R8→R9）

主な地方債：施設整備事業（一般財源化分）、過疎対策事業、一般補助施設整備等事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	122		
役務費	42		
使用料及び賃借料	17		
備品購入費	126,897		
公課費	99		
事業費計			127,177

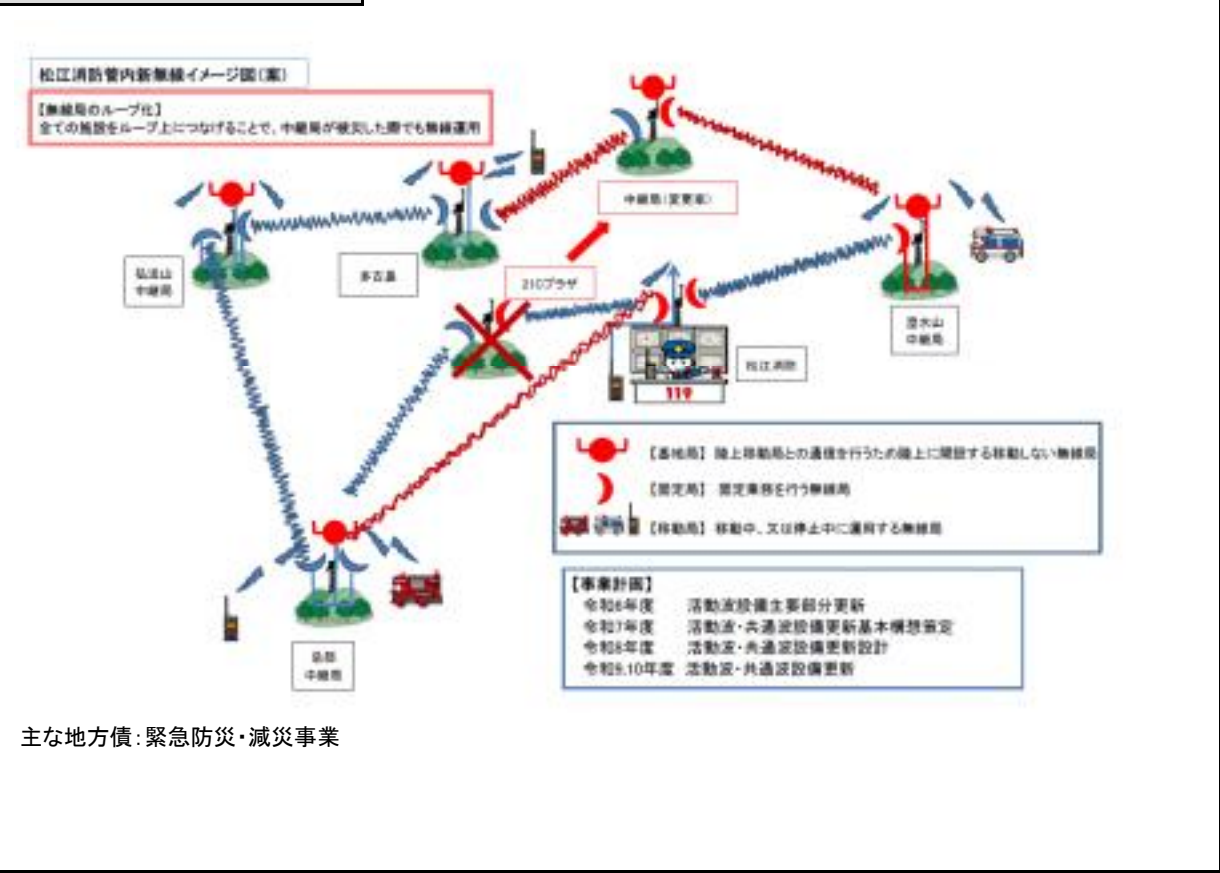
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
消防本部通信指令課		消防救急デジタル無線再整備事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	消防活動に必要な情報の伝達・共有を確実に 行い、早期に災害を終息させることにより、市民 の生命、身体及び財産を守る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		活動波設備主要 部分更新事業進 捗（％）	100				100
	目標（何を達成するのか）	活動波・共通波設 備全面更新事業 進捗（％）		25	50	75	100
	経年劣化、老朽化した消防救急デジタル無線 設備を更新する。						
事業概要	消防救急デジタル無線（活動波、共通波）は、災害活動時において、消防本部（高機能消防指令センター）と消防隊、救急隊等との情報伝達に使用する必要不可欠な無線である。 平成24～26年度に整備した無線設備の経年劣化、老朽化に伴い構成機器等の再整備を行う。 【令和6年度】故障のリスクを避け、消防活動への影響を最小限とするため、使用頻度の高い活動波の主要部分を更新する。 【令和7年度】通信環境の変化に応じた活動波・共通波の更新基本構想をまとめる。 【令和8、9、10年度】活動波及び共通波を同時に全更新することで、更新に係る費用の大幅な削減と機能強化を図る。 ※施工場所：消防本部、無線中継局（忌部、澄水山、多古鼻、弘法山） ※活動波とは、松江市消防本部に割り当てられた周波数（市内での災害活動に使用） ※共通波とは、大規模災害時等、市外や県外の消防機関と連携する際に使用する周波数（防災ヘリ、ドクターヘリとの交信にも使用）						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	活動波・共通波設備更新基本構想策定	活動波・共通波設備全面更新設計		活動波・共通波設備全面更新工事			
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	18,260	0	0	12,000	12,000	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	18,200	0	0	12,000	12,000	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	60	0	0	0	0	
歳入合計		18,260	0	0	12,000	12,000	
課題	現在、使用している無線設備は整備してから13年経過し、経年劣化、老朽化が進み、不具合が発生している。 消防活動上なくてはならない情報伝達手段のため、この機能を維持していかなければならない。		方向性	災害活動において高度な情報収集伝達業務を維持・継続できる堅牢性、可用性及び耐障害性を有した信頼度の高いシステムを構築すると共に、大規模災害時にも的確に機能を維持できる最適なアプローチ回線を構築する。 既存の消防指令システムと確実に接続すると共に、通信環境の変化に応じた改善、機能強化を図る。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	消防救急デジタル無線再整備事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	実施設計業務委託 入札		
	5月	実施設計業務委託 契約		
	9月	実施設計(案)完成・概算予算要求		
	12月	実施設計業務委託成果物提出・検査検収		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	12,000		
事業費計			12,000

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
防災部原子力安全対策課		原子力広報調査等事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	原子力発電に関する市民の知識・理解の向上、 原発周辺地域住民の生活に及ぼす影響に関する調査		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			原子力安全等に対する理解度（％）			90	90	90
	目標（何を達成するのか）							
	原子力関連施設見学会や松江市原子力発電所環境安全対策協議会等を通じ、広く市民の原子力に関する知識・理解を深める。							
事業概要	①島根原子力発電所周辺地域住民に対する原子力発電に関する知識の普及 原子力関連施設見学会等、原子力安全・防災対策関連HP、市報松江への原子力関連記事掲載など ②原子力発電所が周辺地域住民の生活に及ぼす影響に関する調査並びに連絡調整 松江市原子力発電所環境安全対策協議会、原子力発電所安全性調査、全国原子力発電所所在市町村協議会等による情報収集など ※根拠法令 電源開発促進対策特別会計法施行令（昭和49年政令第340号） 広報・調査等交付金交付規則（昭和49年11月29日）科学技術庁・通商産業省告示第3号							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	出前講座等の実施や広報紙の発行により、原子力安全・防災対策等について市民への啓発に取り組んだ。 また、松江市原子力発電所環境安全対策協議会において、島根2号機のプルサーマル計画や高経年化対策に向けた取り組みについて説明を行った。 ・松江市原子力発電所環境安全対策協議会 1回 ・広報紙の発行 4回 ・関連施設見学会等 19回		・松江市原子力発電所環境安全対策協議会 2回 ・広報紙の発行 4回 ・関連施設見学会等 22回		・松江市原子力発電所環境安全対策協議会 2回 ・広報紙の発行 4回 ・関連施設見学会等 22回			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		22,871	24,750	24,303	24,750	0		
財源内訳	国・県支出金	22,843	24,750	24,303	24,750	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	28	0	0	0	0		
歳入合計		22,871	24,750	24,303	24,750	0		
課題	市民を対象とした出前講座や原子力関連施設見学会などの広報事業について、近年、開催回数が横ばい状態であるが、より市民に対し原子力安全・防災の理解促進に資する効果的な広報活動を行っていく必要がある。			本事業の目的である、市民の原子力に対する正しい理解と知識を深めるため、出前講座や原子力関連施設見学会などの開催回数を増やせるよう、引き続き各団体等に対し幅広く周知を図るとともに、継続的な情報発信を行っていく。				
				方向性				

防災部原子力安全対策課

原子力広報調査等事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	原子力広報調査等事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	松江市原子力発電所環境安全対策協議会		
	4月～3月	原子力広報紙の発行		
	4月～3月	原子力関連施設見学会等		

本事業に関する主要データ

原子力関連施設見学会等の開催回数（回）

実 績						
平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
15	11	3	9	16	13	12

〈対象事業〉

出前講座

出前授業

原子力関連施設見学会 等

R8節別予算額内訳(千円)

節名称	金額	節名称	金額
報酬	4,576	使用料及び賃借料	2,892
職員手当等	1,728	負担金補助及び交付金	1,344
共済費	1,053		
報償費	811		
旅費	7,715		
需用費	4,227		
役務費	404		
事業費計			24,750

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
まちづくり部建築審査課		大規模建築物耐震診断事業費補助金					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	『地震発生時に通行を確保すべき道路』沿道の耐震性能が不足する建築物に対して耐震化を推進し、被災者の救護活動や消火活動等が支障なく実施できるよう災害に強いまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		耐震診断実施件数	0	0	1	0	1
	目標（何を達成するのか）						
	対象となる建築物の所有者等に対し、耐震化の重要性及び法に基づく義務付け事項と補助制度についての理解を得ながら、耐震化を推進する。						
事業概要	平成25年11月の改正耐震改修促進法に基づき、島根県及び本市の耐震改修促進計画において指定する『地震発生時に通行を確保すべき道路』沿道の耐震性能が不足する建築物に対しては、耐震診断及びその結果報告が義務付けられた。それら対象となる耐震化すべき建築物として耐震診断が実施可能となったものから実行に移し、国・県の助成も合わせて支援を行う。 ■補助対象事業費 耐震診断に要する費用（ただし、通常の耐震診断に要する費用以外の費用を要する場合は、1,570千円まで加算することができる。） 耐震診断に要する費用の限度額単価 (1) 1,000㎡以下 3,670円/㎡、(2) 1,000㎡超、2,000㎡以下 1,570円/㎡、(3) 2,000㎡超 1,050円/㎡ ■補助率 10/10【国：1/2、県：1/4、松江市：1/4】						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	耐震診断1件を実施予定であったが、所有者の意向により実施見送りとなった。	耐震診断1件を予定している。耐震診断未実施の建物所有者に対し、耐震化の重要性と支援策の説明を行い、引き続き耐震診断の実施へ向け取り組む。		R8年度に耐震診断1件が完了した場合、対象建築物全てが耐震診断完了となる。耐震診断結果を踏まえて、引き続き耐震化を推進する。			
	達成度						
計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	0	3,489	0	2,912	-577	
	国・県支出金	0	2,616	0	2,184	-432	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	873	0	728	-145	
歳入合計		0	3,489	0	2,912	-577	
課題	早期にすべての対象となる建築物の所有者等に耐震化の重要性と事業の必要性について説明を行い、所有者等から理解を得ることが急がれる課題である。		島根県と協力し、ほぼ全ての所有者において耐震診断が行われた。残る所有者等に対して耐震化の重要性と支援策の説明を行い、引き続き耐震診断の実施に向け取り組む。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	大規模建築物耐震診断事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R8年4月～6月	所有者及び耐震診断士との協議、実施時期の調整		
	R8年7月～12月	耐震診断実施		

本事業に関する主要データ

『地震発生時に通行を確保すべき道路』沿道の大規模建築物の耐震化事業

1. 事業の流れ

耐震改修促進法の考え方

- 地方公共団体の耐震改修促進計画において『地震発生時に通行を確保すべき道路』を指定。
- その沿線にある建築物で、大規模地震で倒壊した場合にその道路の通行を妨げる恐れがある建築物に対して耐震化を促進する。

↓

『地震発生時に通行を確保すべき道路』の指定（防災部局との連携による）

- 市域全体の防災対応の観点から地震発生時に通行を確保すべき道路を「松江市耐震改修促進計画」において指定する。

↓

実施する耐震化対策

- 耐震診断の義務付けと耐震診断費用に対する補助
⇒ 全額公費負担 国:1/2 県:1/4 市:1/4
- 耐震診断結果の公表及び
所有者・管理者への耐震化に対する説明、啓発
- 耐震改修費用に対する補助
⇒ 負担割合 国:2/5 県:1/6 市:1/6 事業者:11/15

2. 事業実施予定期間（事業実施可能となったものから実施）

年度	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
耐震改修促進計画	←→									
耐震診断		←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
耐震改修		←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→

2. 対象となる建築物

都道府県または市町村が指定する緊急輸送道路等の避難路沿道建築物であって、一定の高さ以上のもの

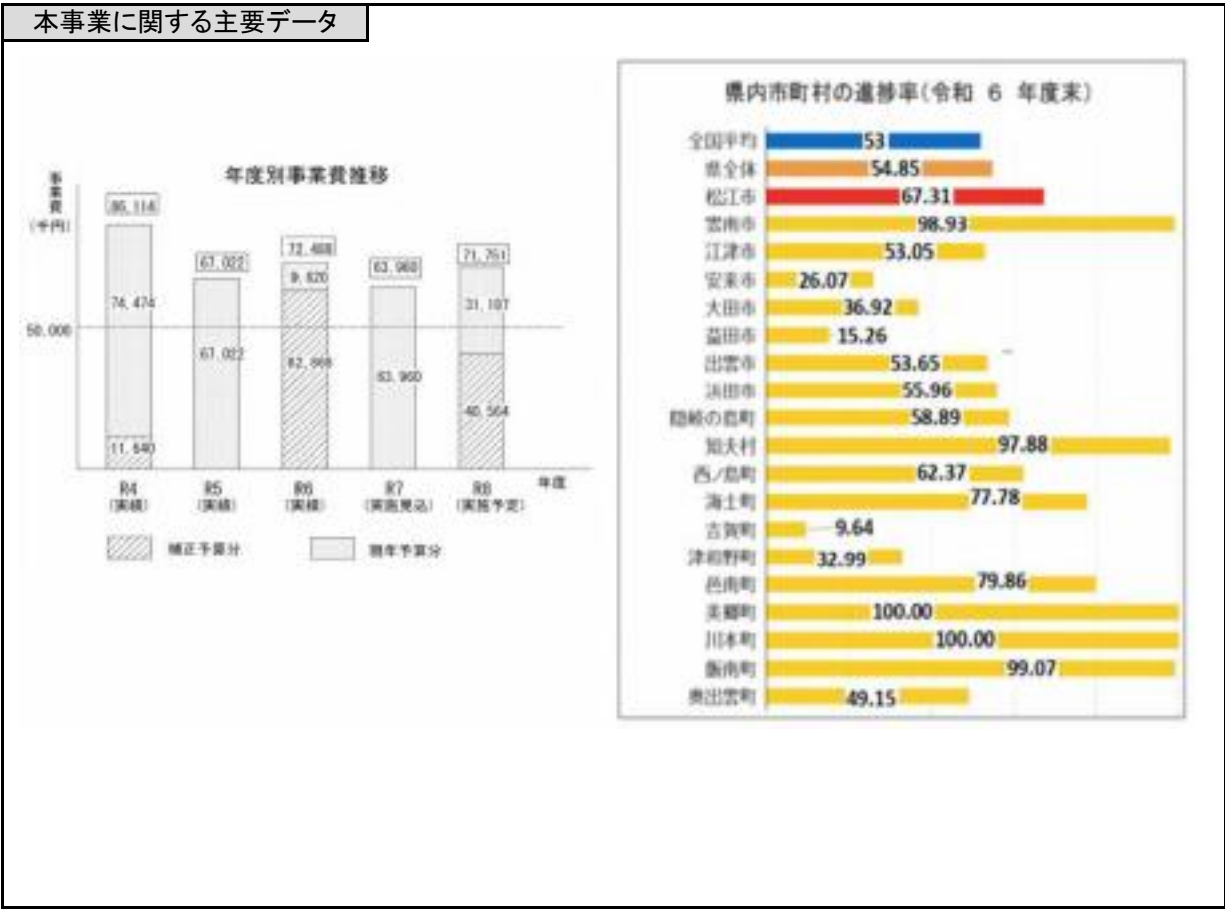
R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,912		
事業費計			2,912

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
都市整備部土地対策課		地籍調査事業費(補助)						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	地籍(土地の所有者、地目、面積、境界)を明確化することにより、土地管理の適正化、公共事業の効率化、土地取引の円滑化、課税の適正化を図ると共に、境界紛争を防ぐ。		項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			進捗率(%)	67.31	67.75	68.1	68.64	70.92
	目標（何を達成するのか）		調査済面積(k㎡)	305.86	307.85	309.45	311.9	322.24
	「第7次国土調査事業十箇年計画」(R2～R11)の着実な推進。 計画における目標進捗率＝70.92% ※進捗率(%)＝調査済面積÷調査対象面積(454.4k㎡)×100							
事業概要	図根三角測量、一筆地調査・・・西忌部(9)地区0.02k㎡ 図根三角測量、補備測量、原図作成、地積測定、成果の閲覧・・・千酌(1)外地区0.91k㎡ 細部図根測量、一筆地測量、原図作成、地積測定・・・西忌部(8)地区0.18k㎡ 原図作成、地積測定、成果の閲覧・・・西忌部(7)外1地区0.09k㎡ 成果の閲覧・・・西持田(3)地区0.02k㎡ ※面積はすべて換算面積 「換算面積」とは・・・事業の各工程に比率を定め、調査対象面積に実施工程の比率を乗じたもの。(例：西忌部(9)地区の調査対象面積は0.15k㎡だが、令和7年度の実施工程の換算面積は0.02k㎡である。)							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	現年分：新庄(1)外10地区 1.99k㎡		現年分：西忌部(9)外6地区 1.22k㎡ 繰越分(R7補正)：上本庄(1)外3地区 0.38k㎡		調査面積 2.45k㎡			
	達成度							
計画目標に向けて進捗はやや遅れている								
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		72,488	76,581	63,960	31,187	-45,394	
	国・県支出金		54,366	57,435	47,970	23,390	-34,045	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		15,717	0	0	0	0	
	一般財源		2,405	19,146	15,990	7,797	-11,349	
歳入合計		72,488	76,581	63,960	31,187	-45,394		
課題	土地所有者の高齢化、山林部等での所有者不明土地の増加により、現地調査の難易度が増している。		令和6年度から山林部の一部地区において、航空測量や航空写真データを活用した地籍調査を導入しているが、この方式を採用できる地域は限定的であるため、従来の方法も含め、対象地区に適した方法で調査を進める。					
			方向性					

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	地籍調査事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	業務委託実施設計	4月～6月	次年度実施予定箇所の選定
	6月	業務委託委発注		
	7月～2月	現地調査、書類とりまとめ整理		
	2月	業務完了		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,128	使用料及び賃借料	548
職員手当等	438	公課費	14
共済費	272		
報償費	116		
需用費	588		
役務費	132		
委託料	27,951		
事業費計		31,187	

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
都市整備部道路課		西尾大井線(朝酌工区)整備事業費					
事業の目的と目標	目的 (何のために)	数値目標					
	大橋川関連事業として市道西尾大井線の未改良区間(朝酌町～朝酌町矢田間)を拡幅するもの。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		施工延長(m)※ 目標値設定は馴染まない	360	100	340	215	
	目標 (何を達成するのか)	累計供用延長(m)	338	338	338	553	950
	整備延長950m(幅員9.0m)						
事業概要	本路線は全延長約5,600mのうち約3,730mが未改良区間であるため、大橋川改修事業に併せて市施工分2,850mを「朝酌工区」と「福富工区」に区分し、道路改良を行うもの。 市施工区間 朝酌工区950m、福富工区1,900m 国施工区間 880m						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	道路改良工事 L=100m(暫定)	道路改良工事 L=340m(暫定)		道路改良工事 L=215m			
	(供用延長) (目標値 950m) (実績 338m)	(供用延長) (目標値 950m) (予定 338m)		(供用延長) (目標値 950m) (予定 553m)			
	達成度						
計画目標に向けて進捗はやや遅れている							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	66,768	90,000	24,471	70,000	-20,000	
	国・県支出金	46,783	63,000	17,178	49,000	-14,000	
	地方債	17,700	24,300	6,700	18,900	-5,400	
	その他	13	0	0	0	0	
	一般財源	2,272	2,700	593	2,100	-600	
歳入合計		66,768	90,000	24,471	70,000	-20,000	
課題	取付道路の設計変更に伴い、用地買収・補償を行う必要がある。 支障物件(上下水道、電柱管理者)との工程調整が必要である。		令和10年度供用開始に向け事業進捗を図る。				
			方向性				

都市整備部道路課

西尾大井線(朝酌工区)整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	地域ネットワーク道路整備事業(社会資本整備総合交付金)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月～3月	道路改良工事		
	9月～2月	用地買収・補償		

本事業に関する主要データ



主な地方債：公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	69,653		
公有財産購入費	298		
補償補填及び賠償金	49		
事業費計			70,000

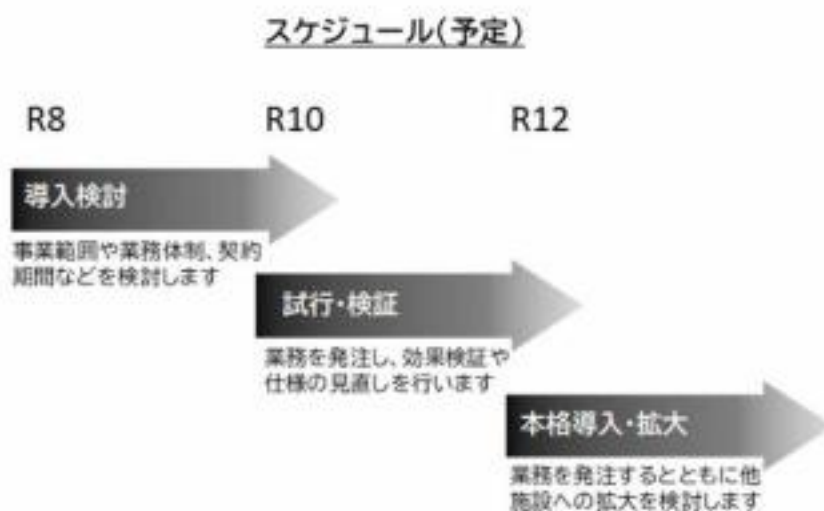
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
都市整備部道路課		道路インフラ包括民間委託導入検討事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	老朽化が進行する道路施設の維持管理について、公民ともに限られた人員の中、効率的・効果的な事業実施体制を構築することで、施設の修繕を着実に実施し、持続的に安全な通行路を確保する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			※成果指数は馴染まない					
	目標（何を達成するのか）							
包括民間委託による維持管理体制を早期に導入する。								
事業概要								
	道路施設の維持業務のうち、管理状況に課題のある「橋梁等の点検・設計・修繕業務」や、「道路パトロールなど日常維持管理業務」について、効率的・効果的な事業実施体制を構築するため、公民連携で包括民間委託の範囲、受注体制、業務仕様等を協議・検討する。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
			検討業務 （サウンディング、事業範囲、業務体制、契約方式・期間、要求水準、導入効果試算）		検討業務 （仕様書、リスク分担）			
	達成度							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		0	0	0	16,500	16,500	
	国・県支出金		0	0	0	16,500	16,500	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	0	0	0	
歳入合計		0	0	0	16,500	16,500		
課題	自治体の規模、民間事業者数などによって、効果的な手法は異なるが、導入事例が少なく参考となる自治体が限られており、また、地元事業者の理解無くしては体制構築、事業実施に向えないことから、本格実施までにある程度の時間が必要。		方向性		公民連携で適正な体制構築を目指し、まずは早期の試行業務着手と効果検証を行い、その後、本格導入や導入分野の拡大を図る。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	道路インフラ包括民間委託事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	サウンディング		
	11月	業務実施体制検討、導入効果試算		
	3月	導入工程作成		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	16,500		
事業費計			16,500

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
都市整備部道路課		道路ストック長寿命化対策事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	老朽化が進む道路施設を適切に維持管理し、市民に安全・安心な道路施設を提供するとともに、ライフサイクルコスト低減と維持管理費の平準化を図る。 目標（何を達成するのか） 継続的で的確な点検・修繕による施設の長寿命化を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			標識点検数(基)(1巡目～R8累計)	1,162	1,337	1,517	100	1,517
			照明灯点検数(基)(2巡目～R14累計)	159	276	426	676	2,729
			反射鏡点検数(基)(2巡目～R15累計)	210	396	576	756	5,057
事業概要	松江市道路施設長寿命化計画並びに松江市道路附属物長寿命化修繕計画、松江市道路法面長寿命化修繕計画、松江市道路舗装長寿命化修繕計画に基づき、道路附属物(標識、照明施設等)、道路法面、道路舗装等の点検・修繕を実施する。 ＜点検期間＞ ・道路附属物(標識)：H28～R8、R9～R18 ・道路附属物(照明灯)：H25～R4、R5～R14 ・道路附属物(反射鏡)：H26～R5、R6～R15 ・道路法面：H28～R7、R8～R17 ・道路舗装：H30～R9							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・道路附属物 （標識）点検 175基 修繕工事 10基 （照明灯）点検 117基 修繕工事 30基 トンネル照明修繕工事 2箇所 （反射鏡）点検 186基 修繕工事 30基 ・道路法面 点検 39箇所 修繕工事 2箇所 ・舗装 修繕工事 10路線		・道路附属物 （標識）点検 180基 修繕工事 10基 （照明灯）点検 150基 修繕工事 30基 トンネル照明修繕工事 1箇所 （反射鏡）点検 180基 修繕工事 30基 ・道路法面 点検 25箇所 修繕工事 2箇所 ・舗装 修繕工事 10路線		・道路附属物 （標識）点検 100基 修繕工事 10基 （照明灯）点検 250基 修繕工事 30基 トンネル照明修繕工事 1箇所 トンネル照明修繕設計 1箇所 （反射鏡）点検 180基 修繕工事 30基 ・道路法面 点検 25箇所 修繕工事 1箇所 修繕工事 1箇所 ・舗装 修繕工事 10路線			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		207,005	231,373	114,474	215,500	-15,873		
財源内訳	国・県支出金	55,252	23,000	27,500	16,250	-6,750		
	地方債	124,900	199,800	83,600	194,100	-5,700		
	その他	647	0	220	220	220		
	一般財源	26,206	8,573	3,154	4,930	-3,643		
歳入合計		207,005	231,373	114,474	215,500	-15,873		
課題	標識1,517基、照明施設2,729基、道路反射鏡5,057基あり、そのうち10年以上経過したものが多く、今後の急速な老朽化が予想されるため、より効率的な点検・修繕が必要となる。		点検結果に基づき、予算確保と平準化を目指し効率的に修繕を行う。					
		方向性						

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	道路事業(社会資本整備総合交付金)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～3月	道路附属物 点検、修繕工事		

本事業に関する主要データ

定期点検						
橋	年 度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	点検	1区画(R4～R5)				
	点検数	373	99	143	175	
	金価総数 ※1	3	54	5	10	
健全度(R8.1末時点)						
管理数量	点検箇所					
	対象区画		対象区画数	対象区画数	対象区画数	対象区画数
	区画数		区画数	区画数	区画数	区画数
	区画数		区画数	区画数	区画数	区画数
橋	1,517	622	642	22	231	1,517
照明灯	2,729	1,624	644	261	0	2,729
反射鏡	5,057	2,614	2,210	233	0	5,057
健全度判定区分						
I II III IV						
健全 劣化軽微 劣化中等 劣化重度						
定期点検						
R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度						
照明灯	年 度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	点検	1区画(R4～R5)				
	点検数	210	16	83	117	
	金価総数 ※1	18	35	28	30	
定期点検						
R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度						
反射鏡	年 度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	点検	1区画(R4～R5)				
	点検数	-	-	210	198	
	金価総数 ※1	39	47	21	30	

※1 他事業による修繕も含む

主な地方債：公共事業等、公共施設等適正管理推進事業（長寿命化事業）、緊急自然災害防止対策事業、脱炭素化推進事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	33,500		
工事請負費	182,000		
事業費計			215,500

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部道路課	橋りょう長寿命化対策事業費、トンネル長寿命化対策事業費、道路附属物等長寿命化対策事業費、橋りょう等点検事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	老朽化が進む道路施設をより一層、適切に維持管理し、市民に安全・安心な道路施設を提供するとともに、ライフサイクルコスト低減と維持補修・更新費用の平準化を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		橋梁点検数(3巡目R6～R10累計)	239	471	760	990	1,217
		修繕が必要な橋梁数(R6～R10)	218	218	210	200	172
	目標（何を達成するのか）						
	継続的・的確な点検、修繕による施設の長寿命化を図る。						

事業概要	平成24年12月2日に発生した笹子トンネル天井板落下事故を契機に道路法が改正され、平成26年7月から橋梁・トンネル・横断歩道橋等の5年に1回の近接目視による定期点検が義務化された。 松江市においては橋梁・トンネル・横断歩道橋長寿命化修繕計画を策定し、同計画に基づき橋梁・トンネル・横断歩道橋の定期点検及び修繕を行う。 <点検期間> ・橋梁・トンネル・横断歩道橋：2巡目（R1～R5）、3巡目（R6～R10） ※橋梁点検総数は移管、受贈等による修正
------	--

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	・橋梁 定期点検 232橋 設計業務 13橋 修繕工事 7橋 ・トンネル 定期点検 1本 ・横断歩道橋 定期点検 2橋 設計業務 2橋 修繕工事 2橋	・橋梁 定期点検 289橋 設計業務 14橋 修繕工事 5橋 ・トンネル 定期点検 6本 ・横断歩道橋 定期点検 6橋 設計業務 1橋	・橋梁 定期点検 230橋 設計業務 7橋 修繕工事 16橋 ・トンネル 修繕工事 1本 ・横断歩道橋 定期点検 1橋 設計業務 1橋 修繕工事 1橋
	達成度		
	計画目標に向け進捗は遅れている		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		368,947	290,622	453,749	335,470	44,848
財源内訳	国・県支出金	202,920	159,842	199,469	184,508	24,666
	地方債	136,300	100,500	203,900	90,900	-9,600
	その他	8,406	0	0	0	0
	一般財源	21,321	30,280	50,380	60,062	29,782
歳入合計		368,947	290,622	453,749	335,470	44,848

課題	メンテナンスサイクル(点検⇒診断⇒措置⇒記録)を継続し、着実な補修・修繕を行うため、技術者の確保・継承、育成が求められる。 対象施設数が多く修繕費も高額であり、点検により早期措置段階と判定された施設の修繕を、次回点検(5年後)までに終えることができない。	方向性	継続的に事業に取り組むことで技術者の育成を図るとともに、修繕対象施設の優先度を的確に判断して着実に事業を推進する。
----	---	-----	--

都市整備部道路課

橋りょう長寿命化対策事業費、トンネル長寿命化対策事業費、道路附属物等長寿命化対策事業費、橋りょう等点検事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	道路事業(道路メンテナンス事業費補助)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	橋梁、トンネル、横断歩道橋定期点検		
	6月～3月	橋梁、横断歩道橋修繕		

本事業に関する主要データ

定期点検						
橋りょう	年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	点検回	3回回 (R6～R10)				
	点検数	238	237	289		
		対象施設 1217橋				
	修繕(完了数)	11	11	5		

定期点検で判定目(又は判定日)となった橋りょうを修繕対象とする
新道路メンテナンス事業費以外の予算での修繕数を含む

定期点検						
トンネル	年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	点検回	3回回 (R6～R10)				
	点検数	0	1	0		
		対象施設 13本				
	修繕(完了数)	1	0	0		

定期点検で判定目となったトンネルを修繕対象とする
未健全道路の修繕はR6年度で完了

定期点検						
橋断歩道橋	年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	点検回	3回回 (R6～R10)				
	点検数	0	2	6		
		対象施設 13橋				
	修繕(完了数)	1	1	0		

定期点検で判定目となった橋断歩道橋を修繕対象とする

健全度 (R7.3末時点)							
		I	II	III	IV	未判定	合計
橋梁	575	418	215	3	5	1217	
トンネル	0	12	1	0	0	13	
橋断歩道橋	2	4	7	0	0	13	

健全度判定区分	I	健全	道路橋の機能に支障が出ていない状態
	II	予防保全措置	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の範囲から修繕を調べる必要がある状態
	III	早期修繕対応	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に修繕を調べるべき状態
	IV	緊急修繕対応	構造物の機能に支障が生じている。または生じる可能性が著しく高く、緊急に修繕を調べるべき状態

主な地方債：公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	225,470		
工事請負費	110,000		
事業費計			335,470

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
都市整備部道路課		揖屋馬潟線整備事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標				
	災害時の避難ルート、国道9号の代替機能を持つ道路として整備することにより、東出雲町内幹線道路の歩行者・自転車の安全確保や中海・宍道湖・大山圏域内の移動時間短縮による経済効果の波及を目的とする。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	目標（何を達成するのか）		整備延長(m)目標設定は馴染まない	520	330	428	300
	整備延長 1,200m(幅員11.5m)		累計供用延長(m)	0	0	0	0
							1,200
事業概要		本路線は東出雲地域「まちづくり計画」の主要事業に位置づけられており、路線全線のうち、未整備の東側2工区、3工区の区間について整備を行う。 本路線の総延長 2,780m(2工区、3工区事業区間1,200m) 測量設計・用地買収等は松江市が、工事は松江市と島根県が行う。					
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画		
	道路仮設材保全業務委託 沈下観測業務委託 仮設計画検討業務委託 借地(工事用道路、土砂仮置き場として) 道路新設その2工事(暫定施工) 330m (供用延長) 目標値:1200m 予 定:0m		借地(工事用道路、土砂仮置き場として) (供用延長) 目標値:1200m 予 定:0m ※道路新設工事等は令和7年度補正予算(繰越)を活用		借地(工事用道路、土砂仮置き場として) 道路新設その5工事(暫定施工) 300m 用地買収及び補償 (供用延長) 目標値:1200m 予 定:0m		
	達成度						
計画目標に向けて進捗はやや遅れている							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		97,080	20,000	78,812	8,000	-12,000	
財源内訳	国・県支出金	47,897	10,000	39,406	4,000	-6,000	
	地方債	44,900	9,000	37,500	3,600	-5,400	
	その他	4,051	0	0	0	0	
	一般財源	232	1,000	1,906	400	-600	
歳入合計		97,080	20,000	78,812	8,000	-12,000	
課題		県との事業調整。用地未買収箇所の買収。国費の内示率が悪く、十分な事業費を確保できない。		島根県との連携を図り、着実な実施に努める。用地未買収箇所については、地権者と丁寧な交渉をし、買収のめどをつける。国費の獲得については、国の補正を積極的に活用し事業費を確保する。		方向性	

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	街路事業費(補助)

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	借地(工事用道路、土砂仮置き場として)		

本事業に関する主要データ



主な地方債：公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
使用料及び賃借料	8,000		
事業費計			8,000

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部道路課	中海大橋改修事業費(継続費)、中海大橋改修事業費(3期工事)(継続費)、中海大橋改修事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	中海大橋は、昭和63年架橋の橋梁であり老朽化が進行していることから、良好な状態を維持するため大規模修繕・更新事業を行う。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		事業進捗率（%）	5.6	14.4	17.3	27.9	100
	目標（何を達成するのか）	橋面修繕工事（m）	285	555	0	0	555
	老朽化した部材の修繕を行うとともに、第2次緊急輸送道路として地震後の道路ネットワークを確保するために耐震化を行う。	下部工（橋台・橋脚）補修・耐震化（基）	0	0	0	2	10

事業概要	中海大橋は、最大径間長125m、最大地上高23mの長大橋で、架橋後34年が経過している。平成30年度に実施した橋梁定期点検では、主桁が中央ヒンジ部で垂れ下がり変形し、路面に凹みが発生していることに伴い、大型車の走行時に上床板が大きな衝撃を受けていることが確認された。 上記を踏まえ検討した結果、「判定Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）」と判断されるため、修繕・更新事業として補修・補強を行い、性能・機能の維持・回復を図る。また、修繕事業に合わせて耐震化を図る。 【諸元】 橋梁総延長 555m (9径間+取付部) 幅員 11.8m (2車線+両側歩道)
------	---

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	橋面修繕工事(完了見込み) 計 画 L=270m 実 績 L=270m (555m完了) 下部工補修・耐震化工事 (R6,7,8継続費 2期工事) 計 画 1基 完了(暫定) 実 績 1基 着手 施工監理等業務委託 計 画 1件 実 績 1件	下部工補修・耐震化工事 (R6,7,8継続費 2期工事) 計 画 1基 完了(暫定) (R8,9継続費 3期工事) 計 画 1基 工事着手 施工監理等業務委託 計 画 1件	下部工補修・耐震化工事 (R8,9継続費 3期工事) 計 画 2基 完了 (R9,10継続費 4期工事) 計 画 2基 工事着手 施工監理等業務委託 計 画 1件
	達成度		
	計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		120,507	434,000	457,380	288,078	-145,922
財源内訳	国・県支出金	66,279	238,700	251,559	152,942	-85,758
	地方債	48,700	181,400	187,200	120,700	-60,700
	その他	4,100	0	0	0	0
	一般財源	1,428	13,900	18,621	14,436	536
歳入合計		120,507	434,000	457,380	288,078	-145,922

課題	松江市の管理する橋梁の中で、最大の橋であり、特殊な構造でもあることから、高い技術力が求められる。 工事進捗に合わせて追加の委託業務が発生する可能性がある。	方向性	安全に確実に工事が行えるよう、施工方法を工夫する。
----	---	-----	----------------------------------

都市整備部道路課

中海大橋改修事業費(継続費)、中海大橋改修事業費(3期工事)(継続費)、中海大橋改修事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	中海大橋改修事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	監理等業務委託		
	～7月	下部工補修・耐震化 2期工事		
	10月～	下部工補修・耐震化 3期工事 契約(9月議会)		

本事業に関する主要データ



主な地方債：公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	16,578		
工事請負費	271,500		
事業費計		288,078	

令和8年度 総合計画実施計画

所 属	事 業 名
健康福祉部生活福祉課	生活保護扶助費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	日本国憲法第25条の「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という理念を基に、対象世帯の最低限度の生活を保障するとともに、世帯の自立を助長するもの。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値指標になじまない					
	目標（何を達成するのか）						
	生活保護を必要とする世帯への保護を適切に行うとともに、各種就労自立支援事業により、生活保護からの自立世帯数の増加を図るもの。						

事業概要	・国庫負担率3／4、市負担率1／4 ・ケースワーカーによる世帯の状況把握を通じ、就労支援員や医療保健相談員、くらし相談支援センターをはじめとする各関係機関との連携を図りながら、世帯状況に応じた生活の安定と自立に向けた支援を行う。
	(数値目標の目標年度) 就労に繋がった人員(短期就労含む) 2026(R8)年度、収入増による生保廃止世帯 2026(R8)年度

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	支給額見込(R7年12月末時点)	支給額見込(R8当初予算額)	支給額見込
	生活扶助費 1,209,067千円	生活扶助費 1,175,921千円	生活扶助費 1,175,921千円
	住宅扶助費 627,257千円	住宅扶助費 624,339千円	住宅扶助費 624,339千円
	教育扶助費 13,980千円	教育扶助費 13,681千円	教育扶助費 13,681千円
	出産扶助費 22千円	出産扶助費 22千円	出産扶助費 22千円
	生業扶助費 10,864千円	生業扶助費 10,864千円	生業扶助費 10,864千円
	葬祭扶助費 3,682千円	葬祭扶助費 2,013千円	葬祭扶助費 2,013千円
	就労自立給付金 1,132千円	就労自立給付金 1,213千円	就労自立給付金 1,213千円
	進学・就職準備給付金 3,200千円	進学・就職準備給付金 3,200千円	進学・就職準備給付金 3,200千円
	医療扶助費 2,140,132千円	医療扶助費 2,081,969千円	医療扶助費 2,081,969千円
	介護扶助費 153,969千円	介護扶助費 153,429千円	介護扶助費 153,429千円
合計 4,163,305千円	合計 4,066,651千円	合計 4,066,651千円	
	収入増による生保廃止世帯数	収入増による生保廃止世帯数	
達成度	50世帯	50世帯	
	計画目標に向けて順調に推移		

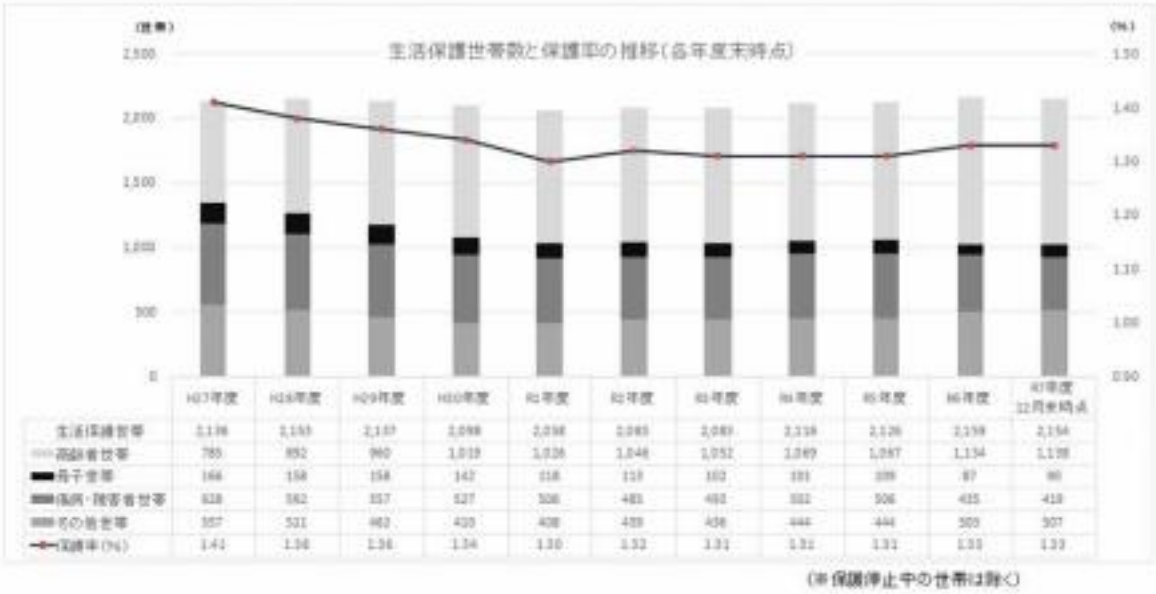
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		4,035,763	4,041,814	4,163,305	4,066,651	24,837
財 源 内 訳	国・県支出金	2,976,450	3,031,360	3,122,478	3,049,988	18,628
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	42,226	45,000	45,000	45,000	0
	一般財源	1,017,087	965,454	995,827	971,663	6,209
歳入合計		4,035,763	4,041,814	4,163,305	4,066,651	24,837

課題	令和元年度以降、生活保護世帯数が増加傾向となっている。生活保護世帯の特徴として、「高齢者世帯」が全体の約半数を占めており、また「その他世帯」が、令和4年度から増加に転じている。 今後については、就労支援の実施により、生活保護から自立する世帯のさらなる増加に向けた取り組みを行っていくことが重要となる。	方向性	近年、生活保護世帯数が増加傾向にある中、生活保護が必要な世帯に対して、今後も引き続き丁寧な説明や相談対応を行っていく。 また、就労支援にあたっては、求人状況の的確な把握・ハローワークプラスとの連携により、個々の希望や状況に応じた支援を行っていく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	生活保護制度の適切な実施

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
扶助費	4,066,651		
事業費計			4,066,651

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
産業経済部定住企業立地推進課		テルサ管理費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	勤労者をはじめとする市民に教養文化の向上及び健康増進のための活動の場を提供することで、福祉の増進を図るため、松江勤労者総合福祉センター（松江テルサ本館）の管理を行う。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			年間利用者数（人）	113,483	143,669	143,669	143,669	143,669
	目標（何を達成するのか）							
	年間利用者数増につなげるように適正な管理運営を行う。							
事業概要	・松江勤労者福祉総合センター（松江テルサ本館）の管理等に要する経費。管理運営は指定管理者が行う。（指定期間：令和8年度～令和11年度までの4年間）なお、1件100万円未満の修繕・備品の更新は指定管理者が行う。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	■管理運営は、指定管理者が行う。 （指定管理者：株式会社さんびる） ・指定管理料：115,088千円		■管理運営は、指定管理者が行う。 （指定管理者：株式会社さんびる） ・指定管理料：129,696千円		■管理運営は、指定管理者が行う。 （指定管理者：株式会社さんびる） ・指定管理料：129,996千円			
	達成度							
計画目標に向かって概ね順調								
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		118,575	115,088	118,499	140,091	25,003	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		26,578	7,087	7,066	7,252	165	
	一般財源		91,997	108,001	111,433	132,839	24,838	
歳入合計		118,575	115,088	118,499	140,091	25,003		
課題	・松江テルサ本館は、設置から25年が経過し、施設の各所で不具合が発生しており、計画的に修繕等を実施していく必要がある。		方向性	・引き続き、管理運営を指定管理者が行う。				

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	松江勤労者総合福祉センター管理事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	年度協定締結		
	通年	施設管理		

本事業に関する主要データ

松江勤労者総合福祉センターの概要図

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	140,091		
事業費計		140,091	

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名					
防災部防災危機管理課		自主防災組織育成費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	自主防災組織の結成を促進する。（共助）	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		自主防災組織結成率（％）	75.2	74.6	91	94	100
	目標（何を達成するのか）						
	松江市自主防災委員会が住民に対し「災害に備える」意識を啓発し、住民が地域で支え助け合う共助の重要性を理解・認識することで、地域の防災活動への参加につなげる。						
事業概要	松江市の自主防災組織の連合体である「松江市自主防災委員会」(※)へ自主防災組織の育成や強化などの活動をしていただくために補助金を交付し、活動を支援するとともに、出前講座等において自主防災組織の必要性を説明する。						
	※公民館29地区から各1名選任された自主防災組織の代表者で構成する組織						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・自主防災組織結成の増減：なし ・自主防災組織数：475隊 ・自主防災組織結成率：74.6％ ・自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員向けの研修会の実施 ・防災意識啓発用資機材の購入等への補助	・自主防災組織結成率：91.0％ ・自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員向けの研修会の実施 ・防災意識啓発用資機材の購入等への補助		・自主防災組織結成率：94.0％ ・自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員向けの研修会の実施 ・防災意識啓発用資機材の購入等への補助			
	達成度						
	計画目標に向けて進捗はやや遅れている						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	508	527	510	528	1	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	508	527	510	528	1	
歳入合計	508	527	510	528	1		
課題	・自治会単位で結成されている自主防災組織においては、自治会長が隊長を兼ねていることが多く、単年度毎で会（隊）長が交代することにより、組織内での防災意識の醸成や防災活動の継続が難しい状況にある。 ・活動実績のない自主防災組織に対して活動を促す働きかけが必要である。		・防災意識の向上や防災活動が継続することを目的に、各自主防災組織に対し、定期的な防災研修の開催や、防災意識向上につながる広報活動・情報提供を実施する。				
			方向性				

防災部防災危機管理課

自主防災組織育成費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	その他

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付決定		
	5～6月	補助金交付		
	3～4月	補助金の実績による補助金確定通知の交付		
	未定	自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員向け研修会		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	28		
負担金補助及び交付金	500		
事業費計			528

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
防災部防災危機管理課		防災出前講座実施事業						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	地域防災力の強化を図る。（自助）		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			防災出前講座の実施（回）	131	97	88	92	100
	目標（何を達成するのか）							
	市民等の団体が主催する会に、市職員を講師として派遣する出前講座を実施することにより、「自らの命は自分で守る」という災害への備えの大切さや、身を守るために必要となる知識・情報を共有する。							
事業概要	松江市地域防災計画に基づき、市民に対し、「自らの命は自分で守る」という意識の徹底や、地域の災害リスクと取るべき避難行動など、市民の防災意識を高め、家庭や職場、学校における地域の防災行動力を向上させるため、出前講座を実施する。 特に、日頃からの備えとして、ハザードマップの見方、避難行動の方法、非常持出品などについて積極的に周知する。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	出前講座実施回数：97回		出前講座実施回数：88回		出前講座実施回数：92回			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		0	0	0	0	0	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	0	0	0	
歳入合計		0	0	0	0	0		
課 題	参加者の年齢層に偏りが生じている。		方向性	ホームページや広報誌を通じ、出前講座の周知を図る。 学校への出前授業を実施し、若年層の防災意識向上を図る。				

防災出前講座実施事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ	
--------------	--

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
防災部防災危機管理課		防災資機材整備事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	地域防災計画に基づき避難所で配給する食料や生活物資を備蓄し、災害に備える。 風水害時の水防活動などに必要な防災資機材を整備することで被害の拡大を防ぐなど災害応急体制の充実を図る。 目標（何を達成するのか） 地域防災計画の被害想定に基づき避難者等が避難生活に必要な食料等を計画的に整備する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			食料(食)	105,937	151,493	144,600	144,600	144,600
			飲料水(L)	9,962	15,420	15,420	15,420	15,420
事業概要		・大規模災害時等による被災者（避難者）への食料や生活物資、水害時の水防活動に必要な防災資機材を年次的に整備・備蓄するもの。なお、保存期限が迫った非常食については、廃棄せずに各地域の防災訓練や研修会で有効活用する。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	【非常食】 ・アルファ化米:46,000食 ・保存用ビスケット:2,700食 ・粉ミルク(アレルギー対応含む):949食 ・液体ミルク:48食 ・飲料水:5,520L		【非常食】 ・アルファ化米:11,400食 ・保存用ビスケット:1,380食 ・粉ミルク(アレルギー対応含む):1,262食 ・飲料水:2,300L		【非常食】 ・アルファ化米:19,500食 ・保存用ビスケット:2,640食 ・粉ミルク(アレルギー対応含む):1,262食 ・飲料水:2,000L			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		5,232	13,073	13,073	10,269	-2,804	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		12	13,073	13,073	10,269	-2,804	
	一般財源		5,220	0	0	0	0	
歳入合計		5,232	13,073	13,073	10,269	-2,804		
課題	保存年限が迫った非常食については、廃棄せずに各地域の防災訓練や研修会で有効活用していく必要がある。			備蓄食料・飲料水以外の生活物資（紙おむつ、生理用品、し尿処理剤など）についても、計画的に整備していく。				
	方向性							

防災部防災危機管理課

防災資機材整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	その他

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	資機材購入		

本事業に関する主要データ

【被害想定に基づく備蓄目標】

- ・被害想定：鳥取県沖合（F5.5）断層地震
- ・対象者：短期的避難所生活者等（47,400人）及び災害救助従事者（400人）
- ・市の備蓄目標数
食料：144,600食、飲料水：15,420L

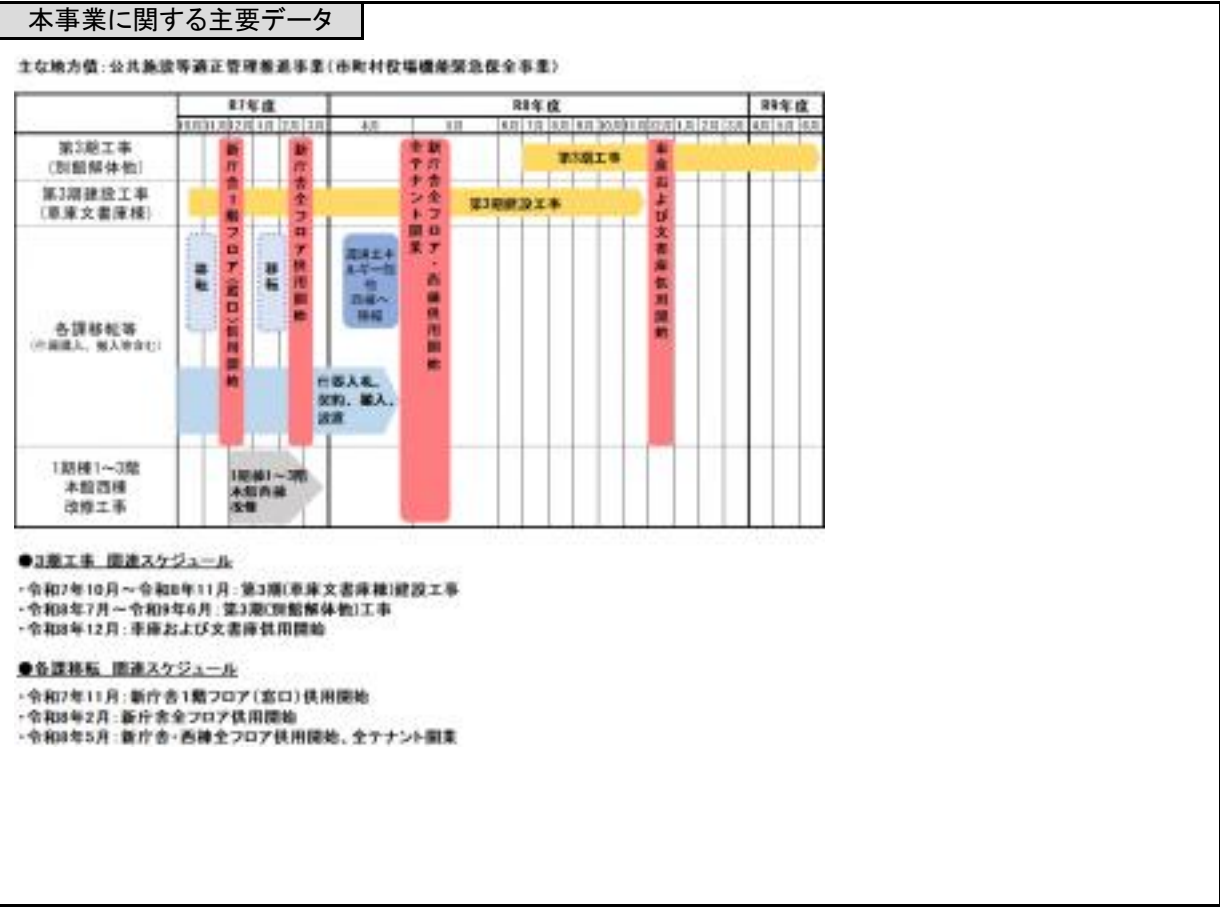
R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	5,848		
委託料	3,728		
備品購入費	693		
事業費計			10,269

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
財政部新庁舎整備課		新庁舎整備事業(新庁舎整備事業費 外5事業)					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	現本庁舎は耐震性の不足や老朽化の進行による安全性の低下、窓口の分散化などの課題を抱えており、このような状況を根本的に解決するために新庁舎の整備事業を行う。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値目標になじまない。					
	目標（何を達成するのか）						
	計画的かつ早期の新庁舎建設						
事業概要	新庁舎整備にかかる基本構想・基本計画策定、地盤調査、基本設計・実施設計、工損調査、建設工事、工事監理、什器購入、移転、民間事業者や市民による新庁舎利活用策の検討などを実施する。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・第2期建設工事 ・第3期工事設計変更、第3期建設工事 ・各種広報の実施 ・什器購入契約 ・移転業務委託 ・テナント設置 ・新庁舎利活用実証事業「新庁舎みんなのトライアル」の実施など	・第3期(車庫文書庫棟)建設工事 ・第3期(別館解体他)工事 ・各種広報の実施 ・什器購入契約 ・移転業務委託 ・テナント設置 ・新庁舎利活用事業の実施など					
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		1,629,979	4,772,031	4,772,031	1,122,927	-3,649,104	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	1,213,400	2,981,700	2,981,700	770,600	-2,211,100	
	その他	416,579	1,790,331	1,790,331	352,327	-1,438,004	
	一般財源	0	0	0	0	0	
歳入合計		1,629,979	4,772,031	4,772,031	1,122,927	-3,649,104	
課題	・工事の確実な進捗 ・事業費のコストダウン ・市民への分かりやすい情報提供 ・工事期間中の来庁者対応 ・新庁舎全館供用後の運用、利活用方法の検討		方向性	・第3期建設工事の着実な履行 ・工事中の来庁者の安全性と利便性の確保 ・市報等を活用した市民への分かりやすい情報発信 ・全館供用開始後の最適な運用ルール、活用方法の検討			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	その他

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R8.5～	本館(西棟含む)供用開始	通年	新規什器発注
	R8.7～	第3期(別館解体他)工事	通年	新庁舎利活用事業
	～R8.11	第3期(車庫文書庫棟)建設工事		
	R8.12～	車庫および文書庫運用開始		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	970,667	使用料及び賃借料	60
委託料	147,573	旅費	24
報酬	2,410		
職員手当等	915		
共済費	582		
需用費	560		
役務費	136		
事業費計		1,122,927	

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
総務部人事課		人材確保対策費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	志が高く優秀な職員を安定的に確保する		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			職員採用試験WEBページの閲覧数（件）	58,148	62,886	63,000	64,000	65,000
	目標（何を達成するのか）							
	職員採用試験の申込者数及び受験者数の増加							
事業概要	(数値目標の目標年度) 職員採用試験情報掲載WEBページの閲覧数（件）：2029(R11)年度							
	・採用専用サイトのコンテンツを拡充するとともに、松江市役所で働く魅力を発信し、受験に結びつけるためのプロモーション活動を行う。また、プロモーション動画の更新及び人材確保が困難な専門職のPR動画を作成し、受験者数の増加を図る。 ・中学生向けの職業体験イベントへの出展や、地元高校生向け就職情報誌におけるPRを行い、将来の受験者数の確保に努める。 ・採用に向けたプロモーション活動の一環として、中国地方の大学が開催する学生説明会に参加する。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・SNS情報発信 ・職員採用専用WEBページ更新 ・就職情報誌掲載 ・中学生向け職業体験イベントへの出展 ・近隣大学等訪問ガイダンス、説明会への参加 ・オープンカンパニー、仕事体験プログラム等の実施		・SNS情報発信 ・職員採用専用WEBページ更新、専門職動画作成 ・就職情報誌掲載 ・採用パンフレット作成 ・中学生向け職業体験イベントへの出展 ・近隣大学等訪問ガイダンス、説明会への参加 ・オープンカンパニー、仕事体験プログラム等の実施		・SNS情報発信 ・職員採用専用WEBページ更新、専門職動画作成 ・就職情報誌掲載 ・採用パンフレット作成 ・中学生向け職業体験イベントへの出展 ・近隣大学等訪問ガイダンス、説明会への参加 ・オープンカンパニー、仕事体験プログラム等の実施			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6		R7		R8	
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		2,280	1,719	1,568	2,345	626	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		2,280	1,719	1,568	2,345	626	
歳入合計		2,280	1,719	1,568	2,345	626		
課題	公務員の全国的な受験者数の減少傾向が続く中、受験者数の増加に向けた魅力ある情報発信を強化する必要がある。			SNSを活用した情報発信や採用専用サイトのコンテンツ拡充、新庁舎を活用したオープンカンパニーや仕事体験プログラムの実施などにより受験者数の増加を図る。				
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	職員採用プロモーション事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	オープンカンパニー、仕事体験プログラムの実施		
	4～3月	近隣大学等訪問ガイダンスへの参加		
	10～2月	職員採用試験合格者交流会		
	4～3月	PR動画・専門職用動画作成		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	56		
委託料	2,079		
使用料及び賃借料	110		
負担金補助及び交付金	100		
事業費計			2,345

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
総務部総務課		文書管理システム運営費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	公文書管理及び決裁管理の適正化及び効率化	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		電子決裁率（％）	96	96	94	96	99
	目標（何を達成するのか）						
	電子決裁率の向上						
事業概要	公文書の收受、起案、施行、保管、廃棄など一連の管理業務を適正化・効率化する「文書管理システム」及び、押印の廃止、ペーパーレス化、決裁の効率化を推進するための「電子決裁システム」を管理・運営するもの。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	システムの運用上の課題を解決し、文書管理事務の効率化及び電子決裁率の向上を図る。	システムの運用上の課題を解決し、文書管理事務の効率化及び電子決裁率の向上を図る。また、現在のシステム契約期間が満了するR10年1月以降の対応について検討する。		システムの運用上の課題を解決し、文書管理事務の効率化及び電子決裁率の向上を図る。また、現在のシステム契約期間が満了するR10年1月以降においてもシステムを稼働させる。			
	達成度						
計画目標に向けて順調に推移							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		23,532	23,532	23,532	23,532	0	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	23,532	23,532	23,532	23,532	0	
歳入合計		23,532	23,532	23,532	23,532	0	
課題	システム導入前 1 不十分な文書管理 大量の文書を、Excelで作成した目録で管理 2 煩雑な現存紙文書管理 文書の検索、整理整頓、廃棄が煩雑 3 文書保管場所の不足 保存・保管場所の確保及び廃棄に苦慮		方向性	総合的な行政文書管理機能を持つ文書管理・電子決裁システムを導入し、事務処理の効率化・簡素化の推進、市民サービス向上のための庁内情報の円滑な共有と文書管理能力の向上、電子化・ペーパーレス化による紙文書の削減を図る。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	文書管理・電子決裁システムの導入・運用

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	運用、保守		

本事業に関する主要データ

(1) 文書管理システムと電子決裁システムのイメージ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
使用料及び賃借料	23,532		
事業費計			23,532

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部国宝松江城課	文化財情報発信施設整備事業費(文書館)、松江市文書館機能整備事業費

事業の目的と目標	目的 (何のために)	数値目標				
	市民が地域の歴史資料や歴史公文書などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点を 作る。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
		数値設定になじまない				
	目標 (何を達成するのか)					
	「松江市文書館(仮称)整備構想」に基づき、文書館の3つの機能(①歴史公文書・地域の歴史資料の調査、収集、整理、保存②調査研究・歴史編纂③史料・情報の公開と提供)を整備する。					

事業概要	①【歴史公文書、地域の歴史資料の調査、収集、整理、保存】 保存期間満了文書の評価・選別と歴史公文書の目録整備、保存の仕組みを整えるとともに、地域の歴史資料(古文書等)調査・整理・保存処置を継続的に実施する。 ②【調査研究・歴史編纂】 歴史公文書や地域の歴史資料に基づく調査・研究と、その成果を「松江市歴史叢書」や「松江市歴史史料集」等の刊行物に反映する。 ③【史料・情報の公開と提供】 歴史公文書や地域の歴史資料を一般の利用に供するため、専門的職員(アーキビスト)の育成とともに、文書館施設を整備する。
------	--

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	・公文書の評価選別 ・歴史公文書の目録化作業 ・歴史公文書の整理・保存処置 ・専門職(アーキビスト)の育成 ・公文書管理条例(仮称)、松江市文書館の設置及び管理に関する条例(仮称)の制定 ・施設実施設計	・公文書の評価選別 ・歴史公文書の目録化作業 ・歴史公文書の整理・保存処置 ・専門職(アーキビスト)の育成 ・施設整備工事 ・松江市文書館の開館	・公文書の評価選別 ・歴史公文書の目録化作業 ・歴史公文書の整理・保存処置 ・専門職(アーキビスト)の育成
	達成度		
	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		5,125	9,916	10,709	47,321	37,405
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	1,700	2,400	39,700	38,000
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,125	8,216	8,309	7,621	-595
歳入合計		5,125	9,916	10,709	47,321	37,405

課題	方向性
・歴史的に重要な公文書(歴史公文書)を保存・管理・公開する仕組みがなく、どんなものがあるかを市民が知ることができない。 ・歴史公文書や地域に残る古文書等の歴史資料を市民の利用に供する場所がない。	・「松江市文書館」の機能整備を進め、作成から保存、廃棄、文書館への移管、歴史公文書の利用までの文書管理全体の仕組みを整える。 ・松江市環境センターを改修し、松江市文書館と埋蔵文化財調査センターを併せ持つ文化財情報発信施設として整備する。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	文化財情報発信施設整備事業費(文書館)、松江市文書館機能整備事業費

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月・10月	公文書燻蒸作業	10月～1月	保存期間満了公文書の評価選別作業
	6月～10月	施設整備工事	3月	松江市文書館開館
	8月～11月	国立公文書館アーカイブズ研修受講	通年	歴史公文書目録整備・保存措置作業
	10月頃	松江市文書館運営協議会開催、中四国公文書館職員連絡協議会出席	通年	歴史公文書デジタルデータ化

本事業に関する主要データ

平成31年(2019)3月策定「松江市文書館(仮称)整備構想」

「公文書のライフサイクル」を見通した公文書管理体制全体の見直しを進めるとともに、「公文書管理法」の趣旨に沿って選別された歴史公文書と、地域に所在する歴史史料(古文書等)を一体的に保存・活用する「文書館」を整備することが必要。

<文書館の基本目標>

- ア) 歴史公文書の保存・活用による行政情報の共有と説明責任の実現
- イ) 地域の歴史・文化遺産の継承と地域文化の発展への寄与
- ウ) 調査研究に基づいた歴史情報の発信と市民支援体制の構築

<文書館の基本機能>

松江市文書館

収集(評価・選別)・整理・保存

史料に基づく調査研究・歴史編纂

史料・情報の公開と提供

令和4年(2022)3月策定
松江市総合計画「MATSUKE DREAMS 2030」に掲げる「2030年松江のあるべき姿」

- ・公文書がインターネット上で検索・閲覧できる
- ・「文書館」が整備され、歴史史料として重要な公文書が管理されている

文書館整備のスケジュール(想定)

R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
文書館基本計画 検討・策定		実施設計	整備 工事	供 用 開 始

主な地方債: 地域活性化事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	1,427	備品購入費	10,488
旅費	542		
需用費	954		
役務費	83		
委託料	2,473		
使用料及び賃借料	94		
工事請負費	31,260		
事業費計		47,321	

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
政策部広報課		シティプロモーション推進事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	地域の魅力を掘り起こし、それを市内外に効果的に発信することによって、本市への愛着心の醸成とともに本市の知名度を向上させ、関係人口、定住人口の増加につなげる。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		地域ブランド調査（認知度順位）	142	115	60	60	30
	目標（何を達成するのか）	まつえナビ月平均閲覧数（件）	11,449	11,520	12,000	13,000	14,000
	・松江の知名度向上およびイメージアップ。 ・松江に愛着を持つ人の割合を増やす。 ・松江に関心をもち、積極的にまちづくりに関わる人を増やす。						
事業概要	・「新松江市合併20周年」等に合わせ、誰からも愛される「松江らしいキャラクター」を作成し、市発行物への掲載のほかSNSやイベントへの出演等によりシティプロモーションを行う。 ・民間との協働事業である地域情報サイト「まつえナビ」により市内外に松江市の魅力を発信する。 （数値目標の説明） 1.（株）ブランド総合研究所が毎年実施する「地域ブランド調査」における「認知度」の順位。目標年度は2029（R11）年度 2.まつえナビの月平均閲覧数。目標年度は2029（R11）年度						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・キャラクター愛称募集と決定「おまっちえ」 応募者数：1,483人 応募総数：延べ2,681作品 実作品数：1,565作品 ・着ぐるみ作成（10/26初披露） ・おまっちえを活用した広報活動 ①市発行物への掲載 ②缶バッジ・シール配布 ③公式SNSの運用スタート（11/19～） ④LINEスタンプ販売スタート（11/26～） ⑤ふるさと納税返礼品スタート（11/26～）	・おまっちえ着ぐるみ（2号機）作成 ・おまっちえを活用した広報活動 ①市発行物への掲載 ②公式SNSの運用 ③LINEスタンプ販売 ④ふるさと納税返礼品 ⑤イベント出演（市主催・出展イベント） ⑥グッズ制作 ・まつえナビの活用		・おまっちえを活用した広報活動 ①市発行物への掲載 ②LINEスタンプ販売 ③公式SNSの運用 ④ふるさと納税返礼品 ⑤イベント出演 ⑥グッズ制作 ・まつえナビの活用			
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		160	3,478	3,478	5,294	1,816	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	22	5,294	5,294	
	一般財源	160	3,478	3,456	0	-3,478	
歳入合計		160	3,478	3,478	5,294	1,816	
課題	・各課等が所管する既存キャラクターとの関係性の整理。 ・おまっちえの利活用やPR方法の工夫。			・おまっちえは、新松江市合併20周年記念等に合わせ、「新たな松江市を象徴するキャラクター」の位置づけとする。 ・各種SNS等の特性を生かした情報発信を行っていく。			
				方向性			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	シティプロモーションの充実・強化

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	着ぐるみ制作業者選定、グッズ制作		
	6月	着ぐるみ制作業務委託		
	1月	着ぐるみ完成		
	通年	イベント出演、広報活動		

本事業に関する主要データ



おまつちえ

おまつちえを活用した広報活動
令和7年度実績



市発行物への掲載



缶バッジ・シール配布



LINEスタンプ販売



公式SNS運用



ふるさと納税返礼品



イベント出演

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	553		
需用費	173		
役務費	578		
委託料	3,495		
使用料及び賃借料	495		
事業費計			5,294

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部デジタル戦略課	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	今後も続くと見込まれる人口減少社会において、デジタル技術の活用により、様々な行政サービスや地域の社会・経済活動の維持・向上を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		「市民サービスの向上」開始件数（累計）	24	29	32	34	34
	目標（何を達成するのか）	「業務の効率化」開始件数（累計）	30	43	49	53	55
	市民サービスの向上、業務の効率化、社会課題解決及びそれらを支えるための人財育成という観点で、先進技術を取り入れながら市役所及び地域社会のデジタル化を進める。						

事業概要	令和3年度末策定の「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」に基づき、「ちょうどいい市役所」及び「地域社会のデジタル化」をめざして、デジタル技術を用いた市民サービスの向上や業務の効率化等に取り組む。 〈松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画の進捗管理〉 ・策定した計画に基づき、「市民サービスの向上」「業務の効率化」「人財育成」「社会課題解決」の4つの柱に紐づいた取組の進捗管理を行う。
------	--

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	・「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」における各取組の進捗管理を実施 ・CIO補佐官の支援を受けながら、担当課のシステム調達・更改の相談支援 ・新たなデジタル技術やツールの情報収集及び各課への情報提供 ・高齢者を対象としたスマホ教室の実施 ・「DX推進員」の設置及び研修の実施 ・新庁舎における来庁者用公衆無線Wi-Fiの整備 ・オンライン手続きの拡充による市民サービスの向上	・「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」における各取組の進捗管理を実施 ・CIO補佐官の支援を受けながら、担当課のシステム調達・更改の相談支援 ・新たなデジタル技術やツールの情報収集及び各課への情報提供 ・高齢者を対象としたスマホ教室の実施 ・「DX推進員」の設置及び研修の実施 ・オンライン手続きの拡充による市民サービスの向上	・「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」における各取組の進捗管理を実施 ・CIO補佐官の支援を受けながら、担当課のシステム調達・更改の相談支援 ・新たなデジタル技術やツールの情報収集及び各課への情報提供 ・高齢者を対象としたスマホ教室の実施 ・「DX推進員」の設置及び研修の実施 ・オンライン手続きの拡充による市民サービスの向上
	達成度		
	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		4,139	7,057	7,057	7,064	7
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,139	7,057	7,057	7,064	7
歳入合計		4,139	7,057	7,057	7,064	7

課題	方向性	〈庁内における課題〉 ・デジタル化の方針に基づき、多数のデジタル化の取組を同時並行で進める必要がある。 ・庁内にデジタルリテラシーが高い人財が少ない。 〈外部における課題〉 ・国から様々な方針が出されるため、引き続き動向を注視する必要がある。
		・「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」に基づき、市民サービスの向上や業務の効率化、地域の課題解決、さらには人材育成の取組を推進する。 ・ITガバナンスの周知を徹底し、システム調達・管理体制を最適化させる。 ・内閣府やデジタル庁の動向を注視し、適宜対応していく。 ・新たな技術、ツール等を情報収集し、庁内に発信していく。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	デジタル市役所計画取組みの進捗管理・支援	3月	DX推進委員会の開催
	通年	各課システム導入への伴走支援		
	通年	オンライン手続きの拡充		
	6月～	先進自治体への視察		

本事業に関する主要データ

令和7年度末における運用開始済の取組み
市民サービスの向上・・・29件 業務改善・・・43件

【取組み事例】

○ 保育所入所申込から結果通知までの一連をデジタル化
入所申込のオンライン化。利用による入所判定、保護者への決定通知といった一連の流れをデジタル化。
申込・結果通知をオンラインでできるなど申請者の利便性が向上し、職員は事務処理時間の短縮など業務効率化が図られました。



○ ノーコードツールによる観光動態調査システムの構築
観光施設や宿泊施設からの入込客数報告をweb上で受付けるシステムを構築。
従来のFAX・メールでの受付と比べ、報告書からの転記作業がなく、データの自動集約も可能となりました。



○ 来庁しなくても手続きが出来るしくみ作り(行政手続きのオンライン化)
これまで紙媒体のみで受付けていた各種申請・手続きをオンライン化することにより、来庁しなくても24時間いつでも申請・手続きが可能となりました。



○ ノーコードツールと電子地図を活用した公園施設点検アプリの開発
外出先で利用できる公園施設の点検業務管理用アプリを構築。
現場から撮影後に台帳に記載していた点検結果を作業現場で直接入力できるなど、業務効率化が図られました。



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,264	使用料及び賃借料	441
職員手当等	864		
共済費	544		
旅費	348		
需用費	7		
役務費	2,078		
委託料	518		
事業費計			7,064

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
政策部デジタル戦略課		標準準拠システム移行事業費・システム標準化関連事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」(2021年9月1日施行)により、20業務を対象に、国の定めた標準化基準に適合したシステムへ移行することが義務付けられている。		項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			数値目標になじまない					
目標（何を達成するのか）								
調達や運用にかかるコスト削減、行政事務の効率化、住民サービスの利便性向上。								
事業概要		税系、住記系、福祉系(生活保護システムを除く)の12業務について、令和6年度から令和7年度末にかけて標準準拠システムへ移行し、令和8年度から令和12年度までの5年間にわたってサービス利用方式による運用保守業務をベンダーに委託する。※残り8業務についての移行時期は令和8年度から令和9年度にかけて実施予定。 調達や運用にかかるコスト削減、行政事務の効率化、住民サービスの利便性向上を実現するため、国の定めた標準仕様に基づく標準準拠システムへ移行する。 「標準準拠システム移行事業費」と「システム標準関連事業費」を合わせたものが、標準化に関係する事業全体の経費である。「標準準拠システム移行事業費」は、標準準拠システムへ移行するための主にシステムエンジニア(SE)の作業経費に相当するもの。「システム標準化関連事業費」は標準準拠システムの運用にかかる経費、ガバメントクラウド(国が推奨するクラウド)の利用料、条例に基づく独自業務等の関連システムの更新および運用にかかる経費、RPAの導入および運用にかかる経費等に相当する。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	【12業務】 ・データ検証とシステム検証(R7.4～11) ・様式変更にとまなう条例や規則改正(R7.7～R8.3) ・各業務担当課向け操作研修(R7.11～12) ・就学業務 国へ移行困難申請(R7.12) ・就学業務を除く11業務 標準準拠システム本稼働(R8.1) 【8業務】 ・システムベンダーからの情報収集(通年)		【12業務】 ・就学業務 データ検証とシステム検証(R8.4～6) ・就学業務 標準準拠システム本稼働(R8.7) ・標準準拠システムでの業務運用(通年) 【8業務】 ・プロポーザル実施および事業者との契約(R8.4～9) ・データ検証とシステム検証(R8.10～)		【12業務】 ・標準準拠システムでの業務運用(通年) 【8業務】 ・データ検証とシステム検証(R9.4～R9.11) ・様式変更にとまなう条例や規則改正(R9.7～R9.12) ・各業務担当課向け操作研修(R9.11～12) ・標準準拠システム本稼働(R10.1～3)			
	達成度							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		237,076	753,184	701,387	1,274,419	521,235		
財源内訳	国・県支出金	229,980	521,486	513,175	372,147	-149,339		
	地方債	0	0		0	0		
	その他	0	0		0	0		
	一般財源	7,096	231,698	188,212	902,272	670,574		
歳入合計		237,076	753,184	701,387	1,274,419	521,235		
課題	オンプレミス環境からガバメントクラウド環境を使ったシステム利用へ運用形態が変わることによる経費増の他、人件費の高騰、パッケージ製品価格の高騰等、現時点では、現行システム(行政情報システム等)を利用するよりも運用経費の高騰が見込まれることが課題となっている。			方向性	RPAによる自動化やEUCによるデータ利活用作業の内製化を行い、運用委託経費の削減に継続して取り組む。 また中核市長会等を通じて、運用経費に対する国の財源補助について継続して要望する。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R8.4～R8.9	8業務システムの調達(プロポーザルによる業者選定)		
	R8.10～R9.3	8業務システムのデータ移行・システム移行作業		
	R8.4～R9.3	12業務システムの運用		

本事業に関する主要データ				
1. 標準化対象業務	№	業務名	主なシステム利用課	稼働開始
	1	住民基本台帳	市民課	R8.1月
2. 事業費	2	印鑑登録	市民課	R8.1月
	3	国民年金	国民年金課	R8.1月
3. 令和7年度までのシステム移行ができない業務について	4	選挙人名簿管理	選挙管理委員会	R8.1月
	5	選挙	選挙管理委員会	R8.7月予定
4. 令和8年度の委託料について	6	個人住民票	市民課	R8.1月
	7	法人住民票	市民課	R8.1月
5. 令和8年度の委託料について	8	固定資産税	固定資産税課	R8.1月
	9	雑居自動車	市民課	R8.1月
6. 令和8年度の委託料について	10	国民健康保険	国民健康課	R8.1月
	11	介護保険	介護保険課	R8.1月
7. 令和8年度の委託料について	12	健康増進	こども家庭支援課	R8.1月
	13	戸籍	市民課	R8年度完了
8. 令和8年度の委託料について	14	戸籍関係	市民課	R8年度完了
	15	除籍原簿管理	国民年金課	R8年度完了
9. 令和8年度の委託料について	16	健康増進	国民年金課	R8年度完了
	17	児童手当	子育て給付課	R8年度完了
10. 令和8年度の委託料について	18	児童扶養手当	子育て給付課	R8年度完了
	19	子ども子育て支援	国民年金課	R8年度完了
11. 令和8年度の委託料について	20	生活保護	生活福祉課	R8年度完了
	21	生活保護	生活福祉課	R8年度完了

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,101,463		
使用料・賃借料	8,313		
負担金補助及び交付金	164,643		
事業費計			1,274,419

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
総務部組織戦略課		業務改善委託事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	人員配置の最適化により、新たな行政課題に対応できる体制を構築し、市民サービスの向上を目指す。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		リモート窓口市民満足度（ポイント）		5	4.2	4.5	4.5
	目標（何を達成するのか）						
	定型業務を効率化し、きめ細やかな市民対応や市民サービス向上に資する施策の検討（非定型業務）のための人的リソースを確保する。						
事業概要	・各課業務を対象にAI・RPAなどデジタル技術の活用を前提としたBPR（業務フローや手法の見直し）を行い、事務の標準化と定型業務・非定型業務の分類を行う。 ・各課の定型業務の集約化（庁内バックオフィスの構築）と庁内バックオフィス内の継続的なBPR（効率的な人員配置や業務割り振り）を進め、人員配置の最適化を行う。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	【デジタル技術を活用した事務の効率化】（保育所入所業務の業務改善の横展開） ①対象業務の選定 ②業務調査、業務フローの見直し ③オンライン申請・イメージ管理システム等の導入 ④デジタルワークフローシステムの導入 ⑤庁内バックオフィス機能の設置（定型業務・非定型業務の分類）	【デジタル技術を活用した業務改革】（対象業務の拡大） ①対象業務の選定 ②業務調査、業務フローの見直し ③オンライン申請・イメージ管理システム等の導入 ④デジタルワークフローシステムへの実装 ⑤庁内バックオフィス機能の設置（定型業務・非定型業務の分類）		【デジタル技術を活用した業務改革】（対象業務の拡大） ①対象業務の選定 ②業務調査、業務フローの見直し ③オンライン申請・イメージ管理システム等の導入 ④デジタルワークフローシステムへの実装 ⑤庁内バックオフィス機能の設置（定型業務・非定型業務の分類）			
	達成度						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		0	16,000	19,822	22,914	6,914	
財源内訳	国・県支出金	0	8,000	9,911	0	-8,000	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	8,000	9,911	22,914	14,914	
歳入合計		0	16,000	19,822	22,914	6,914	
課題	・少子高齢化・人口減少が進み人材や財源の確保が困難。・市民ニーズや地域課題の多様化・複雑化、地方分権の進展による新たな行政需要などで業務が質・量ともに増大。・紙申請・アナログ処理をベースとした事務フローが根付いていることによる各課の業務負荷増大や業務改善の遅れ。		方向性	定型業務の効率化により、きめ細やかな市民対応や市民サービス向上に資する施策の検討のための人的リソースを確保する。			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	令和8年4月～9月	対象業務調査・BPR	令和8年12月	庁内バックオフィス体制での本稼働
	令和8年9月～8月	業務システム設定・検証	令和8年1～3月	庁内バックオフィス内のBPR
	令和8年10月	運用テスト		
	令和8年11月	研修		

本事業に関する主要データ

申請事務の業務効率化のイメージ

現状

申請 → 内容チェック → 不備対応 → 入力 → 処理 → 審査 → 結果通知

効率化

要点

- ・利用しやすいオンライン申請の導入
- ・AIやRPAなどデジタル技術で事務を効率化

人員配置の効率化・持続可能な行政運営への効果

非定型業務（相談・審査など）

定型業務（形式的な確認・入力など）

- ・複数課の定型業務を同一システムで処理し、人員配置を効率化
- ・市民との接点を重視し、きめ細やかなサービスを提供

行政サービスの利便性向上への寄与

結果が早く届く！
問い合わせ時間が短縮！
相談対応が充実！

要点

- ・複数課の定型業務を集約
- ・非定型業務に人的資源を集中

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	2,970		
委託料	19,944		
事業費計			22,914

令和8年度 総合計画実施計画

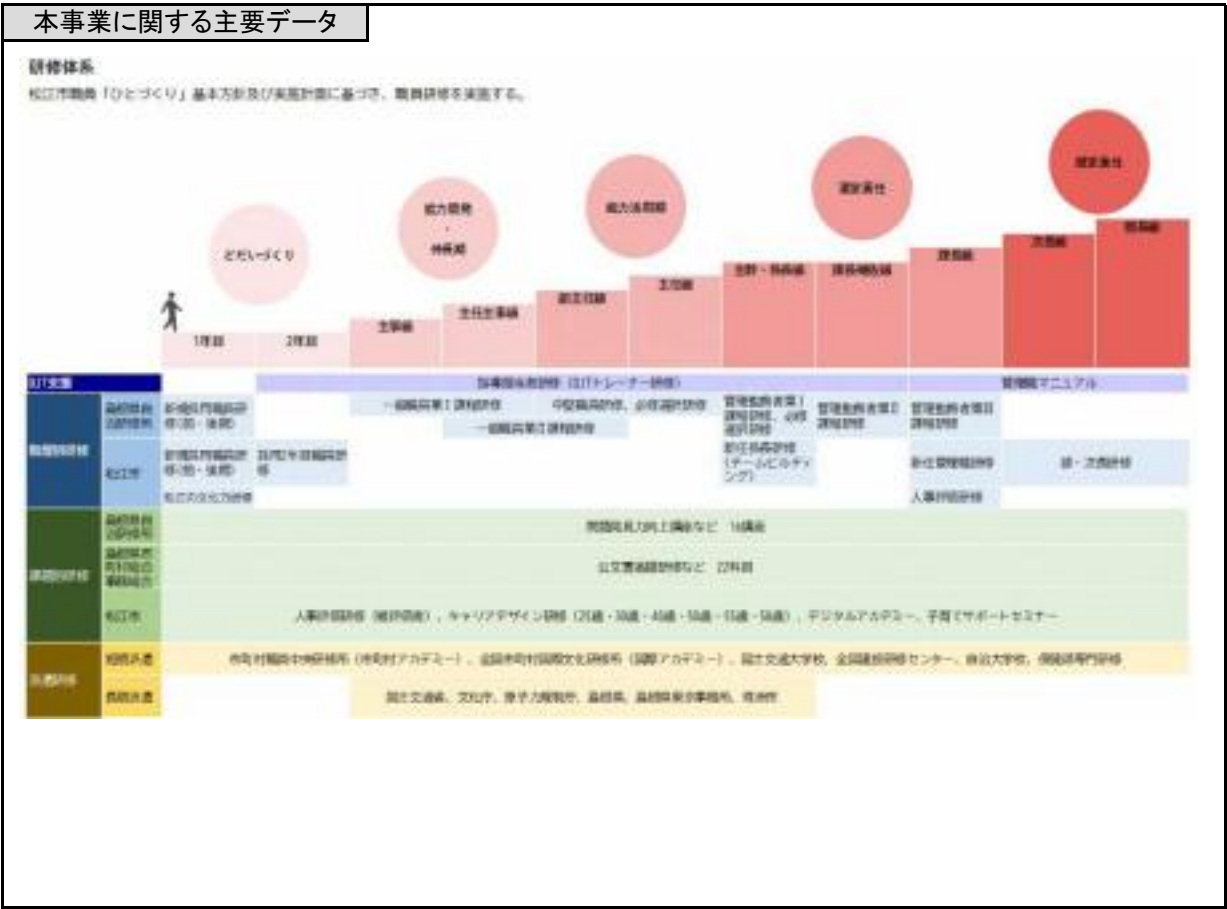
所 属		事 業 名						
総務部人事課		職員研修費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	職員の能力開発及び人財の育成		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			研修有意義度(独自研修)※5点満点：R6年度まで	4.6				4.7
	目標（何を達成するのか）		研修有用度(独自研修)※仕事で役に立つと回答した割合(%)：R7年度		98.6	98.8	99	100
	各職員が個々の職責・業務に必要な能力を段階的に習得・向上することで、「松江を愛し、思いやりと「ソウゾウリョク」をもって、自ら行動できる職員」の育成を図る。		市民サービスに満足している割合（%）		78	80	80	65
事業概要	(数値目標の目標年度) 「松江市まちづくりのための市民アンケート」の市民サービスに満足している割合(%)：2029(R11)年度							
	市民の皆様の価値観や行政ニーズの多様化、社会情勢の変化の早まりにより、社会課題が複雑多様化していることから、課題対応能力の高い職員を計画的に育成していく必要がある。「職員一人一人の成長を、組織力の向上につなげる」という好循環を生み出すために、各職員が個々の職責・業務に必要な能力を段階的に習得・向上できる研修を実施し、「松江を愛し、思いやりと「ソウゾウリョク」をもって、自ら行動できる職員」の育成を図る。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・松江市独自研修 2,885人 ・国内派遣研修 23人 ・長期派遣研修 4人 ・島根県自治研修所 496人 ・島根県市町村総合事務組合 276人		【階層別研修】 ・島根県自治研修所 ・松江市 【課題別研修】 ・島根県自治研修所 ・島根県市町村総合事務組合 ・松江市 【派遣研修】 ・短期派遣 ・長期派遣		【階層別研修】 ・島根県自治研修所 ・松江市 【課題別研修】 ・島根県自治研修所 ・島根県市町村総合事務組合 ・松江市 【派遣研修】 ・短期派遣 ・長期派遣			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		34,370	28,318	25,318	27,026	-1,292	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		15,749	20,205	20,205	21,294	1,089	
	一般財源		18,621	8,113	5,113	5,732	-2,381	
	歳入合計		34,370	28,318	25,318	27,026	-1,292	
課題	・職務に必要なスキルや経験を段階的に習得できる環境を整えること ・松江市役所におけるキャリアビジョンが描けるよう支援すること ・誰もがチャレンジできる機会や環境を整えること		松江市職員「ひとづくり」基本方針に掲げる重点的取組（左記課題3点）について、職員アンケートにより職員の意識を把握しながら、具体的取組を着実に実施する。					
			方向性					

総務部人事課

職員研修費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	松江市職員「ひとづくり」事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	職員研修実施		
	1～3月	職員アンケートの実施・分析		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	70		
旅費	4,351		
需用費	167		
役務費	110		
委託料	3,945		
使用料及び賃借料	2,101		
負担金補助及び交付金	16,282		
事業費計			27,026

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
総務部組織戦略課		包括外部監査費(中核市関連事業)					
事業の目的と目標	目的 (何のために)	数値目標					
	地方自治法第2条第14項及び第15項に規定する「事務処理に当たって最少の経費で最大の効果を挙げる事」及び「組織及び運営の合理化に努め、その規模の適正化を図る事」を目的とする。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値での目標設定になじまないため空欄					
	目標 (何を達成するのか)						
	外部の資格者(弁護士、公認会計士等)による監査を受け、その指摘、意見等に基づき、上記の目的を達成するために必要な事務処理の見直し、改善を行う。						
事業概要	・中核市は、地方自治法第252条の36第1項に基づき、包括外部監査契約による外部監査が義務付けられている。毎年度、弁護士、公認会計士等を包括外部監査人として包括外部監査契約を締結し、包括外部監査を実施するもの。 ・包括外部監査人は、監査対象として自ら特定のテーマを選定して監査を行い、結果を報告する。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	【令和7年度監査分】 監査テーマ 「公共施設の管理運営等に関する事務の執行について」 【令和6年度以前の監査分】 指摘等を踏まえた措置状況を集約、3月に公表	【令和8年度監査分】 監査テーマ 未定 【令和7年度以前の監査分】 指摘等への措置状況を集約、3月に公表		【令和9年度監査分】 監査テーマ 未定 【令和8年度以前の監査分】 指摘等への措置状況を集約、3月に公表			
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		11,598	11,598	11,598	11,598	0	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	11,598	11,598	11,598	11,598	0	
	歳入合計	11,598	11,598	11,598	11,598	0	
課題	○監査の指摘、意見等への対応			○引き続き監査対象関係課と連携し、対応の進捗管理を行う。			
				方向性			

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	その他

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	【R8監査】テーマ決定	3月	【過年度監査】指摘等への措置結果を公表
	8月～1月	【R8監査】関係課ヒアリング	3月	【R8監査】監査結果の市長等への報告及び公表
	1月	【R9監査】包括外部監査人候補者選出		
	2月	【R9監査】契約締結議案の提出		

本事業に関する主要データ			
年度	テーマ	外部監査人	指摘・意見・提言
平成30年度	滞納債権に関する事務の執行について	福田 真也（弁護士）	指摘40件、意見34件、提言4件
令和元年度	高齢者福祉に関する事務の執行について	福田 真也（弁護士）	指摘25件、意見58件
令和2年度	生活保護に関する事務の執行について	福田 真也（弁護士）	指摘38件、意見49件、提言1件
令和3年度	情報システムに関する事務の執行について	大西 智之（弁護士）	指摘23件、意見28件、提言2件
令和4年度	基金の管理と運用に関する事務の執行について	大西 智之（弁護士）	指摘10件、意見33件
令和5年度	業務委託に関する事務の執行について	大西 智之（弁護士）	指摘15件、意見38件
令和6年度	こども・子育て支援に関する事務の執行について	遠藤 郁雄（弁護士）	指摘16件、意見48件
令和7年度	公共施設の管理運営等に関する事務の執行について	遠藤 郁雄（弁護士）	令和8年3月報告予定

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	11,598		
事業費計			11,598

令和8 年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
総務部組織戦略課		ガス事業会計閉鎖調整事業費、令和7年度ガス事業会計未払金清算事業費、ガス料金代理受領事業費、ガス事業会計債務償還金						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	ガス事業譲渡に伴い、ガス事業を清算するため。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			数値での目標設定になじまないため空白					
	目標（何を達成するのか）							
	目標設定になじまない							
事業概要	令和8年4月1日のガス事業譲渡後（譲渡先：松江エナジープラス(株)）、ガス事業を清算するもの。 ・企業債(ガス事業)の繰上償還 ・ガス事業会計閉鎖時点での未払金の支出 ・ガス局が発行した納付書により本市に収納されたガス料金の松江エナジープラス(株)への送金							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
			【主な支出】 ・企業債繰上償還 ・令和7年度ガス事業会計未払金					
達成度								
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6 決算	R7 予算 決算見込		R8 予算 予算前年度比較			
事業費					1,733,000	1,733,000		
財源内訳	国・県支出金					0		
	地方債					0		
	その他				1,733,000	1,733,000		
	一般財源	0	0	0	0	0		
歳入合計					1,733,000	1,733,000		
課題			方向性					

総務部組織戦略課

ガス事業会計閉鎖調整事業費、令和7年度ガス事業会計未払金清算事業費、ガス料金代理受領事業費、ガス事業会計債務償還金

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんとと頼りになる
	主要施策	その他

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	令和7年度ガス事業会計未払金支払	6月	消費税確定申告
	4月末	譲渡対価収入受領	7月末	令和8年3月供給分ガス料金受領
	5月	企業債繰上償還(財政融資資金)	9月	企業債繰上償還(地方公共団体金融機構)
	5月末	流動資産売却収入受領	随時	ガス料金代理受領、支払

本事業に関する主要データ			
ガス事業清算事業費の概要			
			(単位:千円)
歳入			
財産売却収入	財産売却収入	固定資産等売却収入 (譲渡対価36.9億円+消費税(土地・株式除く))	4,026,269
		流動資産売却収入(売却債権、未収金等)	212,476
		流動資産売却収入(製品ガス・貯蔵品等)	49,203
諸収入	雑入	現金・預金、その他未収金	340,458
		ガス料金代理受領収入等	42,388
		計	4,670,794
歳出			
会計閉鎖調整事業費	需用費、使用料等	周年史印刷製本費、システム運用費等	3,562
未払金清算事業費	原材料費、未払消費税、委託料、工事請負費、需用費、給料・手当等	液化天然ガス・LPガス購入、未払消費税、開閉栓等業務委託、供給管新設工事、修繕費、3月分給料・手当等	166,978
代理受領事業費	負担金補助及び交付金等	代理受領ガス料金支払等	42,388
債務償還金	元利償還金、補償金	企業債元利償還金、補償金(全額を繰上償還)	1,520,072
		計	1,733,000
差額(歳入－歳出)			2,937,794
財政調整基金積立金			2,615,774
職員退職積立基金積立金			322,020

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
給料	500	工事請負費	8,000
職員手当等	2,500	原材料費	110,000
共済費	500	負担金補助及び交付金	43,500
需用費	8,646	補償補填及び賠償金	5,184
役務費	1,854	償還金、利子及び割引料	1,514,888
委託料	14,928	公課費	19,000
使用料及び賃借料	3,500		
事業費計			1,733,000